



取扱説明書

音声応答装置 サービスホン TS-500

このたびは、「音声応答装置 サービスホン TS-500」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元に置いてお使いください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本使用許諾契約書（以下「本契約書」といいます）は、下記の株式会社タカコム（以下「当社」といいます）のソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）に関してお客様（個人、法人を問いません）と当社との間に締結される法的な契約書です。

本ソフトウェアをインストールまたは使用することにより、お客様は本契約書の条項に同意し、使用許諾契約が成立したものと見なします。

本ソフトウェアの名称：TS-500 データ入力ソフト

ライセンス数：5

使用許諾の範囲

お客様は、本ソフトウェアを上記のライセンス数までのコンピュータにインストールして使用することができます。

禁止事項

お客様は本ソフトウェアを譲渡、販売、貸し出しをすることはできません。また、本ソフトウェアの「音声合成」により作成された音声データは、本装置以外の製品などにおいて使用および利用できません。

保証

本ソフトウェアに、当社の責に帰すべき物理的な欠陥、たとえば DVD の破損・マニュアルの落丁など、があった場合、本ソフトウェアを受領した日から 30 日以内にかぎり、お客様は当社に交換を要求することができます。

上記の場合、お客様が本ソフトウェアの領収書または購入を証するものとともに、本ソフトウェアを販売店にご返却ください。

免責事項

お客様が本ソフトウェアを使用し、または運用した結果、直接または間接的に生じる損害に対して、当社は一切責任を負いません。

もくじ

安全にお使いいただくために.....	2
はじめに.....	4
商品概要.....	7
1. 機能概要.....	7
2. お使いになるまでの手順.....	8
第1章 装置編	11
各部の名前とはたらき.....	12
設置工事.....	14
1. 各機器との接続のしかた.....	14
2. 増設のしかた.....	16
待機画面と操作一覧.....	18
本体装置の設定.....	19
1. 年月日時刻を合わせる.....	19
2. ネットワークの設定.....	20
ファイルの読み書き.....	22
1. USB メモリのデータを本体装置に読み込む.....	22
2. 本体装置のデータを USB メモリに書き込む.....	25
メッセージの操作.....	28
1. メッセージの録音.....	28
2. 挨拶メッセージの録音・再生・消去.....	30
3. 案内メッセージの録音・再生・消去.....	32
4. 外部音源の再生.....	33
5. メッセージの一括消去.....	34
集計データの出力.....	35
1. データの集計方法.....	35
2. 集計データの出力.....	36
3. 集計データの削除.....	37
メンテナンス.....	38
1. 動作ログの出力.....	38
2. バージョンの表示.....	38
3. 本装置の初期化.....	39
応答にセットする.....	40
1. 応答のセットと解除.....	40
2. 運用方法の切替.....	41
3. 外部から応答のセットと解除.....	42
送出チャンネルの切替.....	43
状態確認.....	44
1. スケジュールの確認.....	44
2. 着信件数の確認.....	44
3. 回線状態の確認.....	45
4. 着信件数のクリア.....	45

第2章 データ編	47
データを登録する前に.....	48
1. 入力ソフトのインストール.....	48
2. 日付・時刻の確認.....	52
入力ソフトを起動／終了する.....	54
1. 起動のしかた.....	54
2. 終了のしかた.....	55
新しくデータを作成する.....	56
1. 初期設定（装置情報）.....	57
2. 初期設定（詳細情報）.....	58
3. 回線設定.....	59
4. スケジュール編集.....	64
5. メッセージ編集.....	70
6. データ書き込み／保存.....	78
データを読み込む.....	82
1. ファイルから読み込む.....	82
2. USB メモリから読み込む.....	83
3. 本体装置から読み込む.....	84
データを編集する.....	86
1. メッセージを編集する.....	86
2. スケジュールを編集する.....	92
3. 装置情報や回線情報を編集する.....	100
4. ファイルを保存する.....	104
データを集計する.....	108
1. USB メモリから集計.....	109
2. 装置から手動集計.....	110
3. 装置から自動集計.....	111
4. 集計ファイルの出力例.....	112
本体装置をモニターする.....	114
1. 回線モニター.....	114
2. 件数モニター.....	115
応答／タイマー.....	117
送出チャンネル切替.....	120
ログビューア.....	122
装置情報・セキュリティ.....	124
1. 装置情報登録.....	125
2. セキュリティ.....	126
参考資料.....	127
故障とお考えになる前に.....	128
主な仕様.....	129
保証とアフターサービス.....	裏表紙

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、「音声応答装置 サービスホン TS-500」（以下、「本装置」または「TS-500」と記します）を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマークの説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および使用できない機能などの内容を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本装置を取り扱ううえで知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

 警告	ぬれた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、本装置を操作したりしないでください。感電や故障の原因となります。
	電源コードの上に重い物を置いたり、無理に曲げたり、引っ張ることはやめてください。電源コードを傷つけ、火災や感電の原因となります。
	電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから確実にコンセントに差し込んでください。また、定期的に電源プラグを抜いて点検・清掃してください。ほこりなどによって、火災や感電の原因となります。
	AC100V 商用電源以外では、絶対に使用しないでください。また、タコ足配線による接続は絶対に行わないでください。火災や感電・故障の原因となります。
	雷が鳴り出したら、本装置や電源プラグには触れないでください。落雷による感電の原因となります。
	本装置の上に花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などの入った容器、または、小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となります。万一、水などの液体や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
	万一、異常な音がしたり、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常な状態に気づいたときは、電源プラグをコンセントから抜いて、煙がでなくなるなど異常がなくなることを確認したうえで、販売店に点検を依頼してください。異常なまま使用すると、火災や感電の原因となります。
	本装置のキャビネットを外したり、改造または分解をしないでください。火災や感電の原因となります。改造や分解された場合、修理に応じられないことがあります。



本装置は接地端子のついた 3 ピンの電源コードを使用しています。
安全のため電源コードの接地端子を必ず接地してください。

接地用の配線は、絶対にガス管や水道管、電話や避雷針のアース線にはつながないでください。
火災や感電の原因となります。

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災や感電の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください



電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。
本装置のキャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。

長時間で使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたるところや、冷暖房機の近く、湿度の高いところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因となります。

湿気の多い場所や、水・油・薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所や鉄粉・有毒ガスの発生する場所には置かないでください。
火災や感電の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。

故障の原因になることがあるため必ずお守りください



ベンジン・シンナー・アルコールなどで絶対にふかないでください。
変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布に付け、よく絞ってからふいて、そのあと、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。

テレビ・ラジオ・無線機・電子レンジ・インバータ型蛍光灯など磁気、電波を発生するところや、違法無線を受けるところには置かないでください。
誤動作の原因となります。

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。
正常に動作しないことがあります。

温泉地など硫化水素の発生するところや、海岸などの塩分の多いところでお使いになると本装置の寿命が短くなるおそれがあります。

本装置を 2 台以上重ねて置かないでください。
熱が内部にこもり、故障の原因となります。

はじめに

このたびは、「音声応答装置 サービスホン TS-500」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元に置いてお使いください。

■ セットの確認

次のものがそろっていることを確かめください。セットに足りないものがあつたり、取扱説明書に乱丁・落丁があつた場合は、販売店または最寄りの当社営業所へご連絡ください。

当社営業所については当社ホームページ（<https://www.takacom.co.jp>）の「営業拠点」をご覧ください。

品 名	個数	備 考
本体	1	
TS-500 データ入力ソフト	1	DVD-R
USB フラッシュメモリ	1	(本書では、以下“USB メモリ”と記します)
外部音源接続コード	1	
電源コード	1	
電源変換アダプタ	1	
結束バンド	1	
フェライトコア	1	
マイク	1	3.5mm モノラルミニプラグ
取扱説明書	1	本書

※ 製品に同梱された電源コードは、本製品専用です。他の製品に使用しないでください。

■ 取扱説明書の構成について

本取扱説明書は、「装置編」および「データ編」で構成されています。

- 「装置編」は、本体装置の設定・操作のしかた、設置工事の方法などが記載されています。
- 「データ編」は、TS-500 データ入力ソフト（以下「本ソフト」、または「入力ソフト」と記します）のセットアップから起動・終了のしかた、入力ソフトをインストールしたパソコン（制御用パソコン）での録音メッセージデータの作成方法や自動応答スケジュールの作成方法、およびネットワーク接続した制御用パソコンからの本体装置の操作方法などについて記載しています。

■ 音声合成により作成された音声データについて

本装置に接続された電話回線に着信があると、自動的に応答メッセージを送出することができ、その応答メッセージは入力ソフトを使用して作成できます。応答メッセージの作成方法は、「音声合成」、「マイク録音」、「音声ファイル取込」があります。

「音声合成」により作成された音声データは、本装置以外の製品などにおいて使用および利用できません。

ご使用にあたってのお願い

■ 取扱説明書の内容につきましては万全を期していますが、お気づきの点がございましたら販売店または最寄りの当社営業所へお申し付けください。紛失や損傷したときは、販売店または最寄りの当社営業所でお買い求めください。

■ この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 V C C I - A

■ 本装置の仕様は、国内向けになっています。海外でご使用いただくことはできません。

This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.

■ 本装置をご使用になる前に

本装置によりテレホンサービスを行うには、次のことについて運用計画を立ててください。

1. 動作モードを決めます。

本装置には、次の2つの動作モードがあります。かかってきた電話にどの動作モードで応答させるか決めます。(同時に複数の動作モードでの応答はできません)

- ①基本モード ②外部音源モード

動作モードについては、「商品概要 1. 機能概要 動作モード」(7 ページ) をご覧ください。

設定のしかたは、「第2章 データ編 新しくデータを作成する 1. 初期設定 (装置情報)」(57 ページ) をご覧ください。(本体装置からは設定できません)

運用開始後でも動作モードは変更できますが、そのときは録音されているメッセージや設定データなど動作ログ以外のすべてのデータが消去されます。

2. 収容回線を確認します。

(1) 回線収容数

回線は、4 回線単位で、最大 32 回線まで収容できます。

(2) 回線種別

回線種別として4つに分類します。

①通常回線

アナログ一般公衆回線で使用する際の回線種別。
(ナンバーディスプレイサービス未契約の場合)

②ナンバーディスプレイ回線

通常回線でナンバーディスプレイサービスを契約している際の回線種別。

③テレドーム回線

テレドームサービスを利用する際の回線種別。
(テレドーム：0180 ではじまる NTT の電話情報サービス)

④トーキ音源回線

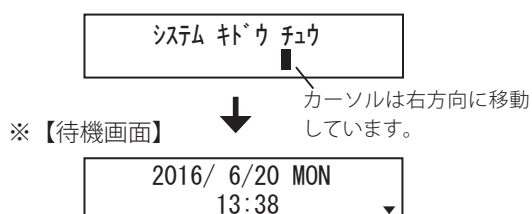
トーキー案内機能を利用する際の回線種別。

ワンポイント

- 共同電話、公衆電話、地域集団電話には、ご使用できません。
- テレドームサービスやトーキー案内機能をご利用の場合は、NTTと回線契約(有料)が必要です。くわしくは、NTT窓口へお問い合わせください。

3. 電源を入れます。

電源を入ると、ディスプレイは次のように表示されて、しばらくすると【待機画面】になります。



メッセージの録音や再生、年月日・時刻の登録などをするときは、【待機画面】からメニューを選択して操作します。

ご注意

- 電源は、AC100V 商用電源でご使用ください。
- 本装置には、電源スイッチはありません。
電源を切るときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

STOP お願い

- ディスプレイが待機画面以外のはときは、電源を切らないでください。USB メモリやデータが破損する場合があります。

ワンポイント

- 約2分間、ボタン操作をしないと、その操作をキャンセルして待機画面に戻ります。このときは、最初から操作をやり直してください。

4. ネットワーク条件を設定します。

「第1章 装置編 本体装置の設定」(19 ページ) に従って、年月日・時刻やネットワーク条件を設定します。

5. メッセージを準備します。

「第1章 装置編 メッセージの操作」(28 ページ) や「第2章 データ編 データを編集する 1. メッセージを編集する」(86 ページ) に従って、メッセージを準備します。

6. 装置状態を確認するには。

本装置に登録されているスケジュールや回線状態が確認できます。「第1章 装置編 状態確認」(44 ページ) を参照してください。

STOP お願い

● ナンバーディスプレイ回線に接続するとき：

本装置には、先方の電話番号を表示する機能はありません。ナンバーディスプレイ機能付きの電話機などとともにお使いください。

● トーキ音源回線に接続するとき：

アフターサービスの場合をのぞいて本装置からの音声を止めないようにしてください。プログラムタイマーや前面の **応答** ボタンの操作などで、本装置が応答できない状態を作らないようにご注意ください。音声が止まるとNTTの設備が警報状態になります。

■ USB メモリについて

本システムでは、制御用パソコンで作成したスケジュールデータや音源ファイルなどを、装置用データとして USB メモリに出力し、この USB メモリを本体装置にセットして読み込みます。また、本体装置のスケジュールデータや音源ファイルなどを USB メモリに出力し、制御用パソコンで読み込んで編集することができます。

● 抜き差し

USB コネクタの向きを確認して、しっかり奥まで差し込みます。取り出すときは、USB メモリをつまんで、まっすぐに抜きます。アラーム出力時にそのまま USB を抜いても問題ありません。

STOP お願い

- USB メモリの書込みおよび読込中は、USB メモリを取り出さないでください。

ワンポイント

- USB メモリは添付品を使用してください。市販のセキュリティ機能のある USB メモリは使用できません。
- 本装置は FAT16/32 以外のファイルシステムの USB メモリを使用した場合、正常に動作しない場合があります。
- 本体装置でデータを読み込んだあとは、USB メモリを抜き取っても問題ありません。

■ GPL ソフトウェアライセンスについて

本装置には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

GPL/LGPL/その他に基づくライセンスについては、当社ホームページの「サポート情報」をご覧ください。

お客様は、本装置で使用されている当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL に従い、複製、頒布および改変することができます。ただし、本装置に含まれているソフトウェアに、独自の使用許諾契約書または使用条項が付属している場合は、その付属の使用許諾契約書または使用条項に準拠します。

GPL/LGPL が適用されるソフトウェアは、現状のソースコードのまま、かつ GPL/LGPL に基づき提供します。

媒体提供にあたり下記の点をあらかじめご了承ください。

- ・ソースコードの内容などについてのご質問には一切お答えできません。
- ・提供されたソースコードにより作成されるプログラムについては一切の保証をいたしません。
- ・媒体提供の際には別途実費を申し受ける場合があります。
- ・当社が所有権をもつソフトウェアは、ソースコードの提供対象となりません。
- ・ソースコードの提供期間は本商品の購入後、少なくとも 3 年とさせていただきます。

媒体提供をご希望の場合は、当社ホームページの「お問い合わせフォーム」からお問い合わせください。

当社ホームページ：<https://www.takacom.co.jp>

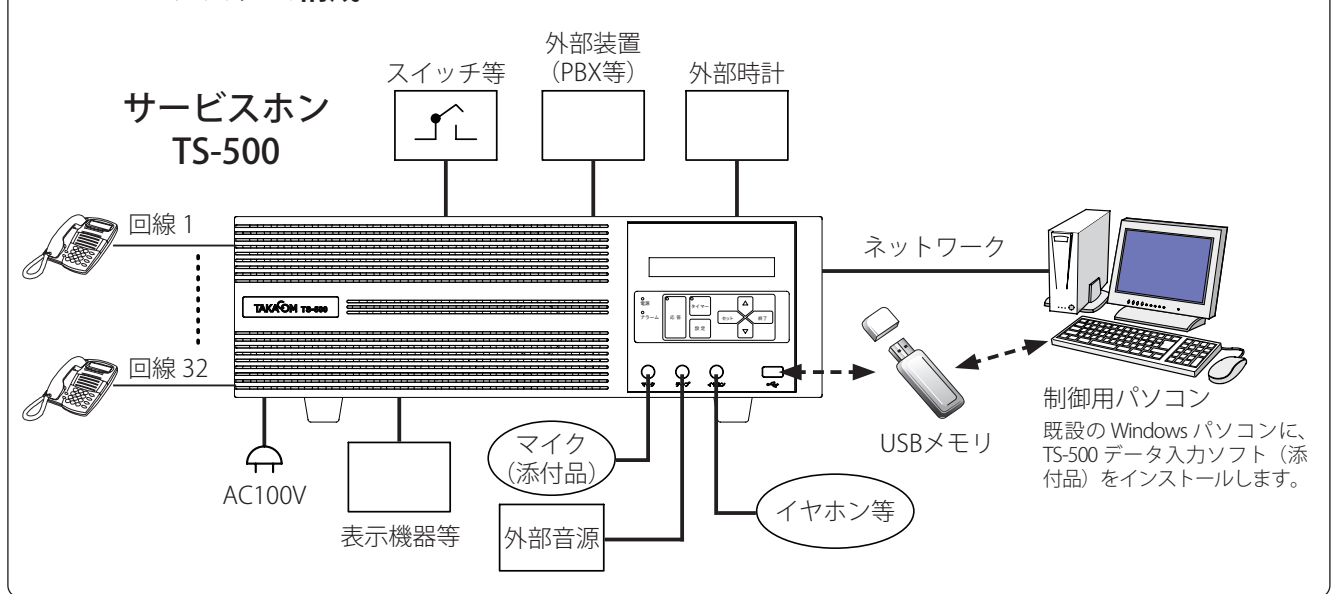
商品概要

本装置は、アナログ電話回線に接続して、着信があると設定したベル回数後、自動的に応答し、あらかじめ録音したメッセージを送出することができる音声応答装置です。

会社などの業務時間外の案内や、官公庁等の各種テレホンサービス情報提供などにご使用になれます。

(本装置は、自発的に発信動作をすることはありません)

システム構成



1. 機能概要

● 動作モード

基本モード、外部音源モードの 2 つの動作モードがあり、どちらか 1 つを選んで応答させます。
(同時に 2 つのモードで応答することはできません)

○ 基本モード

- ・ベル着信があると、あらかじめ録音し指定したメッセージを冒頭より送出します。
- ・「挨拶メッセージ+案内メッセージ」または「案内メッセージのみ」で運用します。
- ・「挨拶メッセージ」は全回線グループ共通で使用します。
- ・「案内メッセージ」は最大 99 種類設定でき、回線グループごとに使用するチャンネルを指定できます。
- ・回線は、最大 10 グループに分けて、それぞれ違ったメッセージで応答させることができます。
(例えば、会社で部署別にグループ分けをして、それぞれ違ったメッセージで応答させることができます)

○ 外部音源モード

- ・ベル着信があると、接続している外部音源からのメッセージ (実況放送や有線放送など) を送出します。
- ・外部音源からのメッセージ送出前に「挨拶メッセージ」を送出することができます。

● タイマー運用ができます。

- ・プログラムタイマーを登録すると、年間を通じて、メッセージチャンネルの自動切替や、応答動作のセット/停止が自動で行えます。
- ・基本モードでお使いのときは、グループごとにタイマー登録ができるので、部署ごとに適した応答ができます。

2. お使いになるまでの手順

本装置で自動応答を行うには、あらかじめ次の操作が必要です。

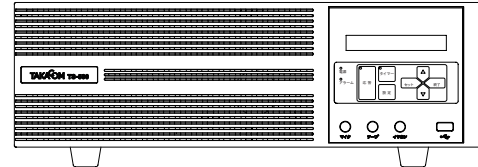
● ネットワーク機能をご使用にならない場合

制御用パソコンで作成したスケジュールデータなどを、USB メモリに保存して、本体装置に反映させることができます。

制御用パソコンでの操作



本体装置での操作



- 1 **入力ソフトのインストール** (48 ページ)
添付の DVD で、お手持ちのパソコンに「TS-500 データ入力ソフト」をインストールします。

- 1 **本体装置の設定** (19 ページ)
本体装置の年月日時刻を設定します。

- 2 **装置情報の作成**
 - ①装置情報・詳細情報の登録 (57,58 ページ)
本システムの動作の設定を行います。
 - ②回線情報の登録 (59,101 ページ)
グループの有無や回線種別などの回線情報を登録します。
 - ③スケジュールの登録 (64,92 ページ)
タイマー運用の場合、日課ごとの応答スケジュールや年間スケジュールを登録します。
 - ④メッセージの登録 (70,86 ページ)
応答メッセージを登録します。
 - ⑤ファイルの保存 (78,104 ページ)
作成・編集したデータを保存します。

- ご注意**
- 本体装置と制御用パソコンの日時は合わせておいてください。日時が異なっていると、スケジュール設定によるタイマー運用に差異が発生する場合があります。

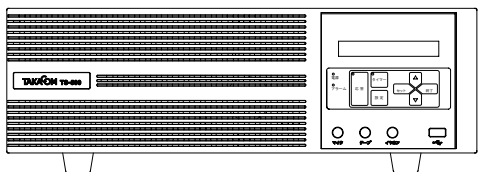
- 3 **USB メモリに書き込む** (104 ページ)
設定データやメッセージ、応答スケジュールを、USB メモリに書き込みます。

- 設定データ
- メッセージ
※音声合成などで作成した音源ファイル
- スケジュールデータ



(USB メモリ)

- 2 **USB メモリのデータを本体装置に読み込む** (22 ページ)
設定データやメッセージ、応答スケジュールを、USB メモリから読み込みます。



- 3 **メッセージの操作** (28 ～ 34 ページ)
必要に応じてメッセージの録音・再生・消去を行います。

- 4 **応答にセットする** (40 ページ)
[応答] ボタンや [タイマー] ボタンを押して、運用を開始します。
- 4 **《その他の操作》**
 - 応答の繰上げ (42 ページ)
 - 送出チャンネルの切替 (43 ページ)

● ネットワーク機能をご使用になる場合

制御用パソコンで作成したスケジュールデータなどを、直接本体装置に転送できます。また制御用パソコンから、応答のセットや解除、タイマー運用やマニュアル運用への切替、集計データの収集、回線状態のモニター、送出チャンネルの切替、動作ログの確認ができます。

制御用パソコンでの操作



- 1 **入カソフトのインストール** (48 ページ)
添付の DVD で、お手持ちのパソコンに「TS-500 データ入カソフト」をインストールします。

- 2 **装置情報の登録** (57,125 ページ)
ネットワーク接続のための、IP アドレスなどを登録します。

装置情報の作成

- ①装置情報・詳細情報の登録 (57,58 ページ)
本システムの動作の設定を行います。
- ②回線情報の登録 (59,101 ページ)
グループの有無や回線種別などの回線情報を登録します。
- 3 ③スケジュールの登録 (64,92 ページ)
タイマー運用の場合、日課ごとの応答スケジュールや年間スケジュールを登録します。
- ④メッセージの登録 (70,86 ページ)
応答メッセージを登録します。
- ⑤ファイルの保存 (78,104 ページ)
作成・編集したデータを保存します。

本体装置に書き込む (106 ページ)

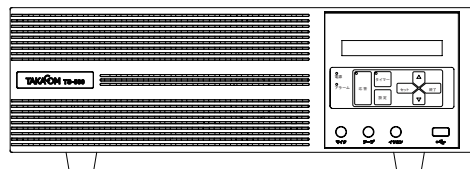
設定データやメッセージ、応答スケジュールを、ネットワーク経由で直接本体装置に転送して書き込みます。

- 4
 - 設定データ
 - メッセージ
※音声合成などで作成した音源ファイル
 - スケジュールデータ



(ネットワーク)

本体装置での操作

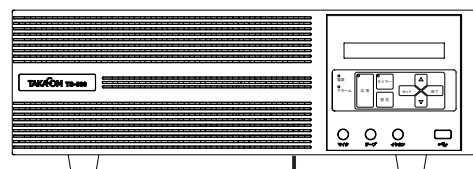


- 1 **本体装置の設定** (19 ページ)
本体装置の年月日時刻、IP アドレスなどを設定します。

ご注意

- 本体装置と制御用パソコンの日時は合わせておいてください。日時が異なっていると、スケジュール設定によるタイマー運用に差異が発生する場合があります。

- 2 **各機器との接続のしかた** (14 ページ)
ネットワーク接続のための LAN ケーブルを接続します。



- 3 **メッセージの操作** (28 ~ 34 ページ)
必要に応じてメッセージの録音・再生・消去を行います。

応答／タイマー (117~119 ページ)

[応答] や [タイマー] をセットして、運用を開始します。

《その他の操作》

- 5
 - 着信データの集計 (108 ページ)
 - モニター (114 ページ)
 - 応答の繰上げ (118 ページ)
 - 送出チャンネルの切替 (120 ページ)
 - ログビューア (122 ページ)

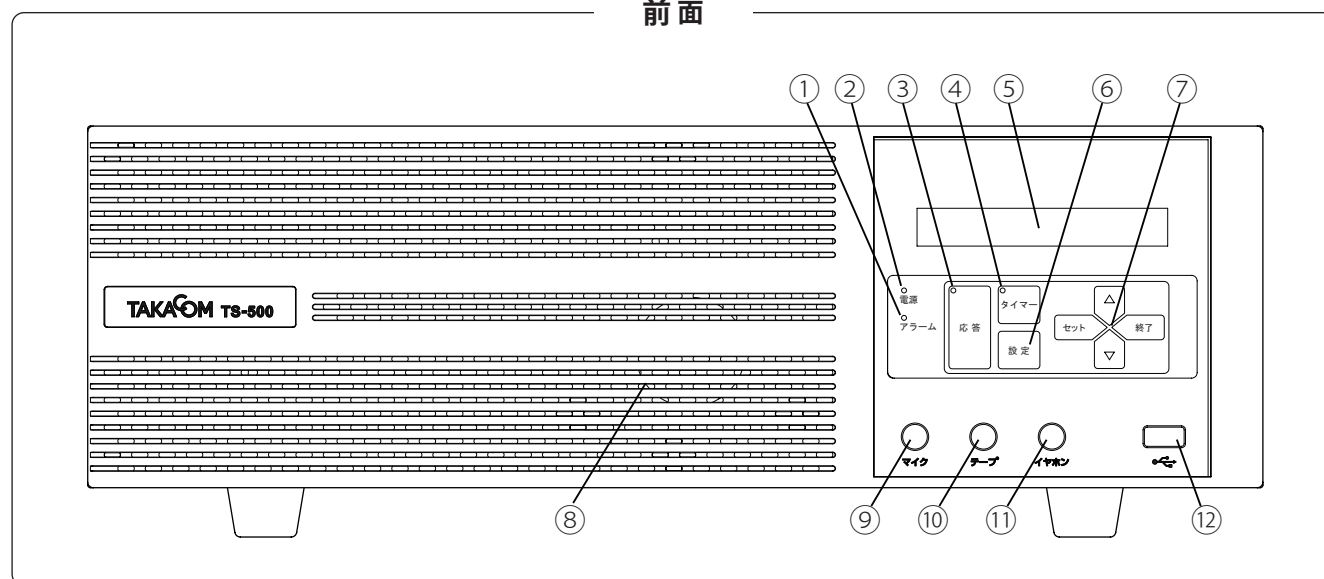
※ [応答] ボタンや [タイマー] ボタンを押して、運用を開始することもできます。また、以下の操作についても本体装置で行うことができます。

- ・ 応答の繰上げ
- ・ 送出チャンネルの切替

第 1 章 装置編

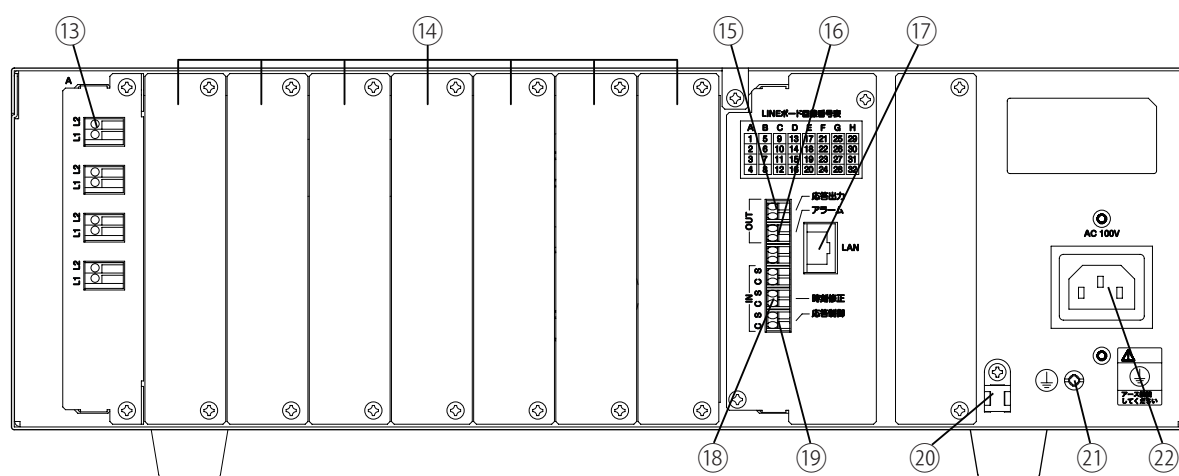
各部の名前とはたらき

前面



名前		機能（はたらき）
1	アラームランプ	本装置に異常が発生したとき点滅します。
2	電源ランプ	電源が入っているとき点灯します。
3	応答ボタン／ランプ	応答のセットおよび解除するとき押します。 応答ランプは、応答セットの状態を表示します。
4	タイマーボタン／ランプ	タイマーのセットまたは解除するとき押します。 タイマーランプは、タイマーセットの状態を表示します。
5	ディスプレイ	システムの操作メニューや動作状態を表示します。ボタンを操作するとバックライトが点灯し、待機画面で約1分間、何もボタン操作をしないと消灯します。
6	設定ボタン	メニュー画面を表示するとき押します。
7	セットボタン	選択した項目や数値入力を確定するとき押します。
	矢印ボタン	項目などを選択するとき押します。 △ボタンを、一回押すごとに、一段上または左側へ移動して、項目などを選択します。 ▽ボタンを、一回押すごとに、一段下または右側へ移動して、項目などを選択します。
	終了ボタン	選択した項目や数値入力をキャンセルするとき押します。
8	スピーカ	メッセージなどの再生音を出力します。
9	マイクジャック	マイクから録音するときに、マイクを接続するジャックです。
10	テープジャック	外部音源から録音するときや外部音源モードで使用するときに、外部音源を接続するジャックです。
11	イヤホンジャック	再生音などをイヤホンで聞くときに、イヤホンを接続するジャックです。
12	USB コネクタ	USB メモリを接続するコネクタです。

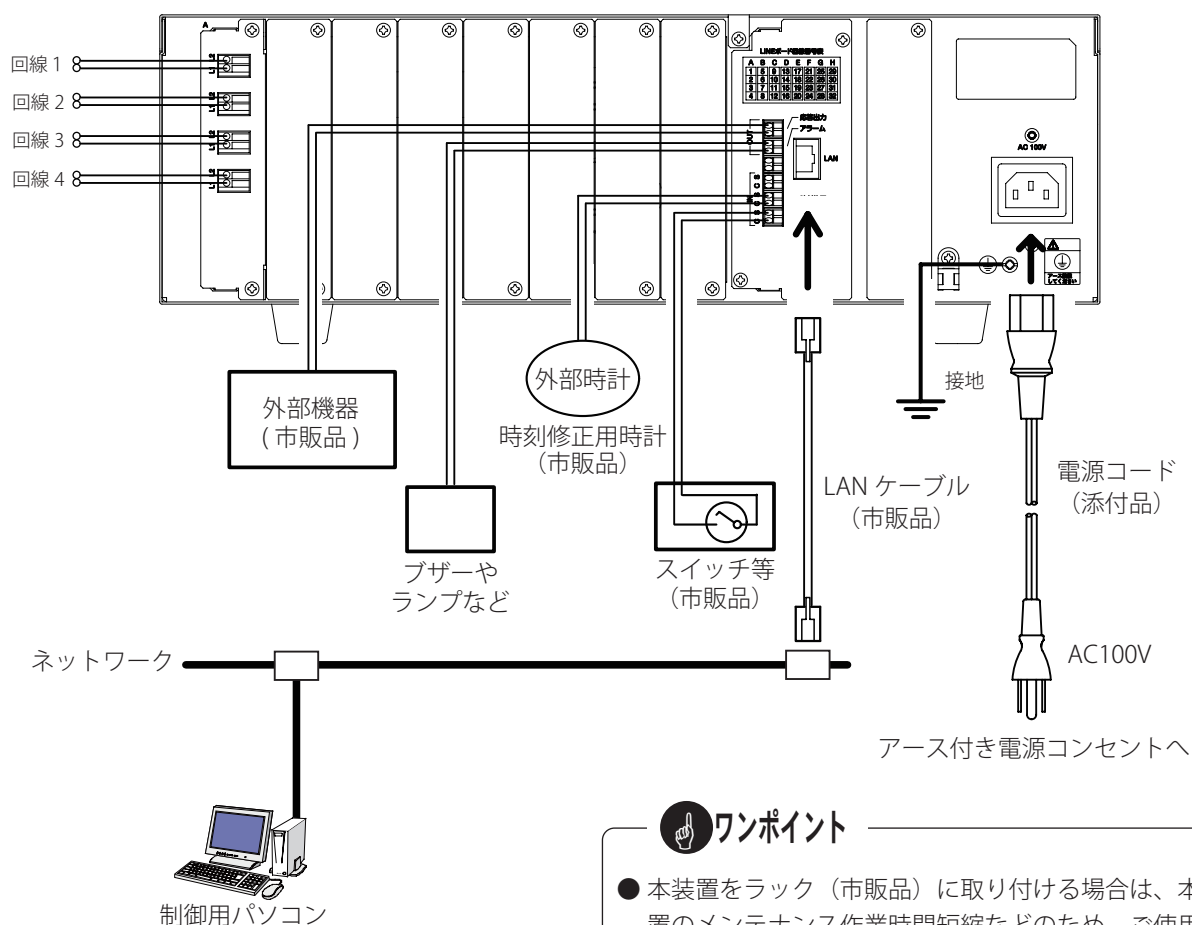
後面



名前		機能（はたらき）
13	回線接続端子	アナログ一般公衆回線、または構内交換機 (PBX) の内線回線を接続する端子です。 (回線 1 ～ 4)
14	増設用ラインボードスロット (閉じフタ)	4 回線ラインボードを増設するためのスロットです。(回線 5 ～ 32)
15	応答出力端子	応答にセットされると、メーク信号（無電圧）が出力されます。
16	アラーム端子	アラーム信号を外部に出力するときに接続する端子です。
17	LAN コネクタ	本装置をネットワーク（LAN）に接続して使用するとき、LAN ケーブルを接続するコネクタです。
18	時刻修正端子	内蔵の時計を、外部から修正するための入力端子です。
19	応答制御端子	外部のスイッチなどから、本装置を応答にセットおよび解除するための端子です。
20	結束具	結束バンド（添付品）を固定します。
21	接地端子	回線保護など、安全のための接地端子です。
22	AC 電源コネクタ	電源コード（添付品）を接続し、AC 電源を供給するためのコネクタです。

設置工事

1. 各機器との接続のしかた

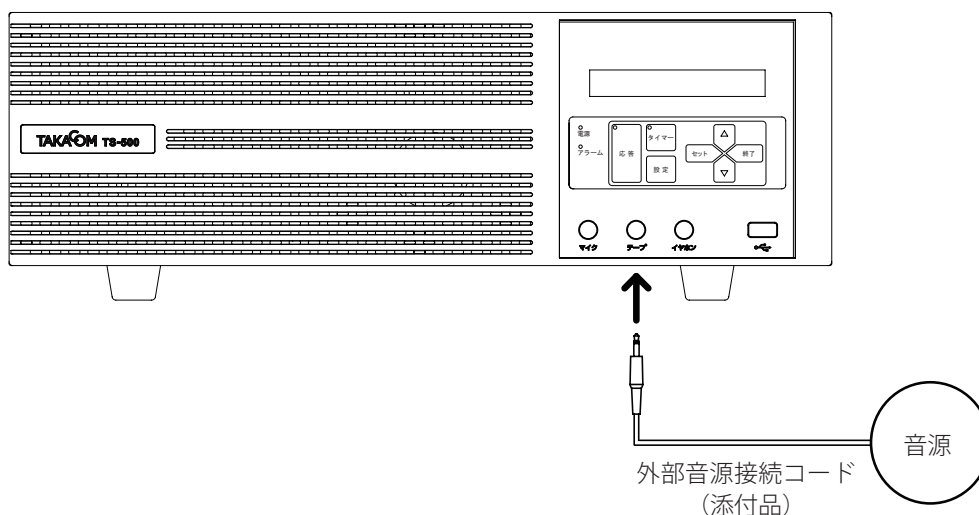


ワンポイント

- 本装置をラック (市販品) に取り付ける場合は、本装置のメンテナンス作業時間短縮などのため、ご使用になるラックに対応した棚板 (市販品) と併用することを推奨します。

外部音源モードでお使いのときは

- ◎ 実況放送や有線放送などの音源を、本装置前面のテープジャックへ接続します。
本装置への接続は、3.5mm モノラルミニプラグを使用します。
- ◎ テープジャックの仕様：10k Ω 不平衡、0dBv、3.5mm モノラルミニジャック



本装置と他の機器との接続には、次のことに留意して接続してください。

(1) 回線との接続

- ◆ スクリューレス端子に接続してください。

(2) 応答出力

- ◆ 本装置が応答にセットされると、セット中は無電圧メーク信号が出力されます。
交換機の夜間切替の信号として、特定の夜間回線へ切り替えて応答したり、また、ランプ等を点灯させて応答セットを確認することができます。
- ◆ 接点容量：DC30V,500mA 以下（スクリューレス端子）

(3) アラーム

- ◆ 本装置に停電などの障害があると、アラーム端子に無電圧メーク信号が出力されます。
- ◆ 接点容量：DC30V,500mA 以下（スクリューレス端子）

(4) 時刻修正

- ◆ 時刻修正用時計（市販品）から無電圧メーク信号を受け取ると、本装置の内蔵時計を 0 秒修正します。
- ◆ 接点容量：DC10V,10mA 以上、1k Ω 以下（スクリューレス端子）

(5) 応答制御

- ◆ 本装置での応答セット以外に、応答制御端子へ接続されたスイッチ（ロック式）から無電圧メーク信号を受け取ると、応答にセットすることができます。
操作のくわしいことは、「応答にセットする 3. 外部から応答のセットと解除」（42 ページ）をご覧ください。
- ◆ 接点容量：DC10V,10mA 以上、1k Ω 以下（スクリューレス端子）

(6) ネットワーク

- ◆ 本装置と制御用パソコンをネットワーク接続して使用する場合に LAN ケーブルを接続します。
- ◆ ネットワークの仕様は次のとおりです。
 - ・ プロトコル : TCP/IP
 - ・ インターフェース : 10BASE-T/100BASE-TX本体装置の IP アドレスなどの登録については、「本体装置の設定 2. ネットワークの設定」（20 ページ）を参照してください。

(7) 電源の接続

- ◆ 添付の電源コードで、AC100V に接続してください。
- ◆ 本装置には、電源スイッチがありません。電源が入力されると、しばらくしてディスプレイに待機画面が表示されます。

(8) 接地

- ◆ 回線保護や安全のため、必ず、接続してください。
- ◆ 絶対に、ガス管には接続しないでください。火災などの原因となります。

2. 増設のしかた

1 枚のボードに電話回線 4 回線分が収容できる 4 回線ラインボードが増設できます。お買い上げ時は、4 回線ラインボードが 1 枚（4 回線分）実装されています。

● 増設のしかたは次のとおりです。

1. 実装されているラインボードの右隣の閉じフタのネジ 2 本を取り、閉じフタを外します。（図 1）
2. 4 回線ラインボードをガイドレールに沿って差し込みます。（図 2）
 - ・本体の奥にコネクタがあります。コネクタに完全に挿入してください。
3. 4 回線ラインボードを、2 本のネジで止めます。（図 1）
 - ・増設した回線の閉じフタは使用しません。
4. 複数のラインボードを実装させる場合は、上記 1～3 を繰り返します。

STOP お願い

- 電源を入れたまま、4 回線ラインボードを抜き差ししないでください。故障の原因になります。

図 1

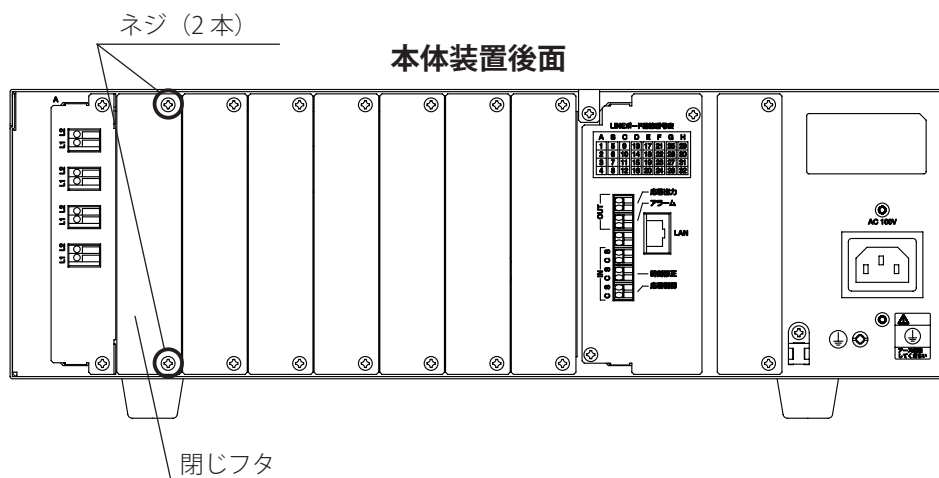
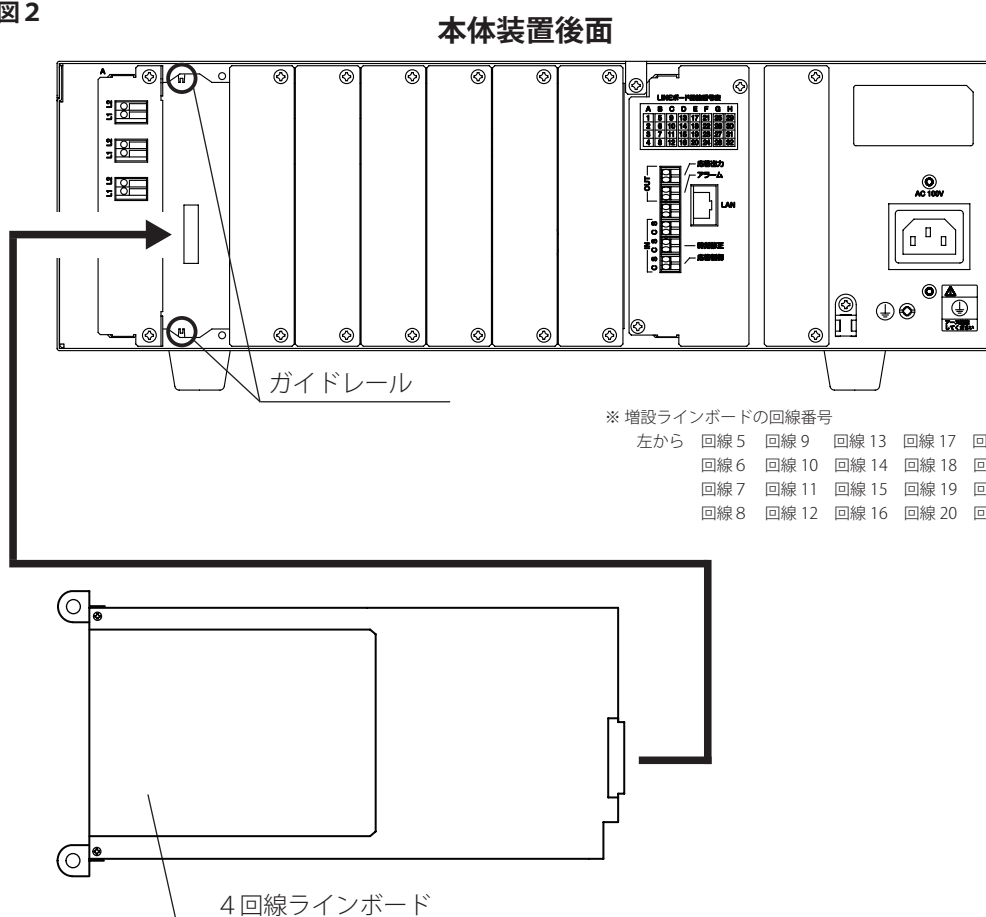


図 2



※ 増設ラインボードの回線番号

左から 回線 5 回線 9 回線 13 回線 17 回線 21 回線 25 回線 29
回線 6 回線 10 回線 14 回線 18 回線 22 回線 26 回線 30
回線 7 回線 11 回線 15 回線 19 回線 23 回線 27 回線 31
回線 8 回線 12 回線 16 回線 20 回線 24 回線 28 回線 32

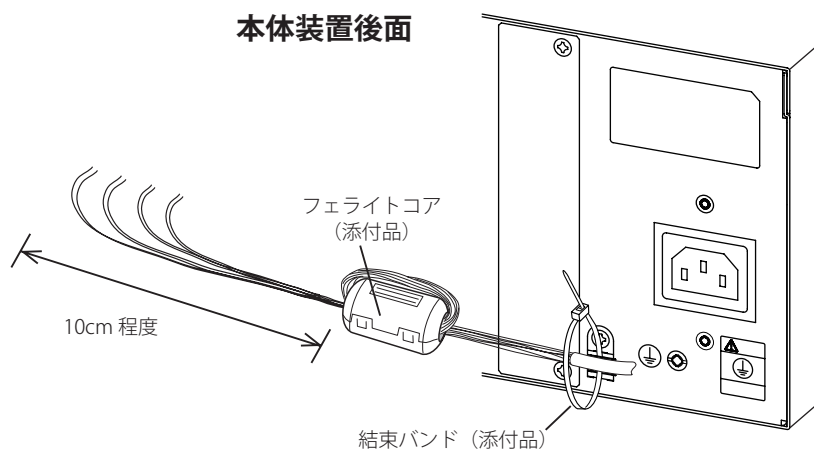
● フェライトコアの取り付けについて

1. 回線ケーブル（最大4回線分）を添付品のフェライトコアに1回巻き付けます。（図3）

・フェライトコアは、スクリーレス端子から10cm程度の位置に取り付けてください。

図3

本体装置後面



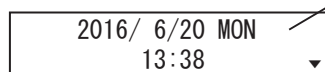
待機画面と操作一覧

■ 待機画面を表示する

本体装置に電源を入れてしばらくするとディスプレイに待機画面が表示されます。

本体装置の各種の設定を行うときは、待機画面から行います。

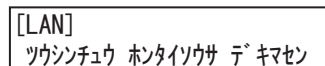
【待機画面例】



ディスプレイに年月日・曜日・時刻が表示されます。

制御用パソコンと本体装置が通信中の場合は、待機画面から以下の遠隔操作中画面に遷移します。この画面表示中は本体操作ができません。通信終了後は自動で待機画面に戻ります。

【遠隔操作中画面】



■ 本体装置のメニュー操作一覧（待機中）

待機画面中に **設定** を押して、**矢印** を操作することで表示されるメニュー項目は下記になります。

メニュー項目			説明	参照ページ
1 ソウシュツチャネル 切り換え ※ 1			登録されている送出メッセージのチャンネルを切り替えます。	43
2 メッセージ	2-1 アイツ ※ 2		挨拶メッセージの再生・録音・消去を行います。	30
	2-2 アンナイ ※ 3		案内メッセージの再生・録音・消去を行います。	32
	2-3 メッセージ スベテ ショウキョ ※ 4		挨拶メッセージおよび案内メッセージを消去します。	34
3 ファイル	3-1 USBメモリ⇒TS テンソウ	3-1-1 スベテ	USBメモリに保存された設定データ・スケジュール・メッセージを本体装置に転送します。	22
		3-1-2 セッテイ	USBメモリに保存された設定データを本体装置に転送します。	23
		3-1-3 スケジュール	USBメモリに保存されたスケジュールを本体装置に転送します。	23
		3-1-4 メッセージ	USBメモリに保存されたすべてのメッセージを本体装置に転送します。	24
		3-1-5 メッセージ (chシテイ) ※ 4	USBメモリに保存された個別のメッセージを本体装置に転送します。	24
	3-2 TS⇒USBメモリ テンソウ	3-2-1 スベテ	本体装置に保存されている設定データ・スケジュール・メッセージを USBメモリに転送します。	25
		3-2-2 セッテイ+スケジュール	本体装置に保存されている設定データ・スケジュールを USBメモリに転送します。	25
		3-2-3 メッセージ	本体装置に保存されているメッセージを USBメモリに転送します。	26
4 シュウケイ	4-1 シュウケイ シュツリョク	4-1-1 テイジ シュウケイ	定時集計データを USBメモリに転送します。	36
		4-1-2 リンジ シュウケイ	臨時集計データを USBメモリに転送します。	36
		4-1-3 テイジ / リンジ シュウケイ	定時／臨時集計データを USBメモリに転送します。	36
	4-2 シュウケイ クリア	4-2-1 テイジ シュウケイ	定時集計データを削除します。	37
		4-2-2 リンジ シュウケイ	臨時集計データを削除します。	37
		4-2-3 テイジ / リンジ シュウケイ	定時／臨時集計データを削除します。	37
5 ショキ セッテイ	5-1 ケンザイニチジ		現在の年月日・時刻を設定します。	19
	5-2 IP アドレス		本体装置の IP アドレスを設定します。	20
	5-3 サブ ネットマスク		本体装置のサブネットマスクを設定します。	20
	5-4 ゲートウェイ		本体装置のゲートウェイを設定します。	21
	5-5 ポートナンバー		本体装置のポート番号を設定します。	21
6 メンテナンス	6-1 トウサロク		本体装置の動作ログを USBメモリに転送します。	38
	6-2 バージョン		OS やアプリケーションなどのバージョンを表示します。	38
	6-3 ショキ		年月日時刻以外の設定データを出荷時の状態に戻します。	39

※ 1：外部音源モード時は「----」で表示され、選択不可。

※ 2：挨拶メッセージを使用しない運用時または、外部音源モード時は「----」で表示され、選択不可。

※ 3：外部音源モード時は「2-2 ガイブ オナゲン」で表示され、再生のみ選択可能。

※ 4：外部音源モード時は表示なし。

本体装置の設定

1. 年月日時刻を合わせる

現在の年月日・時刻を登録します。登録された年月日・時刻に従って、タイマー運用されます。

■ 登録のしかた

※登録例は、「2016年6月20日13時38分」の例です。

- 1** 待機画面のとき、**設定** を押し、**矢印** を押して、**【5 ショキ セッテイ】** を選びます。
・ **設定** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2016/ 6/20 MON 13:37
↓
1 ソラジュツ チャネル キリカエ
2 メッセージ
3 ファイル
4 シュウケイ
5 ショキ セッテイ
6 メンテナンス
- 2** **セット** を押し、**【5-1 ケンザイ ニチジ】** を選びます。
・ **セット** を押したとき **【ショキ セッテイ】** のメニュー画面を表示します。

5-1 ケンザイ ニチジ
5-2 IPアドレス
5-3 サブネット マスク
5-4 ゲートウェイ
5-5 ホートバングウ
- 3** **セット** を押します。
・ 「ニチジ」の登録画面になります。

[ケンザイ ニチジ]
2016/ 6/20 13:37
↓
[ケンザイ ニチジ]
2016/ 6/20 13:37
↓
[ケンザイ ニチジ]
2016/ 6/20 13:37
↓
[ケンザイ ニチジ]
2016/ 6/20 13:37
↓
[ケンザイ ニチジ]
2016/ 6/20 13:38
↓
5-1 ケンザイ ニチジ
5-2 IPアドレス

・ 「分」の登録が終わると、**【ショキ セッテイ】** のメニュー選択画面になります。

2016/ 6/20 MON 13:38

- 4** **終了** を必要回数押して待機画面に戻します。
・ 1回押すごとに、前画面に戻ります。
・ 待機画面になると、今登録した「年月日・時刻」を表示します。

2016/ 6/20 MON 13:38

■ 年月日・時刻を修正するには

手順1からやり直す。

■ 時刻を正確に合わせるには

手順3の「分」の登録で、現在時刻の1分後を選び、ちょうど、0秒になったとき、**セット** を押す。

ワンポイント

- 年月日・時刻の登録範囲は次のとおりです。
年：西暦 2015 年～ 2035 年
月：1 月～ 12 月
日：1 日～ 31 日（年月に対応した最大日）
時：00 時～ 23 時の 24 時間制
分：00 分～ 59 分
- 曜日は、内蔵カレンダーで、自動表示されます。
表示は次のとおりです。
日曜日：SUN 月曜日：MON 火曜日：TUE
水曜日：WED 木曜日：THU 金曜日：FRI
土曜日：SAT
- お買い上げ時は、当日の年月日時分を表示します。時報などを参考にして実際の時刻と誤差がある場合は、合わせてください。
- 「分」の登録をせずに、**終了** を押すと、今、入力したものは登録されず、登録前の年月日・時刻に戻ります。このときは、最初から登録をやり直してください。
- 現在日時を過去の年月日時刻に設定した場合、新たに設定した年月日時刻より未来にあたる集計データは、削除されます。集計データについては、35 ページを参照してください。

2. ネットワークの設定

制御用パソコンとネットワーク接続で使用するための設定を行います。

■ IP アドレスの設定

- 待機画面のとき、**設定** を押し、**矢印** を押して、【5 ショキ セッテイ】を選びます。
 - ・ **設定** を押したとき、メニュー画面が表示されます。
- セット** を押し、**矢印** を押して、【5-2 IP アドレス】を選びます。
 - ・ **セット** を押したとき【ショキ セッテイ】のメニュー画面が表示されます。
- セット** を押しします。
 - ・ 「IP アドレス」の登録画面になります。
(初期値：192.168. 0.100)
 - 矢印** で、「第 1 オクテット」を更新し、**セット** を押しします。
同様に、「第 2 → 第 3 → 第 4 オクテット」の順に登録します。
 - ・ 「第 4 オクテット」の登録が終わると、【ショキ セッテイ】のメニュー選択画面になります。
- 終了** を必要回数押して待機画面に戻します。
 - ・ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。
 - ・ 表示した IP アドレスの値を変更した場合は、待機画面に戻る前に再起動されます。

■ サブネットマスクの設定

- 待機画面のとき、**設定** を押し、**矢印** を押して、【5 ショキ セッテイ】を選びます。
 - ・ **設定** を押したとき、メニュー画面が表示されます。
- セット** を押し、**矢印** を押して、【5-3 サブ ネット マスク】を選びます。
 - ・ **セット** を押したとき【ショキ セッテイ】のメニュー画面が表示されます。
- セット** を押しします。
 - ・ 「サブ ネット マスク」の登録画面になります。
(初期値：255.255.255. 0)
 - 矢印** で、「第 1 オクテット」を更新し、**セット** を押しします。
同様に、「第 2 → 第 3 → 第 4 オクテット」の順に登録します。
 - ・ 「第 4 オクテット」の登録が終わると、【ショキ セッテイ】のメニュー選択画面になります。
- 終了** を必要回数押して待機画面に戻します。
 - ・ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。
 - ・ 表示したサブネットマスクの値を変更した場合は、待機画面に戻る前に再起動されます。

ワンポイント

- ネットワーク接続に必要な IP アドレスなどの値は、ネットワーク管理者に確認してください。
- 応答中はネットワークの設定の設定値は変更できません。
- ネットワーク接続でご使用の場合、制御用パソコンでの操作により本体装置に次のように表示される場合があります。このときは、本体装置での操作はできません。

[LAN]
ツウシンチュウ ホンタイソクサ デキマセン

■ ゲートウェイの設定

1 待機画面のとき、**設定** を押し、**矢印** を押して、【5 ショキ セッテイ】を選びます。

・ **設定** を押したとき、メニュー画面が表示されます。

2016/ 6/20 MON 13:37
1 ソウジュツ チャネル キリカエ
2 メッセージ
3 ファイル
4 シュウケイ
5 ショキ セッテイ
6 メンテナンス

2 **セット** を押し、**矢印** を押して、【5-4 ゲートウェイ】を選びます。

・ **セット** を押したとき【ショキ セッテイ】のメニュー画面が表示されます。

5-1 ゲンザイ ニチジ
5-2 IPアドレ
5-3 サブ ネット マスク
5-4 ゲートウェイ
5-5 ポートバングウ

3 **セット** を押しします。

・ 「ゲートウェイ」の登録画面になります。
(初期値：0. 0. 0. 0)

[ゲートウェイ]
***. 0. 0. 0
[ゲートウェイ]
***. ***. 0. 0
[ゲートウェイ]
***. ***. ***. 0
[ゲートウェイ]
***. ***. ***. ***

矢印 で、「第1オクテット」を更新し、**セット** を押しします。

同様に、「第2→第3→第4オクテット」の順に登録します。

・ 「第4オクテット」の登録が終わると、【ショキ セッテイ】のメニュー選択画面になります。

5-3 サブ ネット マスク
5-4 ゲートウェイ

4 **終了** を必要回数押して待機画面に戻します。

・ 1回押すごとに、前画面に戻ります。
・ 表示したゲートウェイの値を変更した場合は、待機画面に戻る前に再起動されます。

5-3 サブ ネット マスク
5-4 ゲートウェイ

↓

システム リサイクドゥ システム

↓

2016/ 6/20 MON 13:38

■ ポート番号の設定

1 待機画面のとき、**設定** を押し、**矢印** を押して、【5 ショキ セッテイ】を選びます。

・ **設定** を押したとき、メニュー画面が表示されます。

2016/ 6/20 MON 13:37
1 ソウジュツ チャネル キリカエ
2 メッセージ
3 ファイル
4 シュウケイ
5 ショキ セッテイ
6 メンテナンス

2 **セット** を押し、**矢印** を押して、【5-5 ポートバングウ】を選びます。

・ **セット** を押したとき【ショキ セッテイ】のメニュー画面が表示されます。

5-1 ゲンザイ ニチジ
5-2 IPアドレ
5-3 サブ ネット マスク
5-4 ゲートウェイ
5-5 ポートバングウ

3 **セット** を押しします。

・ 「ポートバングウ」の登録画面になります。
(初期値：55100)

[ポートバングウ]
ポート: *****

矢印 で番号を更新し、**セット** を押しします。

・ **セット** を押したとき【ショキ セッテイ】のメニュー選択画面が表示されます。

5-5 ポートバングウ

4 **終了** を必要回数押して待機画面に戻します。

・ 1回押すごとに、前画面に戻ります。
・ 表示したポート番号の値を変更した場合は、待機画面に戻る前に再起動されます。

5-5 ポートバングウ

↓

システム リサイクドゥ システム

↓

2016/ 6/20 MON 13:38

ファイルの読み書き

回線設定などの設定データや制御用パソコンで作成したスケジュールデータ、音声合成などで作成したメッセージデータなどを、USB メモリから本体装置に読み込みます。USB メモリには、あらかじめ制御用パソコンで装置用データとして作成しておきます。「第2章 データ編 新しくデータを作成する 6-1. USB メモリ書込」(78 ページ) を参照してください。また、本体装置のスケジュールデータや音源などを、USB メモリに書き出すこともできます。

1. USB メモリのデータを本体装置に読み込む

■すべてのデータの読み込み

1 装置用データが書き込まれた USB メモリを、USB コネクタに接続します。

2 待機画面のとき、**設定** を押しします。

・メニュー画面が表示されます。

2016/ 6/20 MON
13:37

● 基本モードの場合

1 ソフトウェア チャネル キリカエ
2 メッセージ

● 外部音源モードの場合

1 ----
2 メッセージ

3 **矢印** を押し、**【3 ファイル】** を選び、**セット** を押しします。

・転送選択のメニュー画面が表示されます。

3 ファイル
4 シュケイ

3-1 USBメモリ⇒TS テンソウ
3-2 TS⇒USBメモリ テンソウ

4 **セット** を押しします。

・**【USBメモリ⇒TS テンソウ】** のメニュー画面が表示されます。

3-1 USBメモリ⇒TS テンソウ
3-2 TS⇒USBメモリ テンソウ

3-1-1 スベテ
3-1-2 セッテイ

5 **セット** を押しします。

・「USBメモリ カンチウ」のあと、更新されるデータの作成年月日時刻が表示されます。(画面例は「設定データ」が更新対象の場合)

3-1-1 スベテ
3-1-2 セッテイ

[USBメモリ⇒TS テンソウ]
USBメモリ カンチウ

[セッテイ]
2016/ 6/20 13:37

6 **矢印** を押しします。

・更新するスケジュールやメッセージの作成年月日時刻が確認できます。(画面例はすべてのデータが更新対象の場合)

矢印 や **セット** を押しします。

・転送確認開始画面が表示されます。

[セッテイ]
2016/ 6/20 13:37

[スケジュール]
2016/ 6/20 13:38

[メッセージ]
2016/ 6/20 13:38

USBメモリ⇒TS テンソウ シマス
[セット]

セット を押しします。

・転送中確認画面が表示されます。
・転送が完了すると、転送完了画面が表示された後に、**【USBメモリ⇒TS テンソウ】** のメニュー画面が表示されます。

[スベテ]
USBメモリ⇒TS テンソウ チュウ

[スベテ]
USBメモリ⇒TS テンソウ カンリョウ

3-1-1 スベテ
3-1-2 セッテイ

7 **終了** を、必要回数押しして待機画面に戻します。

・1 回押しごとに、前画面に戻ります。

2016/ 6/20 MON
13:38

ワンポイント

- 装置用データに年月日時刻や本体装置の IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ・ポート番号は含まれません。
- 読み込みのしかたの手順 5 で、USBメモリが挿入されていないときは、「USBメモリ カンチウ シマス」と表示されます。USBメモリを挿入してください。
- スケジュールやメッセージを読み込むときに、USBメモリにデータがない場合は、「ピッ・ピッ・・・」と鳴って「テンソウ デキル ファイル ガ アリマセン」と表示します。USBメモリ内のデータを確認してください。
- 入力ソフトによりモード変更した装置用データを読み込んだ場合、読み込みのしかたの手順 6 で以下の確認メッセージが表示されます。

モード ヘンコウ シマス
[セット]

セット を押すと処理が継続されます。

- 応答のセット中は動作モードが異なる装置用データは以下のアラームが出力され、読み込めません。「応答の解除」(40 ページ) により、応答を解除してください。

[アラーム]
モード ヘンコウ デキマセン

STOP お願い

- データの読み込み中は、USB メモリを抜かないでください。データが破損することがあります。

ご注意

- メッセージを一括して読み込む場合は、本体装置内のすべてのメッセージデータが USB メモリ内のデータに置き換えられます。
本体装置内で録音のあるチャンネルが、USB メモリにない場合、そのチャンネルは消去されますので注意してください。

■ 設定データの読み込み

[手順1～4]は、前の「すべてのデータの読み込み」と同じです。

5 **矢印** を押して、【3-1-2 セッテイ】を選び、**セット** を押します。

・「USBメモリ カンチウ」のあと、設定データの作成年月日時刻が表示されます。

6 **矢印** や **セット** を押します。

・転送確認開始画面が表示されます。

セット を押します。

・転送中確認画面が表示されます。

・転送が完了すると、転送完了画面が表示された後に、【USBメモリ=>TS テンソウ】のメニュー画面が表示されます。

7 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻します。

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

■ スケジュールデータの読み込み

[手順1～4]は、前の「すべてのデータの読み込み」と同じです。

5 **矢印** を押して、【3-1-3 スケジュール】を選び、**セット** を押します。

・「USBメモリ カンチウ」のあと、スケジュールデータの作成年月日時刻が表示されます。

6 **矢印** や **セット** を押します。

・転送確認開始画面が表示されます。

セット を押します。

・転送中確認画面が表示されます。

・転送が完了すると、転送完了画面が表示された後に、【USBメモリ=>TS テンソウ】のメニュー画面が表示されます。

7 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻します。

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

- 【3-1-2 セッテイ】および【3-1-3 スケジュール】において、装置用データと本体装置のデータが同じ場合は、「おタイド ウィツ ファイル デス」と表示されます。

■ メッセージデータの読み込み

【手順 1 ～ 4】は、前の「すべてのデータの読み込み」と同じです。

- 5 **矢印** を押して、【3-1-4 メッセージ】を選び、**セット** を押します。

- ・「USBメモリ カンテュ」のあと、メッセージデータの作成年月日時刻が表示されます。

3-1-3 スケジュール
3-1-4 メッセージ

[USBメモリ⇒TS テンソウ]
USBメモリ カンテュ

[メッセージ]
2016/ 6/20 13:38

- 6 **矢印** や **セット** を押します。
- ・転送確認開始画面が表示されます。

セット を押します。

- ・転送中確認画面が表示されます。
- ・転送が完了すると、転送完了画面が表示された後に、【USBメモリ⇒TS テンソウ】のメニュー画面が表示されます。

[メッセージ]
2016/ 6/20 13:38

USBメモリ⇒TS テンソウ シマス
[セット]

[メッセージ]
USBメモリ⇒TS テンソウ チュウ

[メッセージ]
USBメモリ⇒TS テンソウ カンリョウ

3-1-3 スケジュール
3-1-4 メッセージ

- 7 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻します。
- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。

2016/ 6/20 MON
13:38

ご注意

- メッセージを一括して読み込む場合は、本体装置内のすべてのメッセージデータがUSBメモリ内のデータに置き換えられます。
本体装置内で録音のあるチャンネルが、USBメモリにない場合、そのチャンネルは消去されますので注意してください。

■ メッセージデータ（チャンネル指定）の読み込み

【手順 1 ～ 4】は、前の「すべてのデータの読み込み」と同じです。

- 5 **矢印** を押して、【3-1-5 メッセージ（chシテイ）】を選び、**セット** を押します。

- ・「USBメモリ カンテュ」のあと、チャンネル選択画面が表示されます。

3-1-5 メッセージ（chシテイ）

[USBメモリ⇒TS テンソウ]
USBメモリ カンテュ

[メッセージ]
12ch [セット]

- 6 **矢印** を押して、チャンネルを選び、**セット** を押します。

- ・転送確認開始画面が表示されます。

セット を押します。

- ・転送中確認画面が表示されます。
- ・転送が完了すると、転送完了画面が表示された後に、チャンネル選択画面が表示されます。

[メッセージ]
12ch [セット]

USBメモリ⇒TS テンソウ シマス
[セット]

[メッセージ（chシテイ）]
USBメモリ⇒TS テンソウ チュウ

[メッセージ（chシテイ）]
USBメモリ⇒TS テンソウ カンリョウ

[メッセージ]
12ch [セット]

別のチャンネルを転送する場合は、上記手順を繰り返します。

インポート後に表示されます。

- 7 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻します。
- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。

2016/ 6/20 MON
13:38



ワンポイント

- 基本モードの場合のみ、メッセージデータ（チャンネル指定）の読み込みができます。（外部音源モードの場合は対象外です）

2. 本体装置のデータを USB メモリに書き込む

本体装置のネットワークなどの設定データや運用中のスケジュール、メッセージのデータを、本体装置から USB メモリに書き込んでバックアップしておくことができます。制御用パソコンの故障などでスケジュールデータが消去された場合に、USB メモリから読み込んで編集することなどができます。

■ すべてのデータの書き込み

- 1 USB メモリを、USB コネクタに接続します。
- 2 待機画面のとき、**設定** を押しします。

2016/ 6/20 MON 13:37

- 基本モードの場合

1 ソラジュツ チヤネル キリカエ
 2 メッセージ
 - 外部音源モードの場合

1 ----
 2 メッセージ
- 3 **矢印** を押して、【3 ファイル】を選び、**セット** を押しします。

3 ファイル
 4 シュウケイ

- 転送選択のメニュー画面が表示されます。

3-1 USBメモリ⇒TS テンソウ
 3-2 TS ⇒ USBメモリ テンソウ
- 4 **矢印** を押して、【3-2 TS ⇒ USB メモリ テンソウ】を選び、**セット** を押しします。

3-1 USBメモリ⇒TS テンソウ
 3-2 TS⇒USBメモリ テンソウ

- 【TS ⇒ USBメモリ テンソウ】のメニュー画面が表示されます。

3-2-1 スベテ
 3-2-2 セッテイ+スケジュール
- 5 **セット** を押しします。

3-2-1 スベテ
 3-2-2 セッテイ+スケジュール

- 転送確認開始画面が表示されます。

TS⇒USBメモリ テンソウ シマス
 [セット]
 - 転送中確認画面が表示されます。

[TS⇒USBメモリ テンソウ]
 USBメモリ カクコン チュウ
 - 確認完了後に転送中画面が表示されます。

[セッテイ+スケジュール]
 TS⇒USBメモリ テンソウ チュウ
 - 転送が完了すると、転送完了画面が表示された後に、【TS ⇒ USBメモリ テンソウ】のメニュー画面が表示されます。

[セッテイ+スケジュール]
 TS⇒USBメモリ テンソウ カンリョウ
- 6 **終了** を、必要回数押しして待機画面に戻します。

2016/ 6/20 MON 13:38

- 1回押すごとに、前画面に戻ります。

■ 設定データとスケジュールデータの書き込み

【手順 1 ～ 4】は、左の「すべてのデータの書き込み」と同じです。

- 5 **矢印** を押して、【3-2-2 セッテイ+スケジュール】を選び、**セット** を押しします。

3-2-1 スベテ
 3-2-2 セッテイ+スケジュール

- 転送確認開始画面が表示されます。

TS⇒USBメモリ テンソウ シマス
 [セット]
 - 転送中確認画面が表示されます。

[TS⇒USBメモリ テンソウ]
 USBメモリ カクコン チュウ
 - 確認完了後に転送中画面が表示されます。

[セッテイ+スケジュール]
 TS⇒USBメモリ テンソウ チュウ
 - 転送が完了すると、転送完了画面が表示された後に、【TS ⇒ USBメモリ テンソウ】のメニュー画面が表示されます。

[セッテイ+スケジュール]
 TS⇒USBメモリ テンソウ カンリョウ
- 6 **終了** を、必要回数押しして待機画面に戻します。

2016/ 6/20 MON 13:38

- 1回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

- 書き込みのしかたの手順 5 で、USBメモリが挿入されていないときは、「USBメモリ カクコン シタサイ」と表示されます。USBメモリを挿入してください。

STOP お願い

- データの書き込み中は、USBメモリを抜かないでください。データが破損することがあります。

ご注意

- USBメモリにデータを書き込む場合は、USBメモリ内のデータが本体装置内のデータに置き換えられます。本体装置内にないデータは、USBメモリにそのまま残ります。

■ メッセージデータの書き込み

[手順 1 ～ 4] は、前の「すべてのデータの書き込み」と同じです。

5

矢印

を押して、【3-2-3 メッセージ】
を選び、

セット

を押します。
・ 転送確認開始画面が表示されます。

セット

を押します。
・ 転送中確認画面が表示されます。
・ 確認完了後に転送中画面が表示されま
す。
・ 転送が完了すると、転送完了画面が表
示された後に、【TS → USBメモリ テンソウ】の
メニュー画面が表示されます。

3-2-3 メッセージ

↓

TS⇒USBメモリ テンソウ シマス
[セット]

↓

[TS⇒USBメモリ テンソウ]
USBメモリ カクニン チュウ

↓

[メッセージ]
TS⇒USBメモリ テンソウ チュウ

↓

[メッセージ]
TS⇒USBメモリ テンソウ カンリョウ

↓

3-2-3 メッセージ

6

終了

を、必要回数押して待機
画面に戻します。
・ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2016/ 6/20 MON
13:38

メモ

メッセージの操作

回線応答したときに送出するメッセージを操作します。本体装置では録音・再生・消去ができます。

1. メッセージの録音

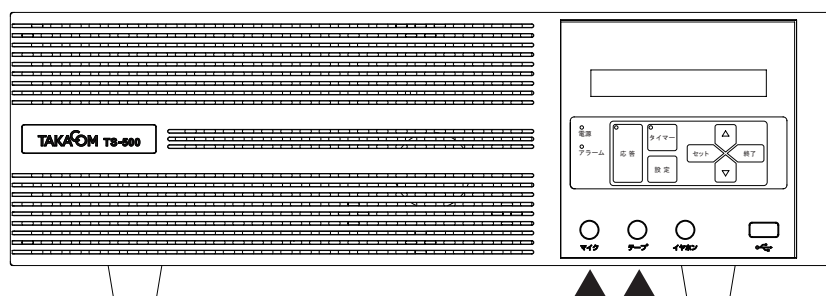
■ 録音の前に

● 録音方法の種類

本体装置での録音方法は、次の3種類あります。

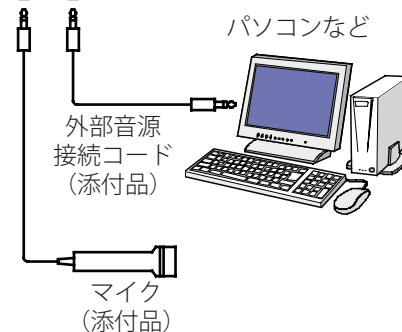
- ①マイクからの録音
- ②外部音源（パソコンなど）からのダビング録音
- ③マイクと外部音源（パソコンなど）とのミキシング録音

● 外部機器の接続



ワンポイント

- マイクと外部音源（パソコンなど）を接続すると両方からのメッセージを録音できます。
※ マイクから録音するときは、外部音源（パソコンなど）の接続は必要ありません。
また、外部音源（パソコンなど）からダビング録音するときは、マイクの接続は必要ありません。
- マイクから録音するときは、マイクを音源から約10cm程度離して録音してください。



■ 録音メッセージについて

● 録音容量

挨拶メッセージと案内メッセージの合計で最大 360 分です。

● メッセージの種類とチャンネル数

メッセージは挨拶メッセージと案内メッセージがあります。挨拶メッセージは使用する／しないの設定ができます。

① 基本モード

- ・挨拶メッセージが1種類、案内メッセージが99種類使用できます。
- ・チャンネルは ch:1 ～ ch:99 の99チャンネルあります。

② 外部音源モード

- ・挨拶メッセージの1種類のみが使用できます。

● 音質

音声品質については、以下となります。

- ・形式： μ -law
- ・属性：8kHz、8ビット、モノラル

● 録音レベルの調節

マイクや外部音源（パソコンなど）から録音するときは、録音準備画面において、録音レベルが適正範囲に入るように、音源側の音量を調節してください。

① 録音音量

- ・録音音量が適正範囲であることを確認してください。



※スピーカ音量はマイクからの録音時には表示されません。

※録音準備画面については、無操作時間が2分以上でも、待機画面に遷移しません。



ワンポイント

- パソコンなどの外部音源から録音する場合、スピーカ音量を **矢印** で変更できます。このとき録音レベルは変化しません。

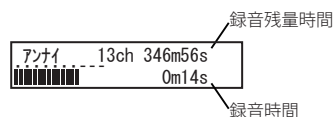
● 録音の画面表示

① 録音残量時間

- ・録音可能時間が、[分：秒] で表示されます。
- ・録音が始まると秒単位で減算表示します。

② 録音時間

- ・メッセージ（チャンネル）が選択されると、[0m 0s] が表示されます。
- ・録音が始まると、秒単位で加算表示します。



2. 挨拶メッセージの録音・再生・消去

■ 録音のしかた

● 基本モード

1 待機画面のとき、**設定** を押し
ます。
・メニュー画面が表示されます。

2 **矢印** を押して、**【2 メッセージ】** を選
び、**セット** を押します。
・メッセージメニュー画面が表示されま
す。挨拶メッセージを使用しない場合
は以下の画面が表示され、選択できま
せん。

3 **セット** を押します。
・操作選択画面が表示されます。

4 **矢印** を押して、**【マイク】** を選び、
セット を押します。
・録音準備画面が表示されます。

音源を入力します。
・マイクやパソコンから入力する音源の
録音レベルが、適正範囲になるように
音源の録音音量を調節します。

5 **セット** を押します。
・録音が開始されます。

終了 を押すと、録音が終わります。
・録音残量時間が0sになると、録音が
停止します。

6 **終了** を、必要回数押して待機
画面に戻ります。
・1回押すごとに、前画面に戻ります。
・メニュー画面の表示前にバックアップ
確認画面が表示されます。

セット を押すと、メッセージの
バックアップが始まります。
・バックアップが正常に終了すると、バック
アップ完了画面が表示されます。

● 外部音源モード

1 待機画面のとき、**設定** を押し
ます。
・メニュー画面が表示されます。

2 **セット** を押します。
・メッセージメニュー画面が表示されま
す。挨拶メッセージを使用しない場合
は以下の画面が表示され、選択できま
せん。

3 **セット** を押します。
・操作選択画面が表示されます。

手順4 以降は、前の基本モードと同様です。

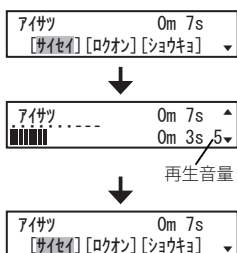
ワンポイント

- 挨拶メッセージの使用する／しないの設定は、入力ソフトで設定できます。詳細は、「第2章 データ編 新しくデータを作成する 2. 初期設定(詳細情報)」(58ページ)を参照してください。
- メッセージが録音済みのときは、その録音時間が表示されます。そのまま録音すると、古いメッセージは消去され、新しいメッセージに吹き替えられます。
- 外部音源モードで応答中の場合、録音はできません。「オクトゥハセツテイデマセン」と表示されます。
- 手順5を実施しない場合は、手順6におけるメッセージのバックアップ処理は省略されます。
- 手順6で **終了** を押さずに約2分間、ボタン操作をしないと、自動でメッセージのバックアップが実行され、待機画面に戻ります。

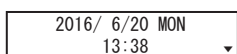
■ 再生のしかた

[手順1～3] は、前の「録音のしかた」と同じです。

- 4** **セット** を押します。
- ・メッセージが再生され、スピーカから再生音が聞こえます。
 - ・再生中に **矢印** を押すと、再生音量が変更できます。
- 終了** を押すと、再生が停止します。
- ・操作選択画面が表示されます。
 - ・再生が終了しても操作選択画面が表示されます。



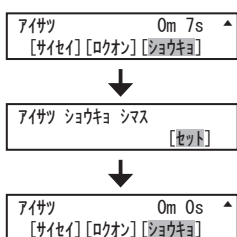
- 5** **終了** を、必要回数押して待機画面に戻します。
- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。



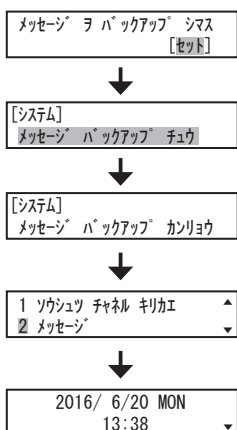
■ 消去のしかた

[手順1～3] は、前の「録音のしかた」と同じです。

- 4** **矢印** を押して、【ショウキョ】を選び、**セット** を押します。
- ・消去準備画面が表示されます。
- セット** を押します。
- ・消去されます。



- 5** **終了** を、必要回数押して待機画面に戻します。
- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。
 - ・メニュー画面の表示前にバックアップ確認画面が表示されます。
- セット** を押すと、メッセージのバックアップが始まります。
- ・バックアップが正常に終了すると、バックアップ完了画面が表示されます。



ワンポイント

- 応答セット中の挨拶メッセージは消去できません。
- 手順5で **終了** を押さずに約2分間、ボタン操作をしないと、自動でメッセージのバックアップが実行され、待機画面に戻ります。

3. 案内メッセージの録音・再生・消去

■ 録音のしかた

1 待機画面のとき、**設定** を押しします。

・メニュー画面が表示されます。

2016/ 6/20 MON 13:37

1 ソウシュ チヤネル キリカエ
2 メッセージ

2 **矢印** を押し、**【2 メッセージ】** を選び、**セット** を押しします。

・メッセージメニュー画面が表示されます。挨拶メッセージを使用しない場合は、以下の画面が表示されます。

2-1 アイサツ
2-2 アンナイ

※ 挨拶メッセージ：使用する

2-1 ----
2-2 アンナイ

3 **矢印** を押し、**【2-2 アンナイ】** を選び、**セット** を押しします。

・メッセージチャンネル選択画面が表示されます。

アンナイ 347m10s
1ch 0m12s

矢印 を押し、メッセージチャンネルを選び、**セット** を押しします。

・操作選択画面が表示されます。

アンナイ 347m10s
13ch 0m 0s

アンナイ 13ch 0m 0s
[サイセイ] [ロカオン] [ショウキョ]

4 **矢印** を押し、**【13ch】** を選び、**セット** を押しします。

・録音準備画面が表示されます。

音源を入力します。

・マイクやパソコンから入力する音源の録音レベルが、適正範囲になるように音源の録音音量を調節します。

アンナイ 13ch 347m10s
[セット] 5

※ ダビング録音やミキシング録音の場合の表示例

5 **セット** を押しします。

・録音が始まります。

アンナイ 13ch 347m10s
[セット] 5

終了 を押し、録音が終わります。

・録音残量時間が0sになると、録音が停止します。

アンナイ 13ch 346m56s
0m14s

アンナイ 13ch 0m18s
[サイセイ] [ロカオン] [ショウキョ]

6 **終了** を、必要回数押し待機画面に戻します。

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

・メニュー画面の表示前にバックアップ確認画面が表示されます。

メッセージ バックアップ シマス [セット]

システム
メッセージ バックアップ チュウ

システム
メッセージ バックアップ カンリョウ

1 ソウシュ チヤネル キリカエ
2 メッセージ

2016/ 6/20 MON 13:38

ワンポイント

- メッセージが録音済みのときは、その録音時間が表示されます。そのまま録音すると、古いメッセージは消去され、新しいメッセージに吹き替えられます。
- 手順5を実施しない場合は、手順6におけるメッセージのバックアップ処理は省略されます。
- 手順6で**終了**を押さずに約2分間、ボタン操作をしないと、自動でメッセージのバックアップが実行され、待機画面に戻ります。

■ 再生のしかた

[手順1～3] は、前の「録音のしかた」と同じです。

4 **セット** を押しします。

・メッセージが再生され、スピーカから再生音が聞こえます。

・再生中に**矢印**を押すと、再生音量が変更できます。

アンナイ 13ch 0m18s
[サイセイ] [ロカオン] [ショウキョ]

アンナイ 13ch 0m18s
0m 3s 5

再生音量

終了 を押し、再生が停止します。

・操作選択画面が表示されます。

・再生が終了しても操作選択画面が表示されます。

アンナイ 13ch 0m18s
[サイセイ] [ロカオン] [ショウキョ]

5 **終了** を、必要回数押し待機画面に戻します。

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

2016/ 6/20 MON 13:38

■ 消去のしかた

【手順1～3】は、前の「録音のしかた」と同じです。

4 **矢印** を押して、【ショウキョ】を選び、**セット** を押します。

- 消去準備画面が表示されます。

セット を押します。

- 消去されます。

5 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻します。

- 1 回押すごとに、前画面に戻ります。
- メニュー画面の表示前にバックアップ確認画面が表示されます。

セット を押すと、メッセージのバックアップが始まります。

- バックアップが正常に終了すると、バックアップ完了画面が表示されます。

ワンポイント

- 本体装置でメッセージを消去したりメッセージの内容を編集しても、メッセージ名やメッセージ色はそのまま残ります。(メッセージ名やメッセージ色については、「第2章 データ編」を参照してください)
- USBメモリやネットワーク接続により制御用パソコンに、本体装置で編集したメッセージを読み込むと、該当するメッセージ名のメッセージ再生時間が「00:00」で表示される場合があります。
- 応答セット中は、応答にセットされていない案内メッセージが消去できます。(応答セット中の案内メッセージは消去できません)
- 手順5で **終了** を押さずに約2分間、ボタン操作をしないと、自動でメッセージのバックアップが実行され、待機画面に戻ります。

4. 外部音源の再生

外部音源モードの場合は、外部音源から入力される内容が再生できます。

1 待機画面のとき、**設定** を押しします。

- メニュー画面が表示されます。

2 **セット** を押します。

- メッセージメニュー画面が表示されます。挨拶メッセージを使用しない場合は、以下の画面が表示されます。

3 **矢印** を押して、【2-2 ガイオンゲン】を選び、**セット** を押します。

- 再生準備画面が表示されます。

4 **セット** を押します。

- 外部音源からのメッセージが再生され、スピーカから再生音が聞こえます。
- 再生中に **矢印** を押すと、再生音量が変更できます。

終了 を押すと、再生が停止します。

- 再生準備画面が表示されます。

5 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻します。

- 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

5. メッセージの一括消去

挨拶メッセージや案内メッセージを一括で消去できます。

1 待機画面のとき、**設定** を押し
ます。

- ・メニュー画面が表示されます。外部音源モードの場合は、メッセージの一括消去対象外です。

2016/ 6/20 MON
13:37

1 ソウシュツ チャネル キリカエ
2 メッセージ

2 **矢印** を押して、**2 メッセージ** を選
び、**セット** を押し

- ・メッセージメニュー画面が表示されま
す。挨拶メッセージを使用しない場合
は、以下の画面が表示されます。

1 ソウシュツ チャネル キリカエ
2 メッセージ

2-1 アイサツ
2-2 アンナイ

※ 挨拶メッセージ：使用する

2-1 ----
2-2 アンナイ

3 **矢印** を押して、**2-3 メッセージ スベ
テ ショウキョ** を選び、**セット** を押し
ます。

- ・消去確認画面が表示されます。

2-3 メッセージ スベテ ショウキョ

メッセージ スベテ ショウキョ シマス
[セット]

4 **セット** を押し

- ・すべてのメッセージが消去されます。
- ・メッセージ削除後に完了画面が表示さ
れます。

メッセージ スベテ ショウキョ シマス
[セット]

[メッセージ]
ショウキョ カンリョウ

2-3 メッセージ スベテ ショウキョ

5 **終了** を押し

- ・バックアップ確認画面が表示されます。

2-3 メッセージ スベテ ショウキョ

セット を押すと、メッセージの
バックアップが始まります。

- ・バックアップが正常に終了すると、バッ
クアップ完了画面が表示されます。

メッセージ ヲ バックアップ シマス
[セット]

[システム]
メッセージ バックアップ チュウ

[システム]
メッセージ バックアップ カンリョウ

6 **終了** を押して待機画面に戻し
ます。

2016/ 6/20 MON
13:38

ワンポイント

- 基本モードの場合のみ、メッセージの一括消去がで
きます。(外部音源モードの場合は対象外です)
- 本体装置でメッセージを消去したりメッセージの内容
を編集しても、メッセージ名やメッセージ色はそのま
ま残ります。(メッセージ名やメッセージ色につい
ては、「第2章 データ編」を参照してください)
- USB メモリやネットワーク接続により制御用パソコ
ンに、本体装置で編集したメッセージを読み込むと、該
当するメッセージ名のメッセージ再生時間が「00:00」
で表示される場合があります。
- 応答セット中のメッセージの一括消去はできません。
- 手順4を実施しない場合は、手順5は省略されます。
- 手順5で **終了** を押さずに約2分間、ボタン操作をし
ないと、自動でメッセージのバックアップが実行され、
待機画面に戻ります。

集計データの出力

本装置への総着信件数や全回線話中時間などの集計データを、あらかじめ決められた時間や任意の時間に収集することができます。集計データは、手動で USB メモリに出力して制御用パソコンで収集する方法と、ネットワークに接続して制御用パソコンから手動または自動で収集する方法があります。

集計データの出力方法は定時集計（時集計、日集計、週集計、月集計）と臨時集計があります。

集計データの時集計・日集計・週集計・月集計の 4 種類のデータは、それぞれ最大 1000 ファイル保存できます。

1. データの集計方法

1-1 定時集計

■ 集計データについて

種類	内容	集計期間	集計日時
時集計	1 時間の合計	前の 1 時間 (0 ～ 60 分)	毎時 0 分
日集計	1 日の合計	前日 (0 ～ 24 時)	毎日、 午前 0 時
週集計	1 週間の合計	先週 (月曜日～日曜日)	毎週、月曜日 午前 0 時
月集計	1 ヶ月の合計	先月 (1 日～月末)	毎月 1 日、 午前 0 時

■ 集計データの選択

各集計データは、入力ソフトの本体初期設定「集計設定」で、種類ごとに「集計する／しない」が選択できます。

- 工場出荷時の設定
 - ・時集計：集計しない
 - ・日集計：集計する
 - ・週集計：集計する
 - ・月集計：集計する

詳しくは「第 2 章 データ編 新しくデータを作成する 2. 初期設定（詳細情報）」(58 ページ)を参照してください。

■ 集計データの上書き

「集計設定」で「データの上書きする」に設定されているときは、ファイル数が満杯になると、古いファイルから順番に上書きされます。

- 保存できるファイル数
 - ・時集計のみ：約 41 日分
 - ・日集計のみ：約 2.7 年分
 - ・週集計のみ：約 19 年分
 - ・月集計のみ：約 83 年分

1-2 臨時集計

着信件数・転送件数・応答件数などのデータを臨時出力することができます。臨時出力されるデータは、前回の出力から今回の出力までの累計を集計します。また臨時集計データを出力すると、データは消去されます。

ワンポイント

- 停電が発生しても、停電発生までの集計データは保存されます。

ワンポイント

- 「データの上書きしない」に設定されているときは、ファイル数が残り 30 以下になると、【データ不足の警告】と警告表示します。さらに、ファイル数が満杯になると、【データ不足の表示】と表示され、アラーム出力されます。集計データの出力操作を行って、本装置内の集計データを消去してください。

2. 集計データの出力

■ 定時集計の出力

1 USBメモリを、USBコネクタに接続します。

2 待機画面のとき、**設定** を押しします。

- ・メニュー画面が表示されます。

2016/ 6/20 MON
13:37

● 基本モードの場合

1 ソウシュ チヤネル キリカ
2 メッセージ

● 外部音源モードの場合

1 ----
2 メッセージ

3 **矢印** を押して、【4 シュウケイ】を選び、**セット** を押しします。

- ・集計データ出力画面が表示されます。

3 ファイル
4 シュウケイ

4-1 シュウケイ シュツリョク
4-2 シュウケイ クリア

4 **セット** を押しします。

- ・集計データ出力項目選択画面が表示されます。

4-1 シュウケイ シュツリョク
4-2 シュウケイ クリア

4-1-1 テイジ シュウケイ
4-1-2 リンジ シュウケイ

5 **セット** を押しします。

- ・出力確認開始画面が表示されます。

4-1-1 テイジ シュウケイ
4-1-2 リンジ シュウケイ

セット を押しします。

- ・USBメモリ確認画面が表示されます。
- ・確認が完了すると出力中画面が表示されます。
- ・出力が完了すると、出力完了画面が表示された後に、集計データ出力項目選択画面が表示されます。

シュウケイ シュツリョク シマス
[セット]

[TS=>USBメモリ テンソク]
USBメモリ カクニン チュウ

[テイジ シュウケイ]
TS=>USBメモリ テンソク チュウ

[テイジ シュウケイ]
TS=>USBメモリ テンソク カンリョウ

4-1-1 テイジ シュウケイ
4-1-2 リンジ シュウケイ

6 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻します。

- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。

2016/ 6/20 MON
13:38

ワンポイント

- 集計データの出力の手順5で、USBメモリが挿入されていないときは、「USBメモリが接続できません」と表示されます。USBメモリを挿入してください。

STOP お願い

- データの書き込み中は、USBメモリを抜かないでください。データが破損することがあります。

■ 臨時集計の出力

【手順1～4】は、左の「定時集計の出力」と同じです。

5 **矢印** を押して、【4-1-2 リンジ シュウケイ】を選び、**セット** を押しします。

- ・転送確認開始画面が表示されます。

セット を押しします。

- ・USBメモリ確認画面が表示されます。
- ・確認が完了すると出力中画面が表示されます。
- ・出力が完了すると、出力完了画面が表示された後に、集計データ出力項目選択画面が表示されます。

4-1-1 テイジ シュウケイ
4-1-2 リンジ シュウケイ

シュウケイ シュツリョク シマス
[セット]

[TS=>USBメモリ テンソク]
USBメモリ カクニン チュウ

[リンジ シュウケイ]
TS=>USBメモリ テンソク チュウ

[リンジ シュウケイ]
TS=>USBメモリ テンソク カンリョウ

4-1-1 テイジ シュウケイ
4-1-2 リンジ シュウケイ

6 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻します。

- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。

2016/ 6/20 MON
13:38

■ 定時集計と臨時集計の出力

【手順1～4】は、左の「定時集計の出力」と同じです。

5 **矢印** を押して、【4-1-3 テイジ / リンジ シュウケイ】を選び、**セット** を押しします。

- ・転送確認開始画面が表示されます。

セット を押しします。

- ・USBメモリ確認画面が表示されます。
- ・確認が完了すると出力中画面が表示されます。
- ・出力が完了すると、出力完了画面が表示された後に、集計データ出力項目選択画面が表示されます。

4-1-3 テイジ / リンジ シュウケイ

シュウケイ シュツリョク シマス
[セット]

[TS=>USBメモリ テンソク]
USBメモリ カクニン チュウ

[テイジ / リンジ シュウケイ]
TS=>USBメモリ テンソク チュウ

[テイジ / リンジ シュウケイ]
TS=>USBメモリ テンソク カンリョウ

4-1-3 テイジ / リンジ シュウケイ

6 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻します。

- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。

2016/ 6/20 MON
13:38

3. 集計データの削除

■ 定時集計の削除

1 待機画面のとき、**設定**を押します。

・メニュー画面が表示されます。

2016/ 6/20 MON 13:37

● 基本モードの場合
1 ソラシユツ チヤネル キリカエ
2 メッセージ

● 外部音源モードの場合
1 ----
2 メッセージ

2 **矢印**を押して、【4 シュウケイ】を選び、**セット**を押します。

・集計データ出力画面が表示されます。

3 ファイル
4 シュウケイ

4-1 シュウケイ シュツリョウ
4-2 シュウケイ クリア

3 **矢印**を押して、【4-2 シュウケイ クリア】を選び、**セット**を押します。

・集計データ出力項目選択画面が表示されます。

4-1 シュウケイ シュツリョウ
4-2 シュウケイ クリア

4-2-1 テイジ シュウケイ
4-2-2 リンジ シュウケイ

4 **セット**を押します。

・削除確認画面が表示されます。

4-2-1 テイジ シュウケイ
4-2-2 リンジ シュウケイ

セットを押します。

・削除が完了すると、削除完了画面が表示された後に、集計データ出力項目選択画面が表示されます。

シュウケイ クリア シマス [セット]

[シュウケイ]
シュウケイ クリア カンリョウ

4-2-1 テイジ シュウケイ
4-2-2 リンジ シュウケイ

5 **終了**を、必要回数押して待機画面に戻します。

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

2016/ 6/20 MON 13:38

■ 臨時集計の削除

【手順1～3】は、左の「定時集計の削除」と同じです。

4 **矢印**を押して、【4-2-2 リンジ シュウケイ】を選び、**セット**を押します。

・削除確認画面が表示されます。

4-2-1 テイジ シュウケイ
4-2-2 リンジ シュウケイ

セットを押します。

・削除が完了すると、削除完了画面が表示された後に、集計データ出力項目選択画面が表示されます。

シュウケイ クリア シマス [セット]

[シュウケイ]
シュウケイ クリア カンリョウ

4-2-1 テイジ シュウケイ
4-2-2 リンジ シュウケイ

5 **終了**を、必要回数押して待機画面に戻します。

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

2016/ 6/20 MON 13:38

■ 定時集計と臨時集計の削除

【手順1～3】は、左の「定時集計の削除」と同じです。

4 **矢印**を押して、【4-2-3 テイジ / リンジ シュウケイ】を選び、**セット**を押します。

・削除確認画面が表示されます。

4-2-3 テイジ / リンジ シュウケイ

セットを押します。

・削除が完了すると、削除完了画面が表示された後に、集計データ出力項目選択画面が表示されます。

シュウケイ クリア シマス [セット]

[シュウケイ]
シュウケイ クリア カンリョウ

4-2-3 テイジ / リンジ シュウケイ

5 **終了**を、必要回数押して待機画面に戻します。

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

2016/ 6/20 MON 13:38

メンテナンス

本装置の動作ログを USBメモリに書き出したり、本装置の各種バージョンが確認できます。また本装置の設定内容を工場出荷時の状態に初期設定することができます。

1. 動作ログの出力

1 USBメモリを、USBコネクタに接続します。

2 待機画面のとき、**設定**を押します。

・メニュー画面が表示されます。

2016/ 6/20 MON
13:37

●基本モードの場合

1 ソフトウェア チャネル キリカエ
2 メッセージ

●外部音源モードの場合

1 ----
2 メッセージ

3 **矢印**を押して、**【6 メンテナンス】**を選び、**セッ**を押します。

・メンテナンスメニュー画面が表示されます。

5 ショキ セッテイ
6 メンテナンス

6-1 トウサ ログ
6-2 バージョン

4 **セッ**を押します。

・出力確認開始画面が表示されます。

6-1 トウサ ログ
6-2 バージョン

セッを押します。

・USBメモリ確認画面が表示されます。
・確認が完了すると出力中画面が表示されます。
・出力が完了すると、出力完了画面が表示された後に、メンテナンスメニュー画面が表示されます。

トウサ ログ シュツリョク シマス
[セッ]

[TS=>USBメモリ テンソウ]
USBメモリ カクニン チュウ

[トウサ ログ]
TS=>USBメモリ テンソウ チュウ

[トウサ ログ]
TS=>USBメモリ テンソウ カンリョウ

6-1 トウサ ログ
6-2 バージョン

5 **終了**を、必要回数押して待機画面に戻します。

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

2016/ 6/20 MON
13:38

2. バージョンの表示

1 待機画面のとき、**設定**を押します。

・メニュー画面が表示されます。

2016/ 6/20 MON
13:37

●基本モードの場合

1 ソフトウェア チャネル キリカエ
2 メッセージ

●外部音源モードの場合

1 ----
2 メッセージ

2 **矢印**を押して、**【6 メンテナンス】**を選び、**セッ**を押します。

・メンテナンスメニュー画面が表示されます。

5 ショキ セッテイ
6 メンテナンス

6-1 トウサ ログ
6-2 バージョン

3 **矢印**を押して、**【6-2 バージョン】**を選び、**セッ**を押します。

・**矢印**を押すと、本装置の各種バージョンが表示されます。

S : 「Linux OS バージョン」
A : 「アプリケーションバージョン」
M : 「監視 Module バージョン」
L : 「LINE プログラムバージョン」

・**終了**を押すと、メンテナンスメニュー画面になります。

6-1 トウサ ログ
6-2 バージョン

S : 1000 A : 1011
M : 1100

L1 : 1000 L2 : 1000
L3 : 1000 L4 : ****

L5 : **** L6 : ****
L7 : **** L8 : ****

※ラインボードが3枚実装されている例

6-1 トウサ ログ
6-2 バージョン

4 **終了**を、必要回数押して待機画面に戻します。

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

2016/ 6/20 MON
13:38

ワンポイント

- USBメモリに出力された動作ログは、テキストエディタなどでは確認できません。
- 動作ログの内容は入力ソフトから確認できます。詳細は「第2章 データ編 ログビューア」(122ページ)を参照してください。

3. 本装置の初期化

- 1 待機画面のとき、**設定** を押しま
す。

・メニュー画面が表示されます。

2016/ 6/20 MON
13:37

▼

● 基本モードの場合

Ⅲ ソリューション チャネル キリカエ
2 メッセージ ▼

● 外部音源モードの場合

1 ----
2 メッセージ ▼

- 2 **矢印** を押して、【6 メンテナンス】を選
び、**セット** を押します。

・メンテナンスメニュー画面が表示され
ます。

5 ショキ セットイ ▲
6 メンテナンス ▼

▼

6-1 ドウサ ログ
6-2 バージョン ▼

- 3 **矢印** を押して、【6-3 ショカ】を
選び、**セット** を押します。

・初期化確認画面が表示されます。
・**終了** を押すと、メンテナンスメニュー
画面になります。

セット を押します。

・初期化中画面が表示されます。
・初期化が完了すると、初期化完了画面
が表示された後に、システムを再起動
します。
・システムの再起動後に待機画面が表示
されます。

6-3 ショカ ▲

▼

ショカ シマス [セット]

▼

[システム]
ショカ チュウ

▼

[システム]
ショカ カンリョウ

▼

システム リサイクドゥ シティマス

▼

2016/ 6/20 MON
13:38 ▼

応答にセットする

応答にセットすると、登録されたスケジュールに従って、応答します。
動作モードには、基本モードと外部音源モードがあります。製品購入時は基本モードとなっています。
また本装置からは動作モードの変更はできません。動作モードを変更する場合は、「第2章 データ編 新しくデータを作成する 1. 初期設定（装置情報）」（57 ページ）を参照してください。
運用方法には、マニュアル運用とタイマー運用があります。登録したスケジュールに従って対応したメッセージで応答する場合は、タイマー運用でご利用ください。

1. 応答のセットと解除

■ 応答のセット

1 待機画面のとき、**応答** を押し
ます。

2016/ 6/20 MON
13:37

↓

● 基本モードの場合

オクト セット シマ
ス <キホン モード> **[セット]**

● 外部音源モードの場合

オクト セット シマ
ス <ガイ オンゲン モード> **[セット]**

・ 設定確認画面が表示されます。

2 **セット** を押し
ます。

2016/ 6/20 MON
13:38

↓

● 基本モードの場合

オクト セット シマ
ス <キホン モード> **[セット]**

● 外部音源モードの場合

オクト セット シマ
ス <ガイ オンゲン モード> **[セット]**

・ 待機画面に戻ります。

・ 応答ランプが点灯または点滅します。

ワンポイント

- 必要な録音がない、または、送出チャンネルの登録がないときは、「ピッ・ピッ・・・」という音が聞こえ、アラームを表示し、応答にセットできません。
- 応答ランプが：
 - ・ 点灯しているときは、回線へ応答します。（タイマー運用で応答停止のグループは、応答しません）
 - ・ 点滅しているときは、タイマー運用ですべてのグループが応答停止の時間帯になっています。
- 応答セット中は、【IP アドレス・サブ ネット マスク・ゲートウェイ・ポート番号】の変更はできません。

STOP お願い

- トーキ音源回線に接続するとき：
アフターサービスの場合をのぞいて本装置からの音声を止めないようにしてください。タイマースケジュールや前面の **応答** ボタンの操作などで、本装置が応答できない状態を作らないようにご注意ください。
音声が終わると N T T の設備が警報状態になります。

■ 応答の解除

1 待機画面のとき、**応答** を押し
ます。

2016/ 6/20 MON
13:37

↓

● 基本モードの場合

オクト カイジ ョ シマ
ス <キホン モード> **[セット]**

● 外部音源モードの場合

オクト カイジ ョ シマ
ス <ガイ オンゲン モード> **[セット]**

・ 設定確認画面が表示されます。

2 **セット** を押し
ます。

2016/ 6/20 MON
13:38

↓

● 基本モードの場合

オクト カイジ ョ シマ
ス <キホン モード> **[セット]**

● 外部音源モードの場合

オクト カイジ ョ シマ
ス <ガイ オンゲン モード> **[セット]**

・ 待機画面に戻ります。

・ 応答ランプが消灯します。ただし、着信中の回線があるときは、点滅します。

・ タイマー運用のときは、タイマーランプが点滅になります。

・ 新規着信は中止し、応答中の回線があるときは、相手切断の設定「設定画面（初期設定）③」（100 ページ）に従って回線を開放します。

ランプ表示と装置状態・着信応答の動作一覧は次のとおりです。

応答 ランプ	タイマー ランプ	装置の状態	着信 応答 ※
消灯	消灯	マニュアル運用での待機状態です。	×
点灯	消灯	マニュアル運用の状態です。	○
点滅	消灯	マニュアル運用を解除したとき、まだ応答している回線がある状態です。すべての回線が開放すると待機状態になります。	△
消灯	点滅	タイマー運用での待機状態です。	×
点灯	点灯	タイマー運用で、応答時間帯の状態です。	○
点滅	点灯	タイマー運用で、応答停止時間帯の状態です。	×
点滅	点滅	タイマー運用を解除したとき、まだ応答している回線がある状態です。すべての回線が開放すると待機状態になります。	△

※ 着信応答の動作

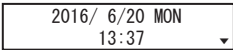
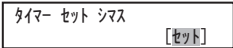
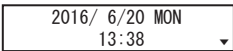
- ：着信に応答します。
- △：新規の着信には応答しません。
- ×：着信に応答しません。

40

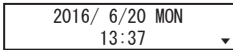
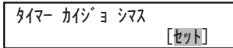
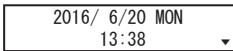
2. 運用方法の切替

タイマーランプが、消灯しているときはマニュアル運用、点灯または点滅しているときはタイマー運用になっています。

■ マニュアル運用からタイマー運用へ切替

- 1 待機画面または応答セット中に、 **タイマー** を押します。
 ・設定確認画面が表示されます。

- 2 **セット** を押します。

 - ・待機画面に戻ります。
 - ・応答ランプがセットされている場合はタイマーランプが点灯します。
 - ・応答ランプがセットされていない場合はタイマーランプが点滅します。

■ タイマー運用からマニュアル運用へ切替

- 1 待機画面または応答セット中に、 **タイマー** を押します。
 ・設定確認画面が表示されます。

- 2 **セット** を押します。

 - ・待機画面に戻ります。
 - ・タイマーランプが消灯します。

ワンポイント

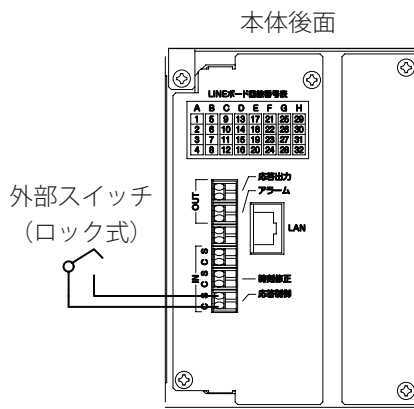
- 応答解除中のときは：
 タイマーランプが点滅し、タイマー運用で自動応答を行います。応答ランプは、消灯のままで、タイマー設定時間がきても回線に応答しません。
 応答にセットすると、タイマー運用で動作します。
- 応答セット中のときは：
 タイマーランプが点灯し、マニュアル運用からタイマー運用に切り替わって自動応答を行います。
 応答ランプは、タイマーの応答時間帯は点灯、応答待機の時間帯は点滅します。
- 手順1で **終了** を押したときは、タイマー運用にセットされません。

ワンポイント

- タイマー運用からマニュアル運用に切り替えると、タイマーランプが消灯し、マニュアル運用で自動応答を行います。応答ランプは、点灯になります。
- 手順1で **終了** を押したときは、タイマー運用は解除されません。

3. 外部から応答のセットと解除

本装置後面の応答制御端子へ接続したスイッチ（ロック式）から応答のセット／解除ができます。



■ セットのしかた

外部スイッチを「ON」にします。

- ・あらかじめセットしてある運用方法で、応答にセットされます。

■ 応答を解除するには

外部スイッチを「OFF」にします。

- ・応答が解除になります。

ワンポイント

- 外部スイッチで応答にセットしたあと、本装置側で応答解除の操作をすると、解除されます。再度、外部スイッチで応答にセットするには、一度、「OFF」にしてから「ON」にします。
- 本装置側で応答にセットしたあと、外部スイッチで応答を解除するには、外部スイッチを、一度、「ON」にしてから「OFF」にします。

繰上げ応答ができます

タイマー運用で応答セットしたときは、繰上げ応答ができます。

※ グループ登録ありの場合、本体装置から繰上げ応答すると、すべてのグループが繰上げ対象になります。任意のグループだけを繰上げ応答にする場合は、制御用パソコンの入力ソフトを使用してください。詳細は 119 ページを参照してください。

繰上げ応答とは、例えば、午後 5 時から応答になるように登録されているとき、午後 3 時に「繰上げ応答」の操作をすると、その時点から午後 5 時の内容で応答を開始します。

会社などで業務終了案内でお使いのとき、臨時休業などで早めに応答させたいときにお使いになれます。

■ セットのしかた

応答ランプが点滅、タイマーランプが点灯していることを確認してください。

（タイマー運用で応答セット（応答停止時間帯）の状態）

1. **応答** を、約 3 秒間押します。
2. 「ピッ・ピッ・ピー」という音が聞こえ、次の応答セットの登録内容で応答になります。
 - ・ 応答にセットされると、応答ランプは点滅から点灯に変わります。
 - ・ 繰上げ対象の登録がないときは、【クリア ステータス】のアラームが表示されます。
 - ・ 繰上げ応答は、当日のみ有効で、翌日はタイマー登録に従って応答します。

即時切断ができます

応答のセット中に、強制的に回線が開放できます。（メッセージ送出中の場合は、回線が強制切断されます）送出中のメッセージが長時間の場合でも、送出の完了を待たずに、メッセージを終了させることができ、メッセージを変更したいときに、すぐに変更できます。

■ 即時切断のしかた

応答ランプが点灯していることを確認してください。

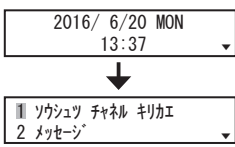
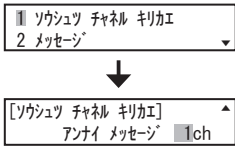
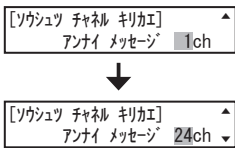
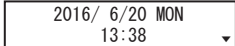
（応答セットの状態）

1. 待機画面のとき、**設定** を押します。
2. **矢印** を押して、【6 メンテナンス】を選びます。
 - ・ メニュー画面のメニュー番号が点滅します。
3. **応答** を 3 秒以上押し続けます。
 - ・ 即時切断確認画面が表示されます。
4. **セット** を押します。
 - ・ 応答が解除されます。
 - ・ 「ピー」という音が鳴り、以下の完了メッセージ出力後に待機画面が表示されます。

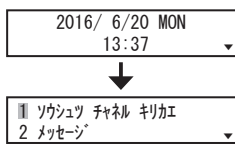
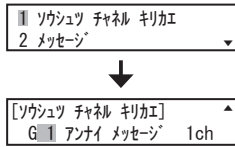
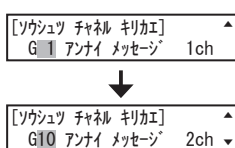
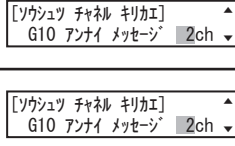
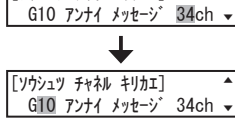
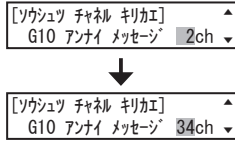
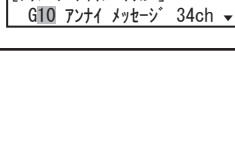
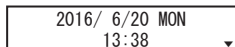
送出チャネルの切替

基本モードでお使いのとき、グループごとに、送出するチャネルを変更することができます。外部音源モードでお使いのときは、この機能はありません。

■ グループ使用なしの場合

- 1 待機画面のとき、**設定** を押し
ます。
・メニュー画面が表示されます。

- 2 **セット** を押し
ます。
・チャネル選択画面が表示されます。

- 3 **矢印** を押し、送出チャネルを
選択して、**セット** を押し
ます。
・メニュー画面が表示されます。

- 4 **終了** を押し待機画面に戻し
ます。


■ グループ使用ありの場合

- 1 待機画面のとき、**設定** を押し
ます。
・メニュー画面が表示されます。

- 2 **セット** を押し
ます。
・チャネル選択画面が表示されます。

- 3 **矢印** を押し、グループ番号を
選択して、**セット** を押し
ます。



- 4 **矢印** を押し、送出チャネルを
選択して、**セット** を押し
ます。


- 5 複数のグループ番号の送出チャ
ネルを変更する場合は、手順3、
4を繰り返します。
- 6 **終了** を押し待機画面に戻し
ます。


ワンポイント

- 切り替えたチャネルは、次の着信または次の繰り返しから送出されます。
- 本体で送出チャネルを切り替えた後に、入力ソフトで作成された設定データを上書きした場合、設定データの送出チャネルに上書きされます。
- ネットワーク経由で入力ソフトから送出チャネルを切り替えることができます。詳細は 120 ページを参照してください。

状態確認

本装置に登録されているスケジュールや、回線状態が確認できます。また本装置への着信件数の確認や着信件数をクリアすることができます。

1. スケジュールの確認

■ 基本モードの場合

- 待機画面のとき、**矢印**を押します。

2016/ 6/20 MON 13:37

・メニュー画面が表示されます。

1 スケジュール
2 チャクシン ケンスウ
- セット**を押します。

1 スケジュール
2 チャクシン ケンスウ

・グループ登録がある場合は、**矢印**を押すとグループごとのスケジュールが確認できます。

【グループ登録：あり】
(例) G1,G2 : 登録あり
G3 ~ G10 : 登録なし

スケジュール
G 1: 6/20 13:00 10ch

※ スケジュール予定

スケジュール
G 2: オウドウ キカン チュウ 7ch

※ スケジュール設定期間中

G 3: スケジュール

⋮

G10: スケジュール

※ スケジュールなし

【グループ登録：なし】

スケジュール
6/20 13:00 10ch

※ スケジュール予定
- 終了**を、必要回数押して待機画面に戻します。

2016/ 6/20 MON 13:38

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

■ 外部音源モードの場合

【手順1】は、「基本モードの場合」と同じです。

- セット**を押します。

1 スケジュール
2 チャクシン ケンスウ

・応答中でスケジュール期間外の場合は、繰上げ応答中になります。

スケジュール
6/20 13:00

※ 応答中（期間外）

スケジュール
オウドウ キカン チュウ

※ 応答中（期間中）

スケジュール

※ 応答解除中
- 終了**を、必要回数押して待機画面に戻します。

2016/ 6/20 MON 13:38

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

2. 着信件数の確認

- 待機画面のとき、**矢印**を押します。

2016/ 6/20 MON 13:37

・メニュー画面が表示されます。

1 スケジュール
2 チャクシン ケンスウ
- 矢印**を押して、【2 チャクシン ケンスウ】を選び、**セット**を押します。

1 スケジュール
2 チャクシン ケンスウ

・基本モードでグループ登録で運用中の場合は、**矢印**を押すとグループごとの着信件数が確認できます。

【ルイケイ】 ソウチャクシン ケンスウ 25723

【基本モード：グループ登録あり】

【ルイケイ】 ソウチャクシン ケンスウ 25723

グループ チャクシン ケンスウ G 1: 10329

⋮

グループ チャクシン ケンスウ G10: 758
- 終了**を、必要回数押して待機画面に戻します。

2016/ 6/20 MON 13:38

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

- グループ着信件数で表示できる最大件数は、99999件です。最大件数を越えた場合でも、集計データはカウントし続けます。
- 総着信件数で表示できる最大件数は、999999件です。最大件数を越えた場合でも、集計データはカウントし続けます。
- 表示される着信件数は、最大件数に到達する前に定期的にクリアすることをお勧めします。詳細は「4. 着信件数のクリア」（次ページ）を参照してください。

3. 回線状態の確認

- 待機画面のとき、**矢印** を押しま
す。
・メニュー画面が表示されます。

2016/ 6/20 MON
13:37 ▼

スケジュール ▲

2 チャクシ ンスウ ▼
- 矢印** を押して、【3 カイセン ジョウタイ】
を選び、**セット** を押します。
・応答中の回線は、番号が点滅します。

3 カイセン ジョウタイ ▲

4 チャクシ ンスウ クリア ▼

↓

[カイセン ジョウタイ]

1 2 3 4 ▼

↓

[カイセン ジョウタイ]

5 6 -- -- ▼

↓

[カイセン ジョウタイ]

-- -- 27 28 ▼

↓

[カイセン ジョウタイ]

** ** * * ▼

< 表示例 >
 ** : 未実装
 -- : 回線使用しない
- 終了** を、必要回数押して待機
画面に戻します。
・1回押すごとに、前画面に戻ります。

2016/ 6/20 MON
13:38 ▼

4. 着信件数のクリア

- 待機画面のとき、**矢印** を押しま
す。
・メニュー画面が表示されます。

2016/ 6/20 MON
13:37 ▼

スケジュール ▲

2 チャクシ ンスウ ▼
- 矢印** を押して、【4 チャクシ ンスウ ク
リア】を選び、**セット** を押します。
・件数クリア確認画面が表示されます。

3 カイセン ジョウタイ ▲

4 チャクシ ンスウ クリア ▼

↓

チャクシ ンスウ クリア シマス

[セット]

↓

[モニター]

チャクシ ンスウ クリア カンリョウ ▼

↓

3 カイセン ジョウタイ ▲

4 チャクシ ンスウ クリア ▼
- 終了** を、必要回数押して待機
画面に戻します。
・1回押すごとに、前画面に戻ります。

2016/ 6/20 MON
13:38 ▼



ワンポイント

- 着信件数をクリアしても収集された集計データは消去されません。

第2章 データ編

データを登録する前に

あらかじめ録音したメッセージデータや本体装置の初期設定は、お手持ちのパソコンで行います。お手持ちのパソコンの動作環境や、録音メッセージデータ作成の流れを理解したうえでデータ作成を行ってください。

1. 入カソフトのインストール

■ パソコンの推奨仕様

お手持ちのパソコンが次の仕様に合っているかお確かめください。動作環境が違くと、正常にデータ作成ができない場合があります。

OS 日本語版対応 ※1	Microsoft Windows 11/10
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨する環境以上
ハードディスク	1GB以上の空き容量
ソフトウェア	Microsoft Excel 2021/2019/2016 ※2、※3
サウンド	Waveファイルが再生できること
ディスプレイ	1024×768以上 High Color(16bit)以上推奨
USB	USB 2.0/1.1 ※4
ネットワーク (LAN)	通信プロトコル : TCP/IP インターフェース : 10BASE-T、100BASE-TX
DVDドライブ	インストール用

● 商品名は各社の商標または登録商標です。

※1 : Windows 11/10 の S モードおよび ARM 版 Windows 11/10 は対象外となります。

※2 : 「着信データの集計／確認」に使用します。またファイル形式は「.xlsx」に対応しています。(「.xls」のファイル形式は保証しません)

※3 : デスクトップアプリ版にのみ対応しています。

※4 : 市販の USB メモリをご使用になる場合は、セキュリティ機能がない USB メモリをご使用ください。

■ インストールのしかた

お手持ちのパソコンへ、添付のDVDから入力ソフトをインストールします。他のソフトをすべて終了してからインストールを行ってください。また、インストールする際は、必ず管理者権限のある（Administrators グループに所属している）ユーザーが行ってください。

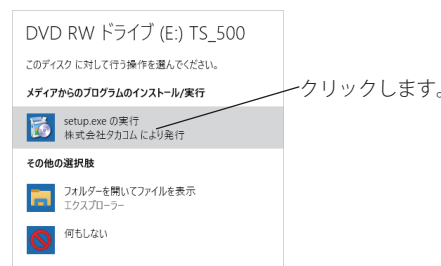
（Windows 10 の操作例）

1

- ① 他のソフトをすべて終了します。
- ② インストール用 DVD をパソコンの DVD ドライブにセットします。
 - ・操作確認画面が表示されます。
- ③ 操作確認画面をクリックします。
 - ・自動再生画面が表示されます。
- ④ [Setup.exe の実行] をクリックします。
 - ・ユーザーアカウント制御画面が表示されます。



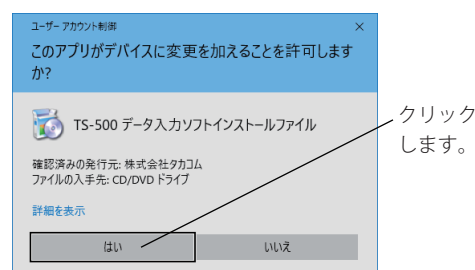
をクリックします。



をクリックします。

2

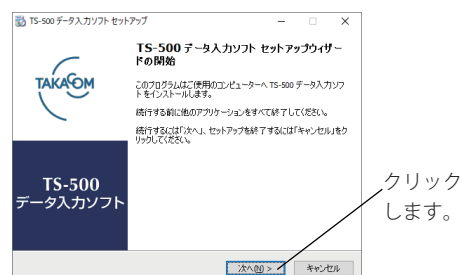
- ① [はい] をクリックします。
 - ※ Microsoft .NET Framework 4.0 以上がインストールされていない環境の場合、Microsoft .NET Framework のインストールがはじまります。画面に従ってインストールしてください。Microsoft .NET Framework 4.0 以上がインストールされている場合は、インストールされません。
 - ・TS-500 データ入力ソフトセットアップ画面が表示されます。



をクリックします。

3

- ① [次へ] ボタンをクリックします。
 - ・使用許諾契約書の同意の画面になります。

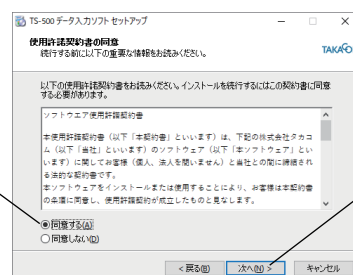


をクリックします。

4

- ① 「使用許諾契約書」をお読みいただき、ご同意いただける場合は「同意する」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。
 - ・インストール先の指定画面になります。

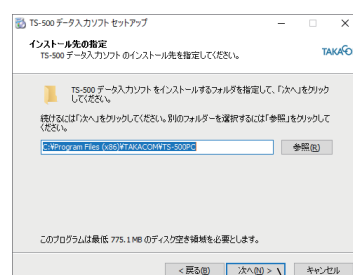
チェックを付けます。



をクリックします。

5

- ① インストール先の指定画面で、そのままよければ「次へ」ボタンをクリックします。変更が必要であれば、[参照] ボタンをクリックしてインストール先を指定し、「次へ」ボタンをクリックします。
 - ・追加タスクの選択画面になります。



をクリックします。

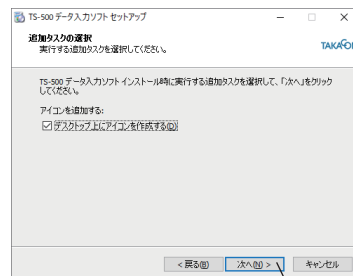
ワンポイント

- インストールするフォルダは、必ずフルコントロール（読み書き、削除等）ができるフォルダにしてください。

データを登録する前に

6

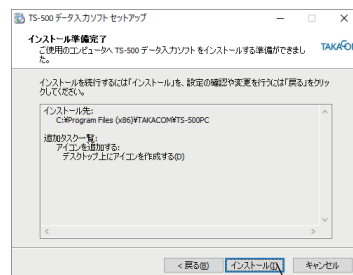
- ① デスクトップにアイコンを作成する場合はチェックをして、[次へ] ボタンをクリックします。
 - ・インストール準備完了画面になります。



クリックします。

7

- ① 内容を確認して、[インストール] ボタンをクリックします。
 - ・インストールが始まります。
 - ・インストールが終了するとセットアップウィザード完了の画面が表示されます。



クリックします。

8

- ① 本ソフトをすぐに実行する場合は、「TS-500 データ入力ソフトを実行する」にチェックを付けます。
- ② [完了] ボタンをクリックします。

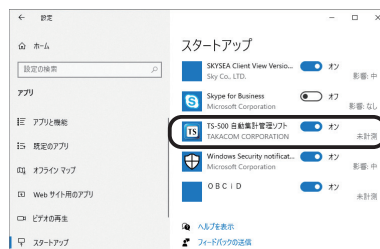


クリックします。

ワンポイント

- 自動再生画面が開かないときは次のようにして TS-500 データ入力ソフトセットアップ画面を表示します。(Windows 10 の操作例)
 - (1) デスクトップ画面において、スタートボタンを右クリックして表示されるメニュー画面から「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
 - (2) 「名前」欄に、キーボードから「《DVD ドライブ名》: ¥ Setup.exe」と入力して [OK] ボタンをクリックします。

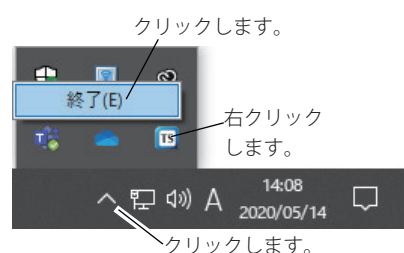
- 本ソフトをインストール後にパソコンを再起動すると、スタートアップに「TS-500 自動集計管理ソフト (TS-500PC-MAG)」(以下「自動集計管理ソフト」と記します) が登録されます。このソフトは本体装置でカウントした着信件数を、着信応答データとしてネットワーク経由で自動収集するために必要な管理ソフトです。



■ アンインストールのしかた

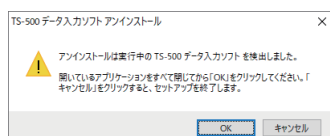
本ソフトを削除したいときは、次の操作をします。

- ① 本ソフトを終了します。
- ② タスクバーの「H」をクリックして、自動集計管理ソフトを右クリックします。
※ 自動集計管理ソフトが起動されていない場合は、手順④以降を実施してください。
- ③ 操作メニューの「終了」をクリックします。
- ④ デスクトップ画面におけるタスクバーから、[con] と入力して検索される「コントロールパネル」をクリックします。
- ⑤ 【表示方法：カテゴリーの場合】
「プログラムのアンインストール」を開きます。
【表示方法：大きいアイコン／小さいアイコンの場合】
「プログラムと機能」を開きます。
- ⑥ 「TS-500 データ入力ソフト」を選んでアンインストールします。



ワンポイント

- 本ソフトのアンインストールは、必ず管理者権限のある（Administrators グループに所属している）ユーザーが行ってください。
- アンインストールの手順②～③を実施しないで、本ソフトをアンインストールすると、以下のエラーメッセージが表示されます。



自動集計管理ソフトを終了してからアンインストールしてください。

- 本ソフトをアンインストールしても、設定データは削除されません。

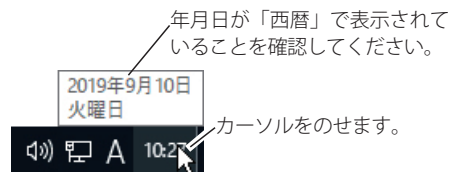
2. 日付・時刻の確認

ご使用のパソコンの年月日・時刻の形式で、カレンダーの種類が「西暦」であることを確認してください。
(Windows 10 の操作例)

- ① タスクバーの時刻にカーソルをのせます。
 - ・年月日が表示されます。

STOP お願い

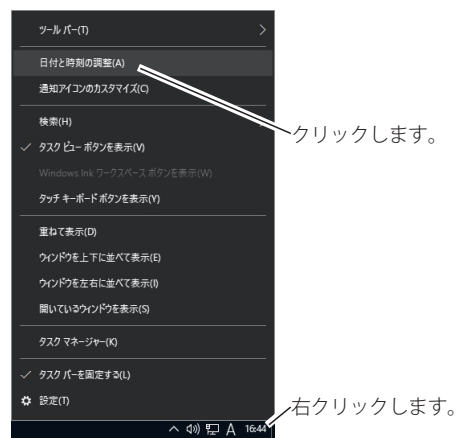
- カレンダーの種類を「和暦」にしないでください。スケジュールに従ったメッセージの応答機能やパスワードを使用したセキュリティ機能が正常に動作しません。



● 年月日が「和暦」で表示されている場合

カレンダーの種類が「和暦」で表示されている場合は、以下の手順で「西暦」に変更してください。
(Windows 10 の操作例)

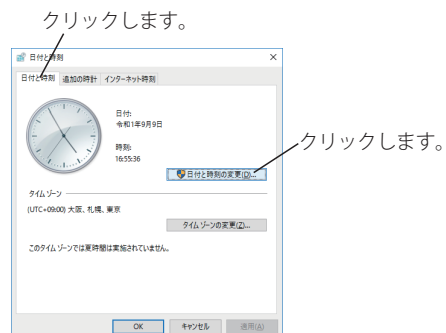
- ① タスクバーの時刻を右クリックして表示される右クリックメニューで、「日付と時刻の調整」をクリックします。
 - ・設定画面が表示されます。



- ② [別のタイムゾーンの時計を追加する] をクリックします。
 - ・日付と時刻画面が表示されます。

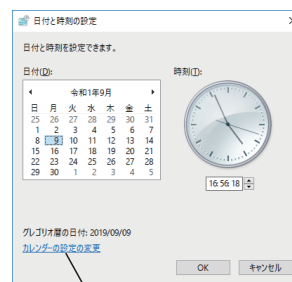


- ③ [日付と時刻] タブをクリックして[日付と時刻の変更] ボタンをクリックします。
 - ・日付と時刻の設定画面が表示されます。



④ [カレンダーの設定の変更] をクリックします。

- ・地域画面が表示されます。



クリックします。

⑤ [追加の設定] ボタンをクリックします。

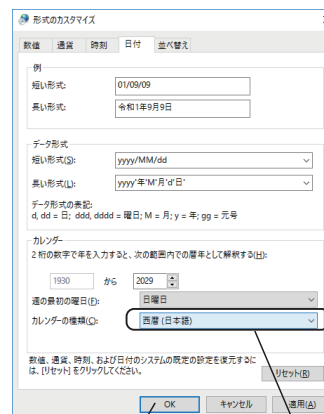
- ・形式のカスタマイズ画面が表示されます。



クリック
します。

⑥ [日付] タブをクリックして、「カレンダーの種類」を“西暦(日本語)”で選択して、[OK] ボタンをクリックします。

⑦ 各種の画面で [OK] ボタンをクリックします。



クリック
します。

“西暦(日本語)”を
選択します。

入カソフトを起動／終了する

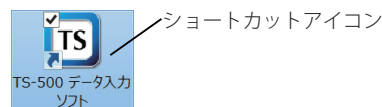
「TS-500 データ入力ソフト」を起動すると、初期画面が表示されます。

1. 起動のしかた

■ デスクトップ画面にショートカットアイコンがある場合

① ショートカットアイコンをダブルクリックします。

・初期画面が表示されます。



■ デスクトップ画面にショートカットアイコンがない場合

(Windows 10 の操作例)

① タスクバーのキーワード入力欄に「TS-500」を入力して検索された「TS-500 データ入力ソフト」をクリックします。

・初期画面が表示されます。



■ 初期画面の操作

(Windows 10 の画面例)

① 新規にデータを作成する場合は、[新規作成] ボタンをクリックして、画面の指示に従って処理を進めます。

・各種の設定画面が表示されます。

② 既に作成しているデータを読み込む場合は、読込選択ボタンをクリックして、処理を進めます。

・メイン画面が表示されます。

【初期画面】



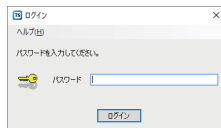
[新規作成] ボタン

[読込選択] ボタン

[終了] ボタン

ワンポイント

- パスワードを設定している場合は、初期画面が表示される前に、パスワード入力画面が表示されます。



パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックすると、初期画面やメイン画面が表示されます。

- 初期画面やメイン画面では、パスワード設定で使用を許可された項目の作業ボタンのみが使用できます。



※ メイン画面の例

2. 終了のしかた

- ① 「TS-500 データ入カソフト」を終わるときは、「終了」ボタンをクリックします。

【メイン画面】



[終了]
ボタン

新しくデータを作成する

■ データ作成の流れ

新規にデータを作成する場合、運用モードにより作成するデータが異なります。運用方法を確認して手順を進めてください。

【マニュアル運用】

初期設定（装置情報） ⇒ 初期設定（詳細情報） ⇒ 回線設定 ⇒ メッセージ編集

【タイマー運用】

初期設定（装置情報） ⇒ 初期設定（詳細情報） ⇒ 回線設定 ⇒ スケジュール設定 ⇒ メッセージ編集

■ 作成手順

本ソフトをはじめて起動した場合や、メイン画面から[新規/データ読込]ボタンをクリックした場合は、初期画面が表示されます。



① 初期画面の[新規作成]ボタンをクリックします。

・初期設定画面（装置情報）が表示されます。

② 以降は画面に従って処理を進めてください。

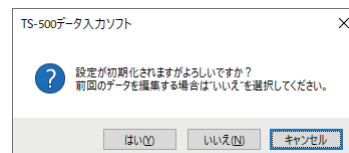
③ 処理を終了する場合は[終了]ボタンをクリックします。

・本ソフトが終了します。

※ データを作成せずに本ソフトを終了すると、次回の本ソフト起動時は各種のデータが工場出荷時の初期値で作成されて、メイン画面が表示されます。

👉 ワンポイント

● [新規作成]ボタンをクリックした場合、以下の確認画面が表示される場合があります。



新規にデータを作成する場合は、[はい]ボタンをクリックしてください。但し、以下のデータは以前に設定してある内容が引き継がれます。

・セキュリティ設定 ・文章一覧 ・辞書
・祝日の編集（初期値として登録した場合）

メイン画面に戻る場合は、[いいえ]ボタンをクリックしてください。

1. 初期設定（装置情報）

本体装置の装置情報や動作モードなどを設定します。

【初期設定画面（装置情報）】

The screenshot shows the 'Initial Setup' window for a device. It contains the following fields and buttons:

- 1** points to the '装置名' (Device Name) field, which contains 'TS-500'.
- 2** points to the 'データ名' (Data Name) field, which contains '本社データ'.
- 3** points to the '接続先 IPアドレス' (Connection IP Address) field, which contains '192.168.14.66'. A green '成功' (Success) button and a blue '[LAN 接続テスト]' (LAN Connection Test) button are next to it.
- 4** points to the 'ポート番号' (Port Number) field, which contains '55100'.
- 5** points to the '動作モード選択' (Operation Mode Selection) section, which has two radio buttons: '基本モード' (Basic Mode) and '外部音源モード' (External Source Mode).
- 6** points to the '運用方法選択' (Operation Method Selection) section, which has two radio buttons: 'タイマー運用' (Timer Operation) and 'マニュアル運用' (Manual Operation).

At the bottom, there are two buttons: '[戻る] ボタン' (Back Button) on the left and '[次へ] ボタン' (Next Button) on the right. A callout for the '[LAN 接続テスト] ボタン' (LAN Connection Test Button) points to the blue button.

Additional text on the right side of the window provides details for the operation modes and methods:

- 【動作モード選択】**
 - 基本モード: ベル音信があると、あらかじめ録音してあるメッセージを、送出します。
 - 外部音源モード: ベル音信があると、接続している外部音源からのメッセージ（実況放送や有線放送など）を送出します。
- 【運用方法選択】**
 - タイマー運用: メッセージチャンネルの切替や、応答動作のセット/停止が自動で行えます。
 - マニュアル運用: メッセージチャンネルの切替や、応答動作のセット/停止を手動で操作します。

- ① 装置名を入力します。最大 10 文字まで登録できます。
※ 装置名は設定データと本体装置の対応を表すもので、本体装置では表示されません。
・初期値：TS-500
- ② データ名を入力します。最大 10 文字まで登録できます。
※ データ名は作成した設定データを区別するもので、本体装置では表示されません。
・初期値：空白
- ③ 接続先の本体装置の IP アドレスを入力します。[LAN 接続テスト] ボタンをクリックして、正しい IP アドレスが入力されているかの判断ができます。
※ 本体装置の IP アドレスは本ソフトからは設定できません。
・初期値：192.168.0.100
- ④ 接続先の本体装置のポート番号を入力します。
※ 本体装置のポート番号は本ソフトからは設定できません。
・初期値：55100、設定範囲：1024 ～ 65535
- ⑤ 動作モードを選択します。
・初期値：基本モード
- ⑥ 運用方法を選択します。
・初期値：マニュアル運用
※ データの作成後でも変更できます。
- ⑦ [次へ] ボタンをクリックします。
・初期設定画面（詳細情報）が表示されます。

ワンポイント

- ①～④については、メイン画面の [PC 設定] ボタンからも設定できます。詳細は「装置情報・セキュリティ」（124 ページ）を参照してください。

2. 初期設定（詳細情報）

本体装置の基本設定や着信件数の集計有無、時刻修正方法、SNMP トラップの出力有無などを設定します。
(画面は「マニュアル運用」の例)

【初期設定画面（詳細情報）】

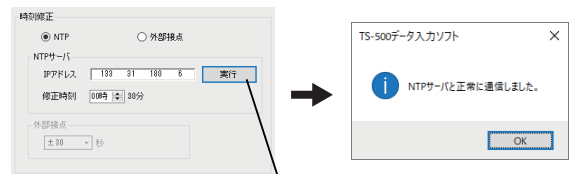
- ① 回線保留時間を入力します。
・初期値：30 分、設定範囲：1 ～ 360 分（1 分刻み）、無制限
- ② 応答解除したときに、メッセージの区切りで回線を開放するかどうかの強制切断の有無を設定します。
※ 外部音源モードの場合は対象外です。
・初期値：しない
- ③ メッセージを最大何回送出するかの送出回数を設定します。
※ 外部音源モードの場合は対象外です。
・初期値：1 回、設定範囲：1 ～ 9 回、無制限
- ④ 挨拶メッセージを使用するかどうかを設定します。
・初期値：使用しない
- ⑤ 本装置への総着信件数や全回線話中時間などの集計データの収集有無を設定します。
・初期値：しない（時集計）／する（日集計・週集計・月集計）
- ⑥ 着信データを上書きする／しないを設定します。
・初期値：する

- ⑦ 本体装置の時刻修正の方法を設定します。
・初期値：外部接点
【外部接点の場合】
修正時刻範囲を設定してください。
・初期値：± 30 秒、設定範囲：± 30 秒、± 10 秒

【NTP の場合】

- 1) IP アドレスを設定してください。
・初期値：空白
- 2) 修正時刻を設定してください。
・初期値：00 時 30 分
・設定範囲：00 時～ 23 時（毎時 30 分固定）

※ NTP の場合、[実行] ボタンをクリックすると、有効な NTP サーバの判断ができます。



【実行】ボタン

ワンポイント

- NTP サーバの有効判断は、本体装置を経由して行います。本体装置とネットワーク接続されているか確認してください。また有効な NTP サーバと判断した場合は、その時点で時刻修正を実施します。

- ⑧ アラーム状態になったときに SNMP トラップ出力の有無が設定できます。トラップ出力する場合、「送信先 IP アドレス」、「トラップポート番号」（初期値：162）、「SNMP コミュニティ名」（初期値：public）を設定してください。
・初期値：しない

- ⑨ [次へ] ボタンをクリックします。
・回線設定画面が表示されます。

ワンポイント

- 本操作をスキップして [次へ] ボタンをクリックした場合は、出荷時の設定でデータが作成されます。初期設定（詳細情報）は初期設定後のメイン画面からでも設定できます。

3. 回線設定

で使用する回線ごとに回線種別などを設定します。また複数の回線をグループ分けすることができ、各グループごとに異なるメッセージが送出できます。グループは最大 10 グループまで設定できます。

【基本モードで複数グループを使用しない場合】

⇒ 「基本モード（グループ登録なし）」（本ページ下部）を参照してください。

【基本モードで複数グループを使用する場合】

⇒ 「基本モード（グループ登録あり）」（60 ページ）を参照してください。

【外部音源モードで運用する場合】

⇒ 「外部音源モード」（62 ページ）を参照してください。

（画面は「マニュアル運用」の例）



ワンポイント

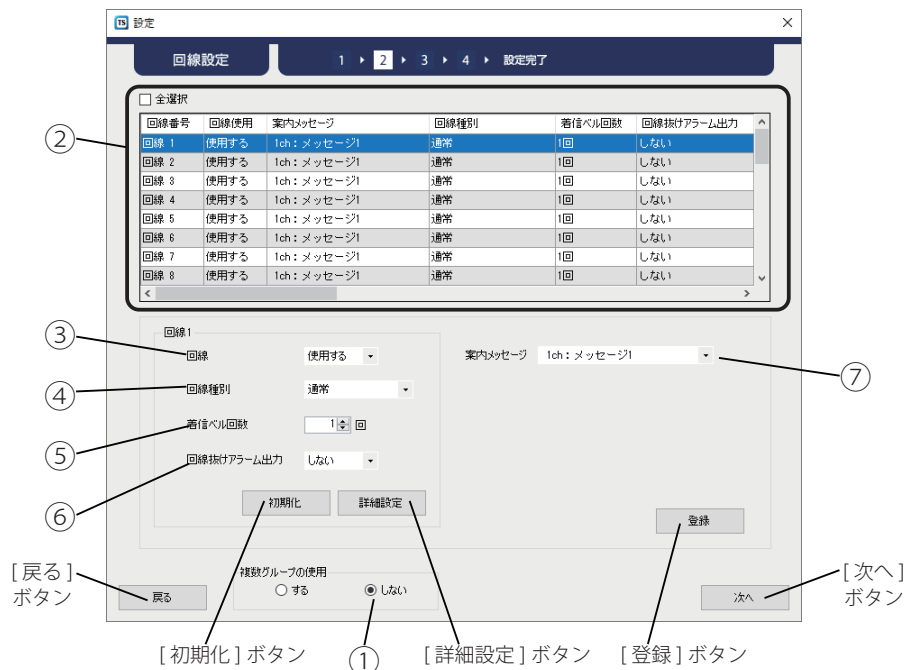
- 本操作をスキップして[次へ]ボタンをクリックした場合は、出荷時の設定でデータが作成されます。回線設定は初期設定後のメイン画面からでも設定できます。

3-1. 基本設定

■ 基本モード（グループ登録なし）

複数グループを使用しない場合の操作手順です。

【設定画面（回線設定：グループ登録なし）】



- ① 複数グループの使用におけるオプションボタンは「しない」を選択します。

- ② 回線リストにおいて、設定対象となる回線を選択します。
 - ・Ctrl キーを押しながら複数の回線を選択することができます。
 - ・対象回線が反転表示になります。
 - ・「全選択」のチェックボックスにチェックがあると、32 回線すべてが反転表示になります。

チェックを付ける

回線番号	回線使用	実内メッセージ	回線種別	着信ベル回数	回線抜けアラーム出力
回線 1	使用する	1ch: メッセージ1	通常	1回	しない
回線 2	使用する	1ch: メッセージ1	通常	1回	しない
回線 3	使用する	1ch: メッセージ1	通常	1回	しない
回線 4	使用する	1ch: メッセージ1	通常	1回	しない
回線 5	使用する	1ch: メッセージ1	通常	1回	しない
回線 6	使用する	1ch: メッセージ1	通常	1回	しない
回線 7	使用する	1ch: メッセージ1	通常	1回	しない
回線 8	使用する	1ch: メッセージ1	通常	1回	しない



ワンポイント

- 回線リストのスクロールバーをスクロールして、詳細設定情報が確認できます。

回線番号	ファイル	録中音源別再生出力方法	録中音判別周波数	録中音検出周波数	リバース検出	録中音検出
回線 1	ファイル	400	400Hz	する	する	する
回線 2	ファイル	400	400Hz	する	する	する
回線 3	ファイル	400	400Hz	する	する	する
回線 4	ファイル	400	400Hz	する	する	する
回線 5	ファイル	400	400Hz	する	する	する
回線 6	ファイル	400	400Hz	する	する	する
回線 7	ファイル	400	400Hz	する	する	する
回線 8	ファイル	400	400Hz	する	する	する

左右にスクロールして、詳細設定情報が確認できます。

- ③ 対象の回線を使用するかどうかを設定します。
 - ・初期値：使用する

新しくデータを作成する

- ④ 対象の回線の種別を設定します。
 - ・初期値：通常
 - ・設定範囲：通常／ナンバーディスプレイ／テレドーム／トーク
- ⑤ 回線に応答する着信ベルの回数を設定します。
 - ・初期値：1回、設定範囲：1～9回
- ⑥ 回線抜けアラーム出力をするかどうかを設定します。
 - ・初期値：しない
- ⑦ マニュアル運用時に回線に送出する案内メッセージを設定します。
 - ・初期値：1ch、設定範囲：1～99ch（基本モード）
- ⑧ [登録] ボタンをクリックします。
※[登録] ボタンをクリックするまで、編集中の内容は登録されません。
- ⑨ 別の回線を設定する場合は、手順②～⑧を繰り返します。

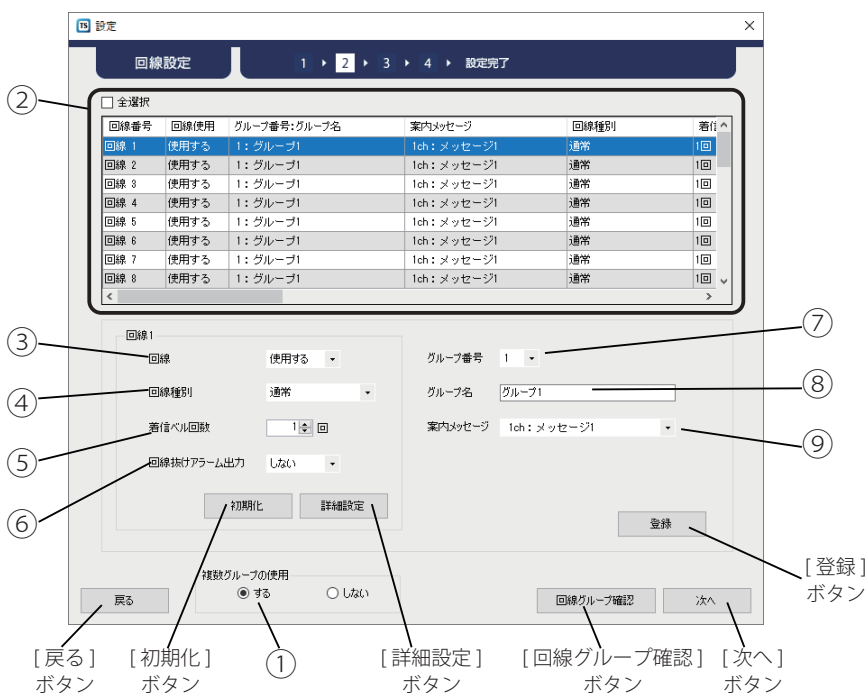
- ⑩ [次へ] ボタンをクリックします。
 - ・マニュアル運用を選択した場合は、メッセージ編集画面が表示されます。70 ページを参照してください。
 - ・タイマー運用を選択した場合は、スケジュール画面が表示されます。64 ページを参照してください。

ワンポイント

- [初期化] ボタンをクリックすると、選択した回線のデータが工場出荷時の設定内容に変更されます。
- [詳細設定] ボタンをクリックすると、詳細設定情報が編集できます。詳細は 63 ページを参照してください。
- 編集中の回線情報を登録する前に、詳細設定情報を登録すると、編集中の回線情報の内容は破棄されます。詳細設定情報を編集する前に、必ず [登録] ボタンをクリックしてください。

■ 基本モード（グループ登録あり）

【設定画面（回線設定：グループ登録あり）】



- ① 複数グループの使用におけるオプションボタンは“する”を選択します。
- ② 回線リストにおいて、設定対象となる回線を選択します。
 - ・Ctrl キーを押しながら複数の回線を選択することができます。
 - ・対象回線が反転表示になります。
 - ・「全選択」のチェックボックスにチェックがあると、32 回線すべてが反転表示になります。

チェックを付ける

回線番号	回線使用	グループ番号:グループ名	案内メッセージ	回線種別	着信
回線 1	使用する	1: グループ1	1ch: メッセージ1	通常	1回
回線 2	使用する	1: グループ1	1ch: メッセージ1	通常	1回
回線 3	使用する	1: グループ1	1ch: メッセージ1	通常	1回
回線 4	使用する	1: グループ1	1ch: メッセージ1	通常	1回
回線 5	使用する	1: グループ1	1ch: メッセージ1	通常	1回
回線 6	使用する	1: グループ1	1ch: メッセージ1	通常	1回
回線 7	使用する	1: グループ1	1ch: メッセージ1	通常	1回
回線 8	使用する	1: グループ1	1ch: メッセージ1	通常	1回

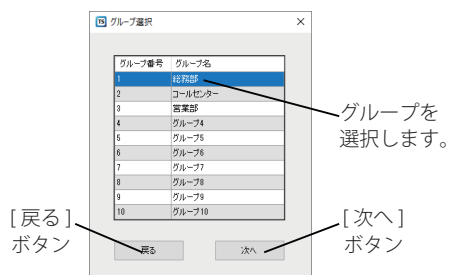
ワンポイント

- 回線リストのスクロールバーをスクロールして、詳細設定情報が確認できます。

回線番号	タイプ	話中最高保持時間	話中最高利用時間	話中最高利用回数	話中最高利用回数	リソース抽出	話中最高抽出
回線 1	1秒間隔	45回	4500回	する	する		
回線 2	1秒間隔	45回	4500回	する	する		
回線 3	1秒間隔	45回	4500回	する	する		
回線 4	1秒間隔	45回	4500回	する	する		
回線 5	1秒間隔	45回	4500回	する	する		
回線 6	1秒間隔	45回	4500回	する	する		
回線 7	1秒間隔	45回	4500回	する	する		
回線 8	1秒間隔	45回	4500回	する	する		

左右にスクロールして、詳細設定情報が確認できます。

- ③ 対象の回線を使用するかどうかを設定します。
 - ・初期値：使用する
- ④ 対象の回線の種別を設定します。
 - ・初期値：通常
 - ・設定範囲：通常／ナンバーディスプレイ／テレドーム／トーク
- ⑤ 回線に応答する着信ベルの回数を設定します。
 - ・初期値：1回、設定範囲：1～9回
- ⑥ 回線抜けアラーム出力をするかどうかを設定します。
 - ・初期値：しない
- ⑦ 対象の回線が所属するグループ番号を設定します。
 - ・初期値：1、設定範囲：1～10
- ⑧ グループ番号に対するグループ名を設定します。
 - ・初期値：グループxx (xx：グループ番号)
- ⑨ マニュアル運用時に回線に送出する案内メッセージを設定します。
 - ・初期値：1ch、設定範囲：1～99ch（基本モード）
- ⑩ [登録] ボタンをクリックします。
※[登録] ボタンをクリックするまで、編集中の内容は登録されません。
- ⑪ 別の回線を設定する場合は、手順②～⑩を繰り返します。
- ⑫ [次へ] ボタンをクリックします。
 - ・マニュアル運用を選択した場合は、メッセージ編集画面が表示されます。70 ページを参照してください。
 - ・タイマー運用を選択した場合は、グループ選択画面が表示されます。手順⑬に進みます。
- ⑬ グループ選択画面において、編集するグループ番号をクリックします。

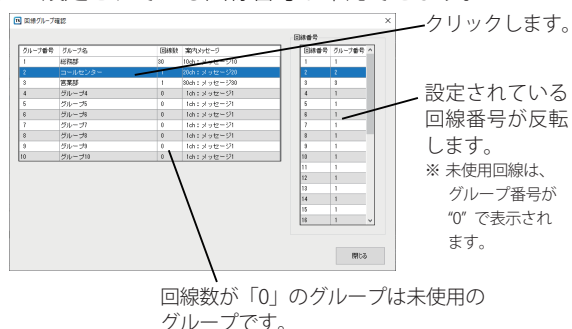


- ・選択グループが反転表示になります。

- ⑭ [次へ] ボタンをクリックします。
 - ・スケジュール画面が表示されます。
 - 64 ページを参照してください。

ワンポイント

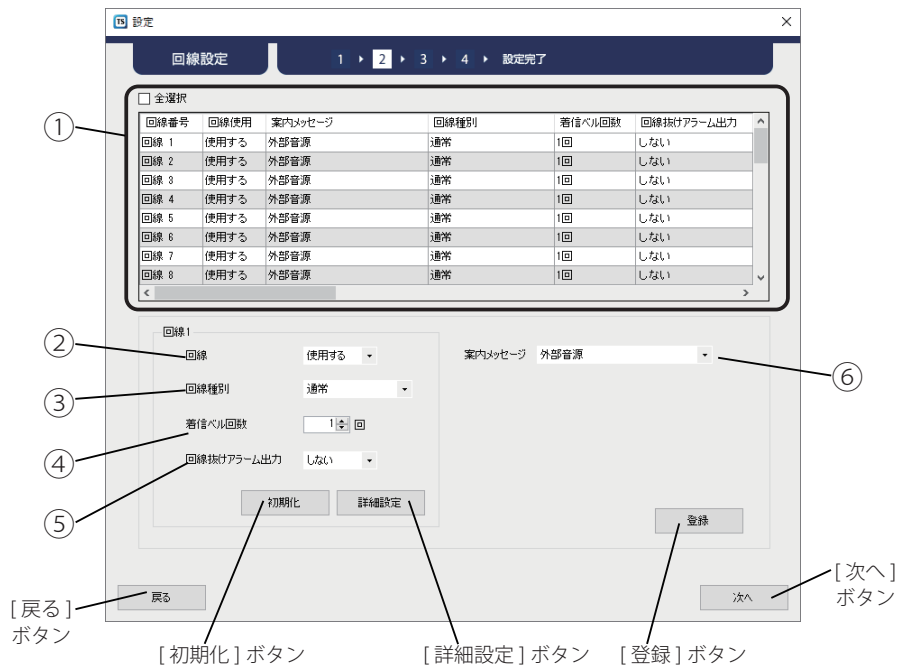
- [回線グループ確認] ボタンをクリックすると、グループに設定されている回線番号が確認できます。



- [初期化] ボタンをクリックすると、選択した回線のデータが工場出荷時の設定内容に変更されます。
- [詳細設定] ボタンをクリックすると、詳細設定情報が編集できます。詳細は 63 ページを参照してください。
- 編集中の回線情報を登録する前に、詳細設定情報を登録すると、編集中の回線情報の内容は破棄されます。詳細設定情報を編集する前に、必ず[登録] ボタンをクリックしてください。

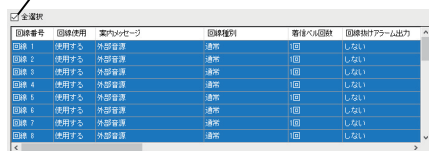
■ 外部音源モード

【設定画面（回線設定）】



- ① 回線リストにおいて、設定対象となる回線を選択します。
- ・Ctrl キーを押しながら複数の回線を選択することができます。
 - ・対象回線が反転表示になります。
 - ・「全選択」のチェックボックスにチェックがあると、32 回線すべてが反転表示になります。

チェックを付ける



- ⑥ 回線に送出する案内メッセージを設定します。
- ・初期値：外部音源（固定）
- ⑦ [登録] ボタンをクリックします。
- ※[登録] ボタンをクリックするまで、編集中的内容は登録されません。
- ⑧ 別の回線を設定する場合は、手順①～⑦を繰り返します。
- ⑨ [次へ] ボタンをクリックします。
- ・マニュアル運用を選択した場合は、メッセージ編集画面が表示されます。70 ページを参照してください。
 - ・タイマー運用を選択した場合は、スケジュール画面が表示されます。64 ページを参照してください。

ワンポイント

- 回線リストのスクロールバーをスクロールして、詳細設定情報が確認できます。

回線番号	ファイル	話中音源特性検出方法	話中音源利用回数	話中音源検出遅延	リバーブ検出	話中音源検出
回線 1	1秒間隔	4dB	400Hz	する	する	する
回線 2	1秒間隔	4dB	400Hz	する	する	する
回線 3	1秒間隔	4dB	400Hz	する	する	する
回線 4	1秒間隔	4dB	400Hz	する	する	する
回線 5	1秒間隔	4dB	400Hz	する	する	する
回線 6	1秒間隔	4dB	400Hz	する	する	する
回線 7	1秒間隔	4dB	400Hz	する	する	する
回線 8	1秒間隔	4dB	400Hz	する	する	する

左右にスクロールして、詳細設定情報が確認できます。

- ② 対象の回線を使用するかどうかを設定します。
- ・初期値：使用する
- ③ 対象の回線の種別を設定します。
- ・初期値：通常
 - ・設定範囲：通常／ナンバーディスプレイ／テレドーム／トーキ
- ④ 回線に応答する着信ベルの回数を設定します。
- ・初期値：1 回、設定範囲：1～9 回
- ⑤ 回線抜けアラーム出力をするかどうかを設定します。
- ・初期値：しない

ワンポイント

- [初期化] ボタンをクリックすると、選択した回線のデータが工場出荷時の設定内容に変更されます。
- [詳細設定] ボタンをクリックすると、詳細設定情報が編集できます。詳細は次ページを参照してください。
- 編集中的回線情報を登録する前に、詳細設定情報を登録すると、編集中的回線情報の内容は破棄されます。詳細設定情報を編集する前に、必ず [登録] ボタンをクリックしてください。

3-2. 詳細設定

回線（1 ～ 32 回線）ごとに、次の項目が設定できます。

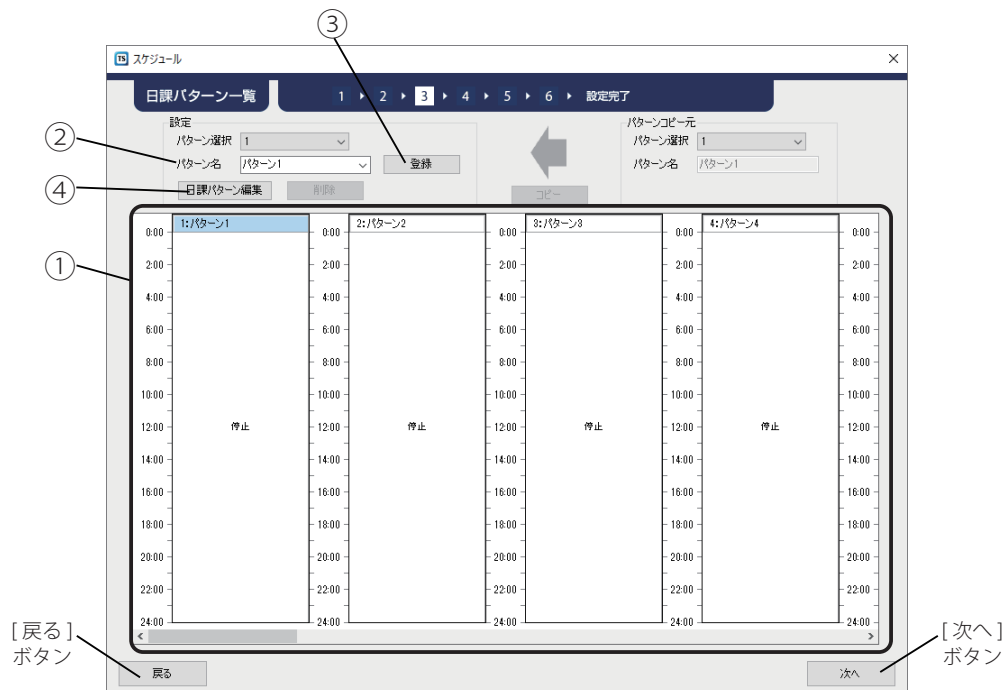
No.	設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
1	ベル検出	ベル ON 時間	・ 100ms ・ 300ms ・ 500ms ・ 700ms	100ms
2		ベル OFF 時間	・ 100ms ・ 300ms ・ 500ms ・ 700ms	700ms
3		ベル無し確定時間	・ 2.5 秒 ・ 3.0 秒 ・ 3.5 秒 ・ 4.0 秒	3.0 秒
4	並列電話機	検出	・ する ・ しない	する
5		検出ディレイ	・ 1 秒 ・ 2 秒 ・ 3 秒	1 秒
6	メッセージ送出ディレイ	本体装置が応答してからメッセージを送出するまでの時間を設定します。	・ 0 秒 ・ 1 秒 ・ 2 秒 ・ 3 秒	1 秒
7	話中音	周期性検出方法	・ 1 秒周期 ・ 周期性	1 秒周期
8		判定回数	・ 2 回 ・ 4 回 ・ 8 回	4 回
9		検出周波数	・ 300 ～ 600Hz (10Hz 刻み)	400Hz
10	相手切斷検出	リバース検出	・ する ・ しない	する
11		話中音検出	・ する ・ しない	する
12	ダイヤル起動防止	ダイヤルパルスによる誤起動防止を設定します。	・ する ・ しない	しない

4. スケジュール編集

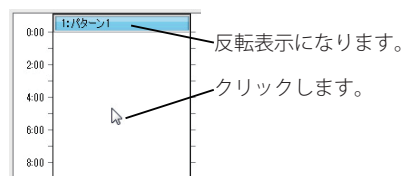
4-1. 日課パターン一覧

タイマー運用時に応答する日課パターンを作成します。日課パターンは最大 20 パターン作成できます。

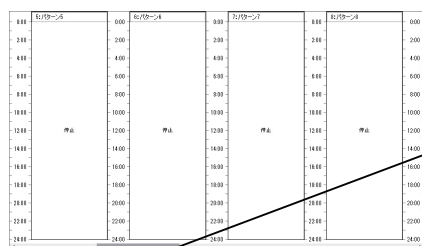
【スケジュール画面（グループ登録なし）】



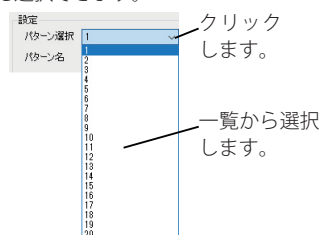
- ① 日課パターンリストにおいて、設定対象となるパターンをクリックして選択します。



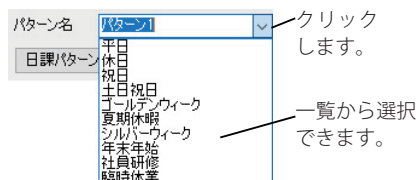
- ・パターン名が反転表示になります。
- ・日課パターンリストのスクロールバーをスクロールして、未表示のパターンが確認できます。



- ・パターン選択の [v] をクリックして表示されるパターン一覧からも選択できます。



- ② キーボードからパターン名を入力します。
- ・パターン名の [v] をクリックして表示されるパターン名一覧からも選択できます。



- ③ [登録] ボタンをクリックします。
- ・パターン名が登録されます。
 - ※[登録] ボタンをクリックするまで、編集内容の内容は登録されません。

- ④ [日課パターン編集] ボタンをクリックします。
- ・日課パターン編集画面が表示されます。
 - 66 ページを参照してください。

- ⑤ 別の日課パターンを設定する場合は、手順①～④を繰り返します。

- ⑥ [次へ] ボタンをクリックします。
- ・日課パターン設定画面が表示されます。
 - 68 ページを参照してください。

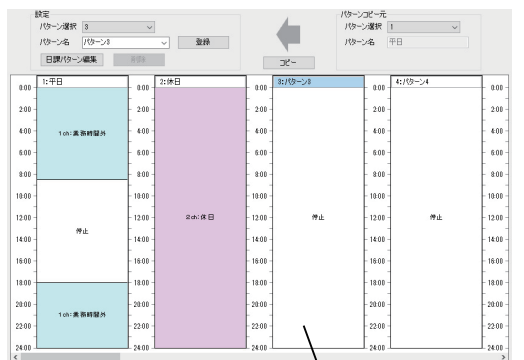
日課パターンをコピーする

すでに作成してある日課パターンをコピーして、類似の日課パターンを作成することができます。

(例) パターン 2 をパターン 3 にコピーする

【方法 1】

1. コピー先の日課パターンを選択します。



クリックして選択します。

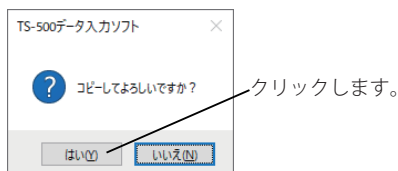
2. パターンコピー元のパターン選択の [v] をクリックして表示される一覧から、コピー元のパターンを選択して、[コピー] ボタンをクリックします。

クリックして選択します。



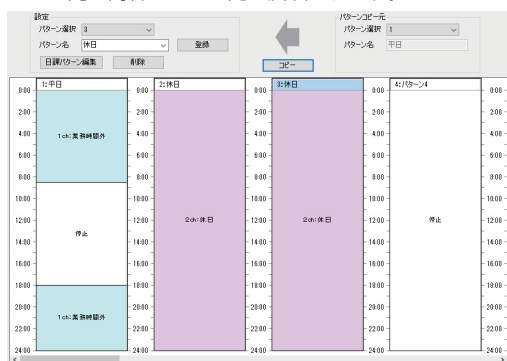
クリックします。

3. 確認画面で [はい] ボタンをクリックします。



クリックします。

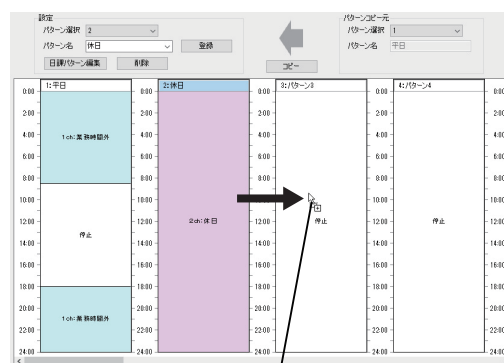
- ・コピー元の内容がコピー先に反映されます。



4. 前ページの手順②以降を実施します。

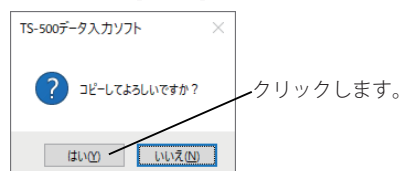
【方法 2】

1. コピー元の日課パターンをコピー先の日課パターンにドラッグ&ドロップします。



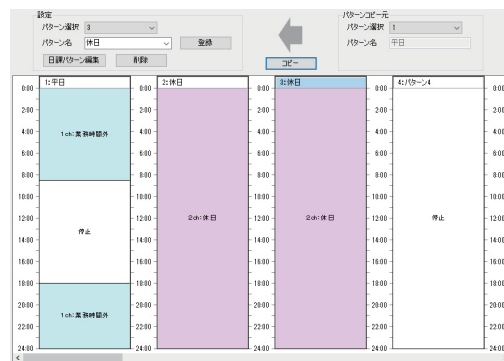
ドラッグ&ドロップします。

2. 確認画面で [はい] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・コピー元の内容がコピー先に反映されます。

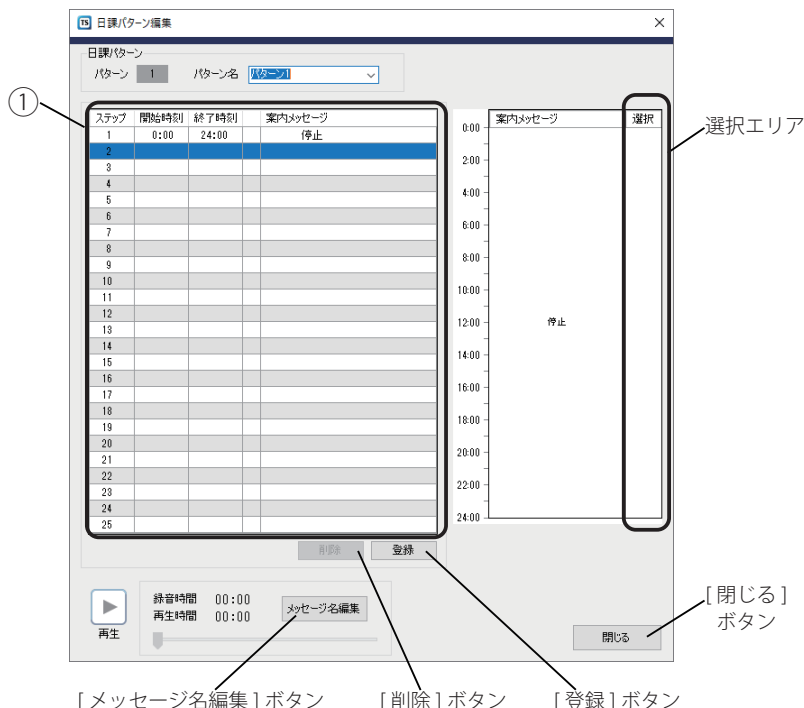


3. 前ページの手順②以降を実施します。

4-2. 日課パターン編集

日課パターンごとの動作ステップを作成します。0:00 から 24:00 までで最大 25 ステップの設定ができます。

【日課パターン編集画面】



① 動作ステップの開始時刻、終了時刻、案内メッセージを設定します。

1) 開始時刻、終了時刻をクリックして、キーボードから時刻を設定します。

ステップ	開始時刻	終了時刻	案内メッセージ
1	0:00	24:00	停止
2	18:00	24:00	
3			
4			
5			

クリックして時刻を入力します。

・時間と分の間のコロン (:) は省略できます。

2) 案内メッセージ欄の [▼] をクリックして表示される一覧から、使用するチャンネルを選択します。

ステップ	開始時刻	終了時刻	案内メッセージ
1	0:00	24:00	停止
2	18:00	24:00	
3			停止
4			1ch: メッセージ1
5			2ch: メッセージ2
6			3ch: メッセージ3
7			4ch: メッセージ4
8			5ch: メッセージ5
9			6ch: メッセージ6
10			7ch: メッセージ7
11			8ch: メッセージ8
12			9ch: メッセージ9
13			10ch: メッセージ10
14			11ch: メッセージ11
15			12ch: メッセージ12
16			13ch: メッセージ13
17			14ch: メッセージ14
18			15ch: メッセージ15
19			16ch: メッセージ16
20			17ch: メッセージ17
21			18ch: メッセージ18
22			19ch: メッセージ19
23			20ch: メッセージ20
24			21ch: メッセージ21
25			22ch: メッセージ22
26			23ch: メッセージ23
27			24ch: メッセージ24
28			25ch: メッセージ25
29			26ch: メッセージ26
30			27ch: メッセージ27
31			28ch: メッセージ28
32			29ch: メッセージ29

クリックします。

ステップに使用するチャンネルを選択します。

※ 外部音源モードの場合、チャンネルは選択できません。

案内メッセージ
停止
外部音源
外部音源

② [登録] ボタンをクリックします。

ステップ	開始時刻	終了時刻	案内メッセージ
1	0:00	24:00	停止
2	18:00	24:00	1ch: メッセージ1
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

クリックします。

・ステップリストに登録されます。

ステップ	開始時刻	終了時刻	案内メッセージ
1	0:00	18:00	停止
2	18:00	24:00	1ch: メッセージ1
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

③ 別のステップを設定する場合は、手順①、②を繰り返します。

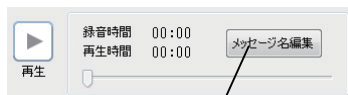
④ [閉じる] ボタンをクリックします。

・日課パターン一覧画面が表示されます。

メッセージ名を編集する

動作モードが基本モードの場合、日課パターン編集画面からメッセージ名が編集できます。

1. [メッセージ名編集] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・メッセージ名編集画面が表示されます。

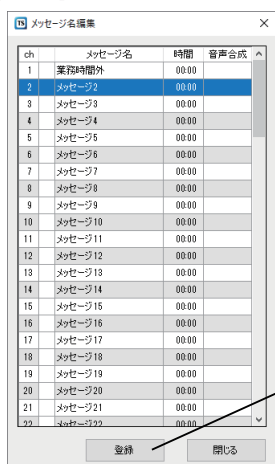
2. [メッセージ名] 入力欄をダブルクリックしてメッセージ名を入力します。

- ・最大 10 文字まで入力できます。



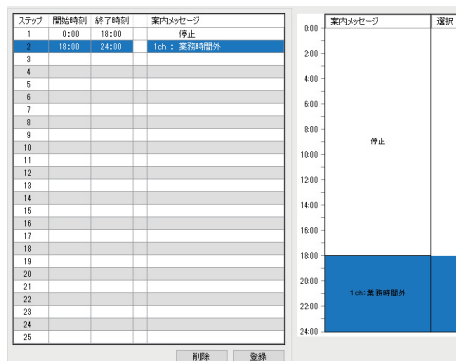
「メッセージ名」入力欄

3. [登録] ボタンをクリックします。



クリック
します。

- ・ステップリストに反映されます。



※ [登録] ボタンをクリックするまで、編集中的内容は登録されません。

動作ステップを削除する

動作ステップを削除する場合は、削除する動作ステップを選択して、[削除] ボタンをクリックします。

ステップ	開始時刻	終了時刻	案内メッセージ
1	0:00	8:30	1ch: 業務時間外
2	8:30	18:00	3ch: 5ch
3	18:00	24:00	1ch: 業務時間外
4			

削除する動作ステップを選択します。

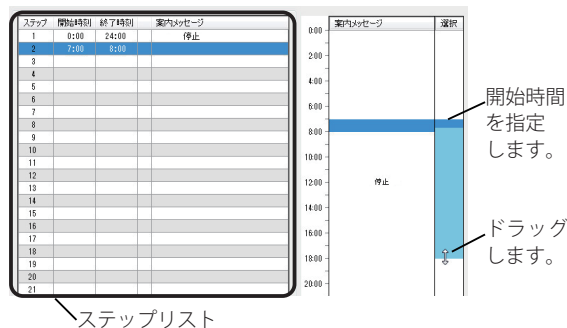


クリックします。

※ 削除確認画面で「はい」
ボタンをクリックします。

ワンポイント

- 開始時間と終了時間は、選択エリアの開始位置を指定し、終了位置までドラッグして設定できます。



- ドラッグにより設定できる時間は 10 分単位です。
10 分未満のステップは、ステップリストから設定してください。
- 開始ステップの開始時刻は 0:00 で、最終ステップの終了時刻は 24:00 となります。

4-3. 日課パターン設定

タイマー運用において、日付などを指定して自動的に切り替えて運用するための年間スケジュールを作成します。スケジュールには、「曜日」、「変動日」、「祝日」、「特定日」の4種類があり、各スケジュールが同じ日に重なった場合の優先順位は「特定日（範囲選択）」が最も高く、以下「特定日（毎年）」、「特定日（毎月）」、「祝日」、「変動日」、「曜日」の順です。また、登録した年間タイマーの有効期間は、登録した年を含め最大15年です。

（例1）2020/6/20に登録した場合 ⇒ 有効期限：2035/ 5/31（有効期間：14年と346日）

（例2）2021/1/1に登録した場合 ⇒ 有効期限：2035/12/31（有効期間：15年）

そのため、**有効期間内に年間タイマーを再登録してください。**

【日課パターン設定画面（グループなし）】



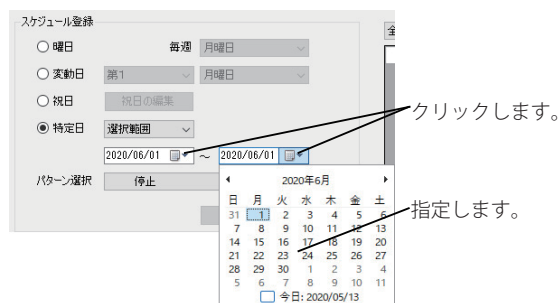
① 登録するスケジュールのオプションボタンをクリックして選択します。

- ・特定日の場合は、「選択範囲」「毎年」「毎月」から選択できます。
- ・特定日の「選択範囲」は連続して最大1か月の期間で設定できます。

オプションボタンをクリックします。



- ・特定日はカレンダーから設定できます。



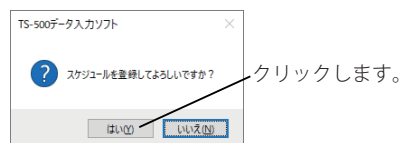
② パターンを登録します。

- 1) [v]をクリックして適用するパターンを選択して、[登録]ボタンをクリックします。



- ・確認画面が表示されます。

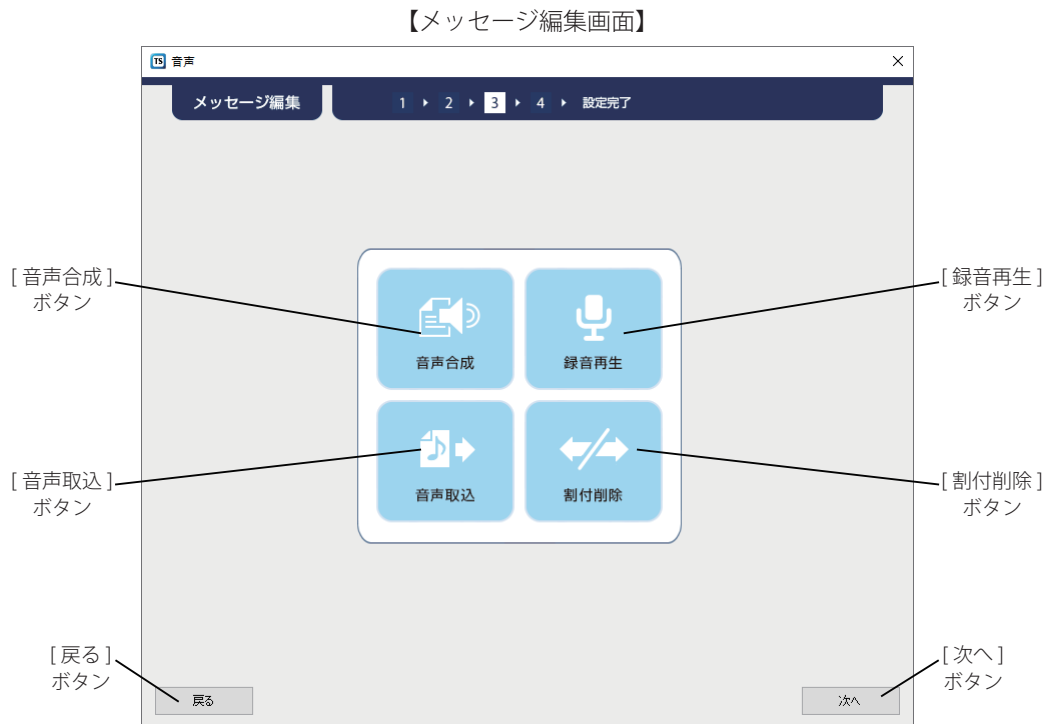
- 2) [はい] ボタンをクリックします。



5. メッセージ編集

かかってきた電話に応答するメッセージを作成します。作成したメッセージは最大 99ch に割り付けることができます。メッセージの作成方法としては、テキストファイルからメッセージに変換する音声合成、パソコンや USB メモリから wave ファイルを読み込むことによる音声取込、マイクから音声を録音する録音再生などがあります。

(画面は「マニュアル運用」の例)



① 目的のボタンをクリックして、応答メッセージを編集します。

- 各種のボタンに応じて、以下を参照してください。
 - [音声合成] ボタン：「5-1. 音声合成」(71 ページ)
 - [録音再生] ボタン：「5-2. 録音再生」(75 ページ)
 - [音声取込] ボタン：「5-3. 音声取込」(76 ページ)
 - [割付削除] ボタン：「5-4. 割付削除」(77 ページ)

② メッセージ編集が完了するまで、上記手順①を繰り返します。

③ メッセージ編集が完了した場合は、[次へ] ボタンをクリックします。

- データ書込／保存画面が表示されます。
78 ページを参照してください。

ワンポイント

- 本操作をスキップして [次へ] ボタンをクリックした場合は、出荷時の設定でデータが作成されます。
- 録音再生や音声取込によって作成できるメッセージの録音時間は、1 チャンネルあたり最大 6 時間です。

5-1. 音声合成

テキストファイルなどから読み込んだ文章や、キーボードから入力した文章を音声メッセージに変換します。

【メッセージ編集（音声合成）画面】



① チャンネルを選択します。

1) チャンネルリストから編集対象のチャンネルを選択します。

ch	メッセージ名	時間	音声合成
	挨拶メッセージ	00:00	
1	業務時間外	00:00	
2	休日	00:00	
3	メッセージ3	00:00	
4	メッセージ4	00:00	
5	メッセージ5	00:00	

クリックします。

※ 外部音源モードの場合は、挨拶メッセージのみ選択できます。

・選択チャンネルが反転されます。

2) メッセージ名を修正する場合は、[メッセージ名] 入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。

・最大 10 文字まで入力できます。

ch	メッセージ名	時間	音声合成
	挨拶メッセージ	00:00	
1	業務時間外	00:00	
2	休日	00:00	
3	メッセージ3	00:00	
4	メッセージ4	00:00	
5	メッセージ5	00:00	

[メッセージ名] 入力欄

・メッセージ名は割付後でも変更できます。

※ 挨拶メッセージのメッセージ名は変更できません。

② メッセージを作成します。

1) 文章入力欄に音声合成で読み上げたい文章を入力します。

文章一覧 テンプレート

文章編集

アカウント強弱 ポーズ間隔

標準 削除

はい、株式会社〇〇でございます。
折角お電話いただきましたが、本日の業務は終了いたしました。
当社の業務時間は、平日の午前8時45分から午後6時30分までとなっております。
誠に恐れ入りますが、業務時間内、改めてお電話をい

文章保存

文章を入力します。
また、音声合成により作成されたメッセージが登録されているチャンネルを選択した場合は、登録されている内容が記述されます。

ワンポイント

● [テンプレート] ボタンをクリックすると、文章例が表示されるため、該当の文章例を選択した後に、内容をアレンジすることができます。

クリックします。

文章一覧 テンプレート

クリックして
選択します。

テンプレート

No. 1 挨拶メッセージ A はい、〇〇会社でございます。折角お電話いただきましたが、本日の業務は終了いたしました。

No. 2 業務時間外 B はい、〇〇会社でございます。折角お電話いただきましたが、本日の業務は終了いたしました。

No. 3 休日 C はい、〇〇会社でございます。折角お電話いただきましたが、本日の業務は終了いたしました。

No. 4 挨拶メッセージ A はい、〇〇会社でございます。折角お電話いただきましたが、本日の業務は終了いたしました。

No. 5 業務時間外 B はい、〇〇会社でございます。折角お電話いただきましたが、本日の業務は終了いたしました。

No. 6 休日 C はい、〇〇会社でございます。折角お電話いただきましたが、本日の業務は終了いたしました。

選択 閉じる

● テンプレートや文章一覧から文章を選択した場合、すでに入力されているメッセージは消去されます。

● 編集された文章を保持しておくことができます。[文章保存] ボタンをクリックして表示される文書保存画面で、タイトルを入力してください。

・文章は最大 100 件保存できます。

・タイトルは最大 10 文字まで入力できます。

文章編集

アカウント強弱 ポーズ間隔

やや弱い 小

お電話ありがとうございます。株式会社〇〇でございます。

折角お電話いただきましたが、土曜、日曜、祝日はお休みさせていただきます。

なお、当社の業務時間は、平日の午前8時45分から午後6時30分までとなっております。

文章保存

タイトルを入力します。

文章保存

保存する文章のタイトルを入力してください。

タイトル 休日

保存 閉じる

クリックします。

クリックします。

また保存された文章は、[文章一覧] ボタンをクリックして表示される一覧画面から確認できます。

クリックします。

文章一覧 テンプレート

・テキストファイルからのコピーペーストができます。このとき半角文字は全角文字に変換されます。

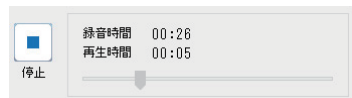
・特殊文字を除く全角文字で最大 2500 文字まで入力できます。

新しくデータを作成する

③ メッセージを再生・割付します。

1) [再生] ボタンをクリックして、メッセージを再生します。

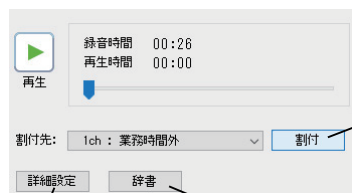
- ・音声合成されたメッセージが再生されます。
- ・文章を範囲選択すると、選択されている文章のみ再生します。
- ・再生中は [再生] ボタンが [停止] ボタンに変わります。



アクセントの強弱や文字列の間のポーズ時間の調節をする場合は、「アクセント強弱やポーズ間隔の調節」（次ページ）を参照してください。

※作成したメッセージは必ず再生して確認してください。このとき音声合成機能の仕様により、意図した再生にならないことがありますが、あらかじめご了承ください。

2) [割付] ボタンをクリックして、メッセージに合成された音声を割り付けます。



クリックします。

[詳細設定] ボタン [辞書] ボタン

※[割付] ボタンをクリックしないで操作タブで画面を切り替えたり、[戻る] ボタンをクリックした場合などは、合成されたメッセージは破棄されます。

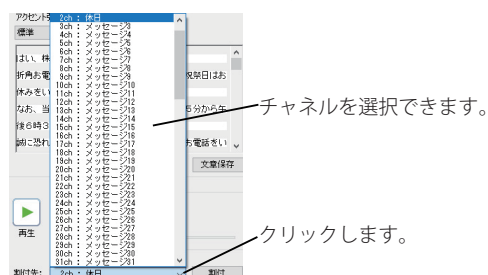
- ・メッセージ色が表示されます。（初期色：水色）このメッセージ色はスケジュールの日課パターンを設定した場合に日課パターン一覧に反映されます。日課/パターン一覧については、64 ページを参照してください。
- ・チャンネルリストの [音声合成] 表示欄に “○” が表示されます。

ch	メッセージ名	時間	音声合成
1	挨拶メッセージ	00:00	○
2	休日	00:00	

「音声合成」表示欄

ワンポイント

- [詳細設定] ボタンをクリックすると、文章を読み上げる速度や声の大きさなどが変更できます。「音声合成詳細設定」（73 ページ）を参照してください。
- [辞書] ボタンをクリックすると、単語の読み方などをあらかじめ登録しておくことができます。「辞書登録」（74 ページ）を参照してください。
- 手順③.2)において、割り付けるチャンネルを変更することができます。割付先の [v] をクリックして表示される一覧から、チャンネルを選択してください。



チャンネルを選択できます。

クリックします。

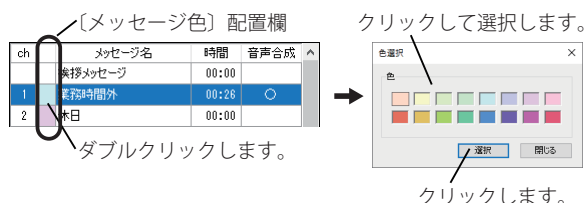
④ [戻る] ボタンをクリックします。

- ・メッセージ編集画面が表示されます。
- ・操作タブの各種タブに応じて、画面を切り替えることができます。
[録音再生] タブ：メッセージ編集（録音再生）画面
[音声取込] タブ：メッセージ編集（音声取込）画面
[割付削除] タブ：メッセージ編集（割付削除）画面

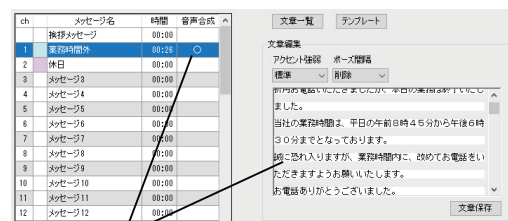
ワンポイント

- メッセージ色は変更できます。チャンネルリストの [メッセージ色] 配置欄をダブルクリックして、表示される色選択画面から指定してください。

- ・挨拶メッセージのメッセージ色は対象外です。



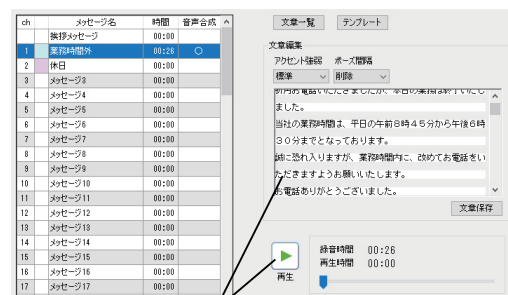
- すでに音声合成により割り付けているチャンネルを選択した場合、文章入力欄には割り付けられているメッセージが表示されます。



チャンネル選択時に、音声合成によるメッセージが割り付けられている場合は、その内容を表示します。

ご注意

- [再生] ボタンをクリックして再生される音声は、文章入力欄に入力された文章の音声合成により変換された音声です。すでに割り付けられているメッセージを再生する場合は、「5-2. 録音再生」（75 ページ）を参照してください。



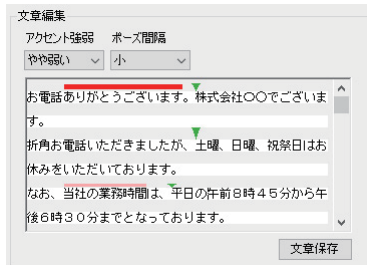
[再生] ボタンにより再生される音声は、文章入力欄の文章を音声合成により変換された音声です。すでに割り付けられているメッセージが再生されるわけではありません。

アクセント強弱やポーズ間隔の調節

文章入力欄で選択された文字列のアクセントの強弱やポーズ間隔の調節ができます。

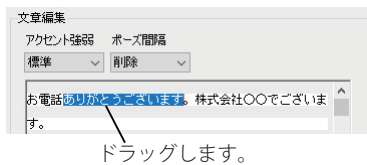
- ・アクセント強弱は5段階で調節できます。
- ・ポーズ間隔は3段階で調節できます。

【表示例】



●アクセント強弱のつけかた

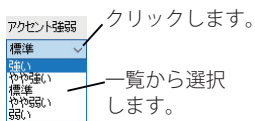
1. アクセントの強弱をつけたい文字列をドラッグします。



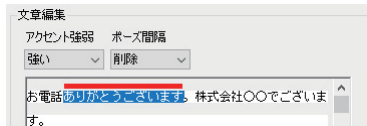
ドラッグします。

2. アクセント強弱の [v] をクリックして表示される一覧から、設定項目を選択します。

- ・アクセントの強弱をつけない場合は、「標準」を選択します。



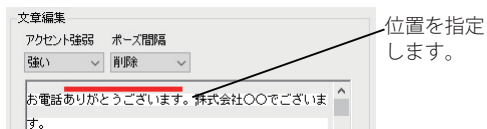
- ・強弱に応じて文字列の上に赤いバーが表示されます。



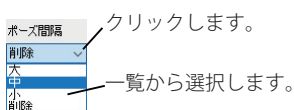
※ 熟語にアクセントを付けた場合などで、意図した発言にならない場合は、単語を辞書登録して読みにアクセントを付けてください。辞書登録については次ページを参照してください。

●ポーズ間隔のつけかた

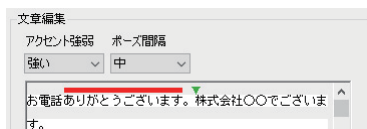
1. 空白時間を挿入したい箇所をマウスで指定します。



2. ポーズ間隔の [v] をクリックして表示される一覧から、設定項目を選択します。



- ・間隔に応じて指定位置に緑の逆三角形が表示されます。



音声合成詳細設定

アクセント強弱やポーズ間隔の他に、文章を読み上げる速度や声の大きさなど、各種の設定項目に詳細な設定ができます。



[初期値に戻す] ボタン [登録] ボタン [閉じる] ボタン

※ 設定値を工場出荷状態 (初期値) に戻します。

No.	設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
1	速さ	文章を読むスピード	50～400%	100%
2	大きさ	声の大きさ	50～500%	100%
3	ピッチ	声の高さ	50～200%	100%
4	ポーズ小	ポーズ小を選択した場合の間隔	10～10000ms	300ms
5	ポーズ中	ポーズ中を選択した場合の間隔	10～10000ms	800ms
6	ポーズ大	ポーズ大を選択した場合の間隔	10～10000ms	1000ms

●個別手順

【数値を直接入力する場合】

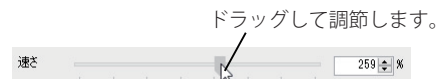
1. 数値入力欄に数値を入力して、キーボードの [Enter] キーを押します。



- ・スライダーの位置が連動して移動します。

【スライダーを移動させる場合】

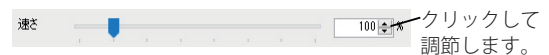
1. スライダーをドラッグして指定の位置でドロップします。



- ・数値が連動して変更されます。

【上下矢印ボタンを使用する場合】

1. [▲/▼] ボタンをクリックして調節します。



- ・数値とスライダーが連動して変更されます。

●共通手順

2. [登録] ボタンをクリックします。
3. [閉じる] ボタンをクリックします。

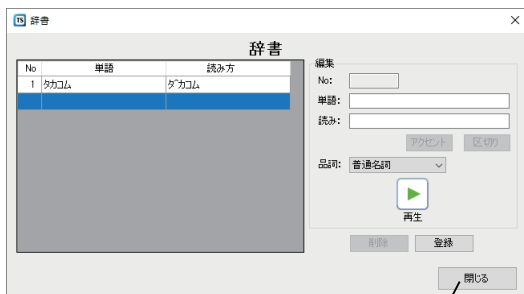
ご注意

- 音声合成詳細設定により変更された内容は、すでに登録されている音声合成メッセージには反映されません。登録後に音声合成により作成されたメッセージに反映されるため、ご注意ください。

辞書登録

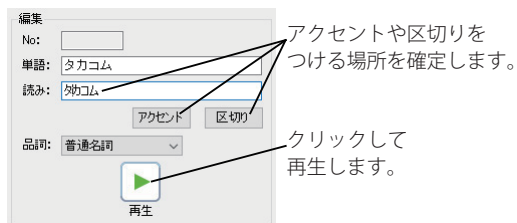
よく使う単語や、あまり一般的ではない言葉を辞書登録することができます。あらかじめアクセントをつけて調整を行い、辞書登録しておくことで、メッセージ編集が便利になります。

【辞書画面】

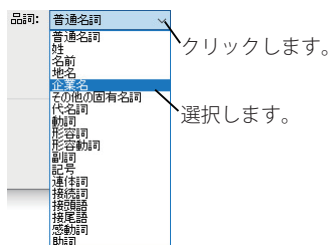


[閉じる] ボタン

1. 単語と読みを入力して、[再生] ボタンで音声を聞きながら、アクセントや区切りの位置を確認します。



2. 品詞の [v] をクリックして表示される一覧から、単語の品詞を選択します。



3. [登録] ボタンをクリックします。



- ・最大 300 件登録できます。
- ・辞書画面に反映されます。
- ・辞書画面で単語を選択して、[削除] ボタンをクリックすると登録されている単語が削除されます。

ご注意

- 辞書登録した単語は登録後に割り付けたメッセージから反映されます。同じ単語でも辞書登録前に割り付けたメッセージには反映されませんので、ご注意ください。
- 文章の前後のテキストによって、意図した発音にならない場合がありますので、ご注意ください。

ワンポイント

- 文章入力欄で熟語にアクセントを付けた場合などで、意図した発音にならない場合があります。このときは熟語を辞書登録して読みアクセントを付けることで、意図した発音にできます。

STOP お願い

- アクセントや区切りの位置を調節した単語を辞書登録するときは、必ず [再生] ボタンで再生して調節した内容を確認してから辞書登録をしてください。調節内容によっては、辞書が上手く登録できないことがあります。

5-2. 録音再生

割り付けられているメッセージを再生したり、録音デバイスからの再生音を録音してチャンネルに割り付けます。

【メッセージ編集（録音再生）画面】



① チャンネルを選択します。

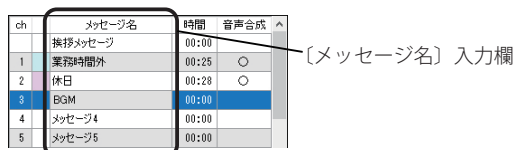
- 1) チャンネルリストから編集対象のチャンネルを選択します。



- ・選択チャンネルが反転されます。

- 2) 「メッセージ名」入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。

- ・最大 10 文字まで入力できます。

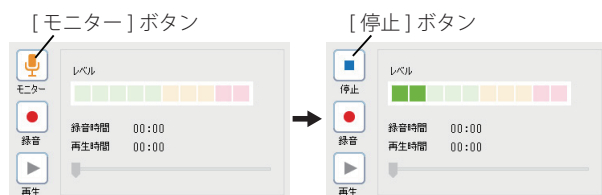


- ・メッセージ名は録音後でも変更できます。

※ 挨拶メッセージのメッセージ名は変更できません。

② メッセージを録音します。

- 1) 録音デバイスからの再生音を入力して、[モニター] ボタンをクリックします。



- ・[モニター] ボタンが[停止] ボタンに変わります。

- 2) 録音レベルが適正範囲となるように、音源のボリュームを調節します。



- 3) [停止] ボタンをクリックします。

- ・[停止] ボタンが[モニター] ボタンに変わります。

- 4) 再度録音デバイスから再生音を入力して、[録音] ボタンをクリックします。

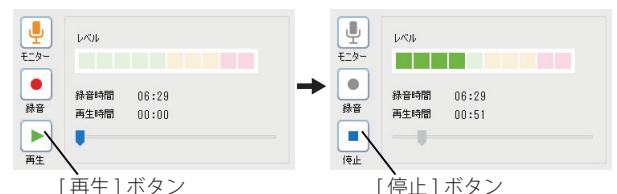


- ・[録音] ボタンが[停止] ボタンに変わり、録音が始まります。

- 5) 録音を終了する場合は、[停止] ボタンをクリックします。

- ・録音が終了します。

- 6) 録音されたメッセージを確認する場合は、[再生] ボタンをクリックします。



- ・[再生] ボタンが[停止] ボタンに変わります。

- ③ [戻る] ボタンをクリックします。

- ・メッセージ編集画面が表示されます。
- ・操作タブの各種タブに応じて、画面を切り替えることができます。

[音声合成] タブ：メッセージ編集（音声合成）画面

[音声取込] タブ：メッセージ編集（音声取込）画面

[割付削除] タブ：メッセージ編集（割付削除）画面

5-3. 音声取込

パソコンや USB メモリから wave ファイルを読み込んでチャンネルに割り付けます。

【メッセージ編集（音声取込）画面】



① チャンネルを選択します。

1) チャンネルリストから編集対象のチャンネルを選択します。



・選択チャンネルが反転されます。

2) 「メッセージ名」入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。

・最大 10 文字まで入力できます。

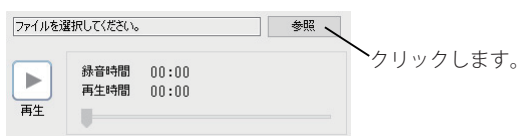


・メッセージ名は割り付後も変更できます。

※ 挨拶メッセージのメッセージ名は変更できません。

② 取り込むファイルを選択します。

1) [参照] ボタンをクリックします。



・音声ファイル選択画面が表示されます。

ワンポイント

● 本ソフトで取込可能な音声ファイルのファイル形式は以下になります。

No.	規格名	仕様
1	リニア PCM	44.1kHz/16bit ステレオ、モノラル
2	μ-law	8kHz/8bit モノラル

2) ファイルの場所とファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。



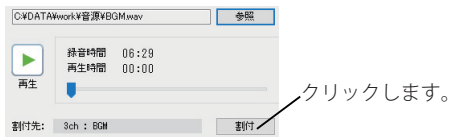
3) [再生] ボタンをクリックして音声を確認します。



・音声再生されます。

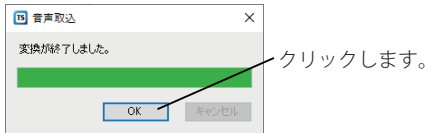
・[再生] ボタンが[停止] ボタンに変わります。

4) [割付] ボタンをクリックします。



- ・ファイル形式の変換後に変換終了メッセージが表示されます。

5) [OK] ボタンをクリックします。



- ・選択チャンネルにファイルが割り付きます。

③ [戻る] ボタンをクリックします。

- ・メッセージ編集画面が表示されます。
- ・操作タブの各種タブに応じて、画面を切り替えることができます。
[音声合成] タブ: メッセージ編集 (音声合成) 画面
[録音再生] タブ: メッセージ編集 (録音再生) 画面
[割付削除] タブ: メッセージ編集 (割付削除) 画面

ワンポイント

- 1 秒以下の音声は無音を挿入して、1 秒単位の音声に繰り上げて作成されます。

(例: 40 秒 121 ミリ秒の音声の場合)

40 秒 121 ミリ秒 (音声) + 879 ミリ秒 (無音)
→ 41 秒)

5-4. 割付削除

各チャンネルに割り付いているメッセージを削除します。

【メッセージ編集 (割付削除) 画面】



① チャンネルリストから削除対象のチャンネルを選択します。



- ・選択チャンネルが反転されます。
- ※ Ctrl キーを押しながら複数のメッセージが選択できます。

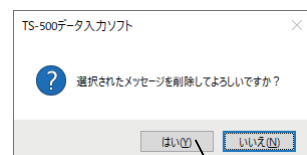
② メッセージを削除します。

1) [再生] ボタンをクリックして、メッセージの内容を確認したあとで、[削除] ボタンをクリックします。



- ・削除確認メッセージが表示されます。

2) [はい] ボタンをクリックします。



- ・メッセージの割付が削除されます。

③ [戻る] ボタンをクリックします。

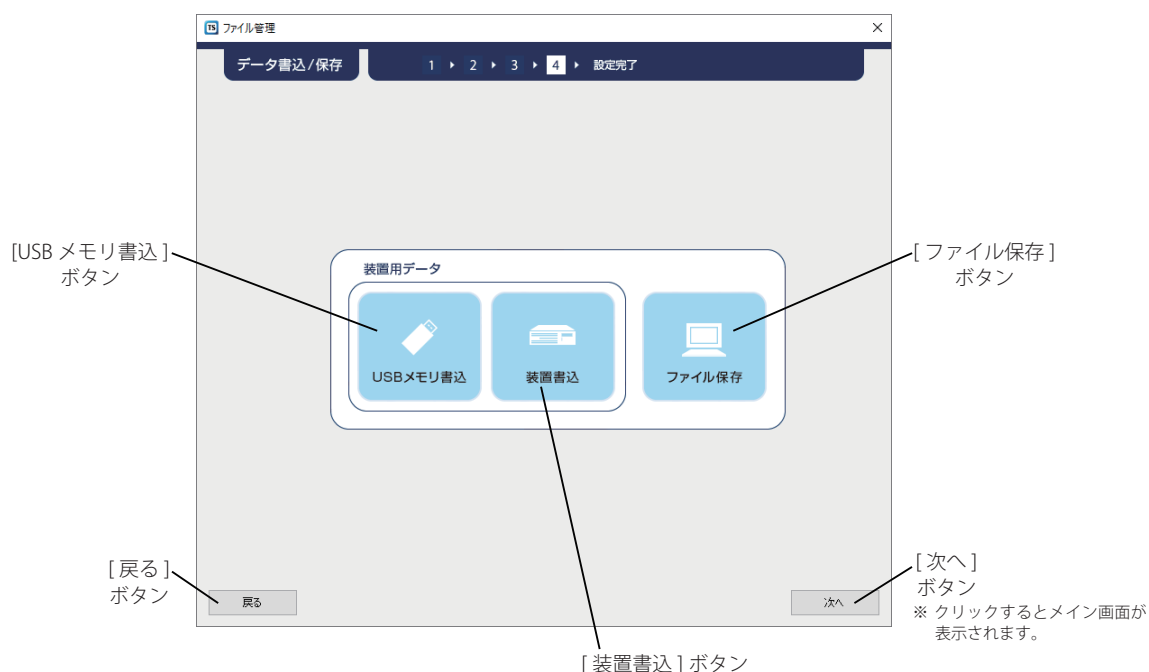
- ・メッセージ編集画面が表示されます。
- ・操作タブの各種タブに応じて、画面を切り替えることができます。
[音声合成] タブ: メッセージ編集 (音声合成) 画面
[録音再生] タブ: メッセージ編集 (録音再生) 画面
[音声取込] タブ: メッセージ編集 (音声取込) 画面

6. データ書き込み／保存

装置情報や回線情報、編集した応答メッセージなどを USB メモリや本体装置に書き込むことができます。また制御用パソコンの任意のフォルダに保存することもできます。

(画面は「マニュアル運用」の例)

【ファイル管理画面（データ書込／保存）】



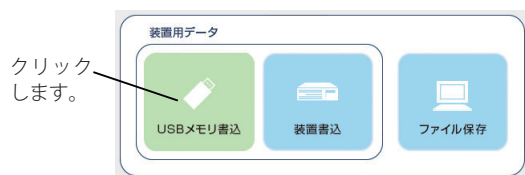
ワンポイント

- ファイル管理画面（データ書込／保存）から装置用データの書き込みや、ファイル保存しないで [次へ] ボタンをクリックした場合でも、メイン画面から書き込みや保存ができます。

6-1. USBメモリ書込

USBメモリに装置用データを書き込みます。

- ① [USB メモリ書込] ボタンをクリックします。



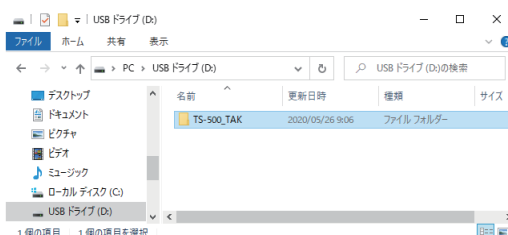
- ・ 書込画面が表示されます。

STOP お願い

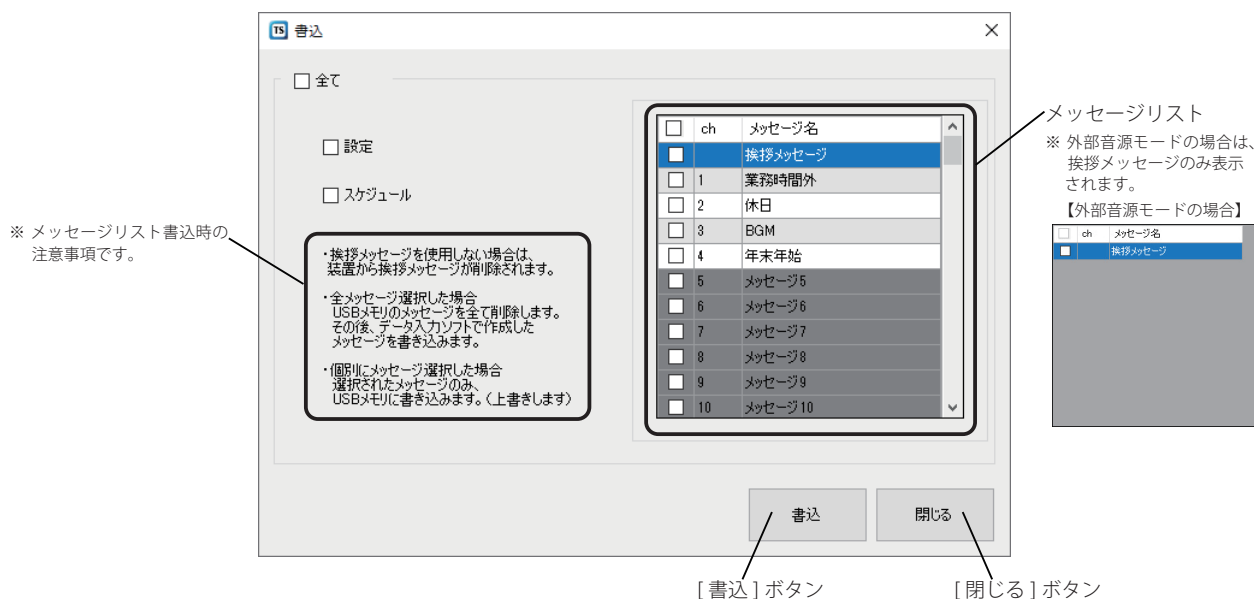
- 動作モードの異なる装置用データを USB メモリに保存する場合は、USB メモリの「TS-500_TAK」フォルダを削除した後で保存してください。

ワンポイント

- IP アドレスとポート番号は USB メモリには書き込まれません。
- USB メモリには「TS-500_TAK」フォルダ配下に装置用データが保存されます。このフォルダ名は変更しないでください。

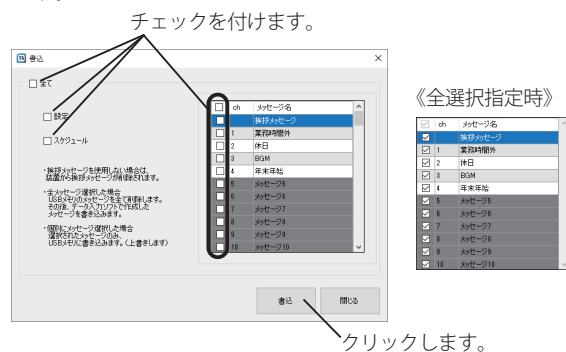


【書込画面（基本モード）】



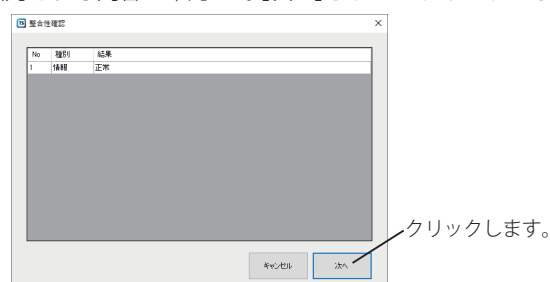
- ② 保存するデータのチェックボックスにチェックを付けて [書込] ボタンをクリックします。

- ・メッセージリストにおいて、登録されていないメッセージにチェックを付けることはできません。但し、全選択指定時はチェックが付きます。



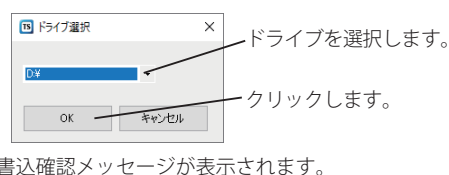
- ・整合性確認画面が表示されます。

- ③ 出力される内容を確認して [次へ] ボタンをクリックします。



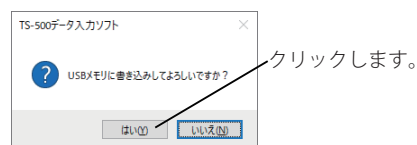
- ・ドライブ選択画面が表示されます。

- ④ USB メモリをセットしたドライブを選択して [OK] ボタンをクリックします。



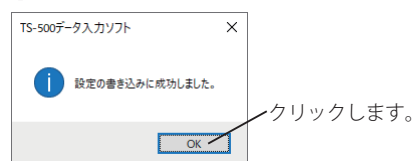
- ・書込確認メッセージが表示されます。

- ⑤ [はい] ボタンをクリックします。



- ・USB メモリにデータの書き込みが開始されます。
- ・データの書き込み完了後にメッセージが表示されます。

- ⑥ [OK] ボタンをクリックします。



ワンポイント

- 整合性確認画面において、種別に「警告」が含まれている場合は、[次へ] ボタンはクリックできません。内容を確認してデータを修正してください。詳細については、「整合性確認について」(105 ページ)を参照してください。

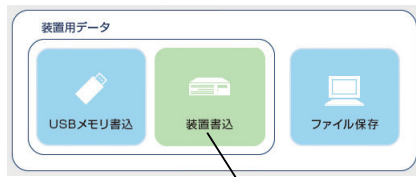
ワンポイント

- メッセージを個別で書き込んだ場合は、メッセージの録音時間が合計で6時間を超える場合があります。USB メモリを使用して本体装置にメッセージを読み込む場合は、個別でメッセージを読み込んでください。メッセージの合計時間が6時間以内であれば、一括でメッセージが読み込まれます。

6-2. 装置書込

装置用データをネットワーク上に接続された TS-500 本体装置に直接書き込みます。

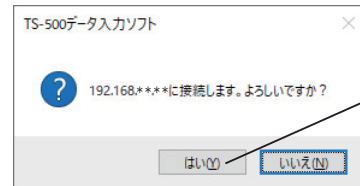
① [装置書込] ボタンをクリックします。



クリックします。

・接続確認メッセージが表示されます。

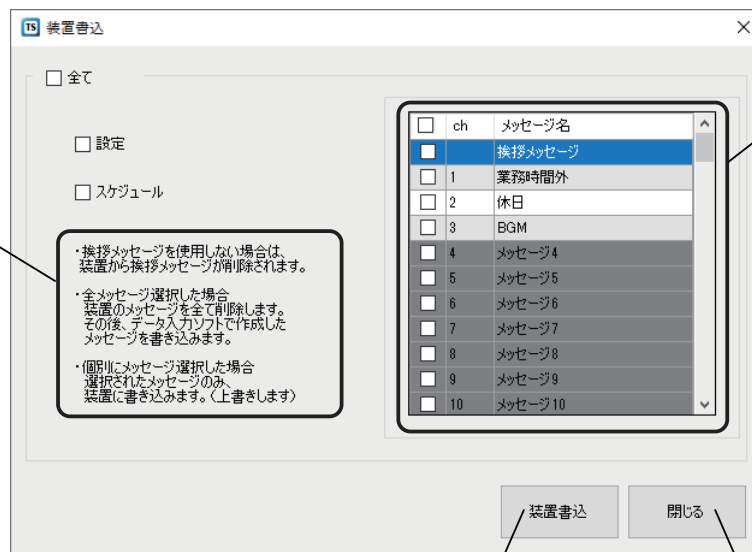
② [はい] ボタンをクリックします。



クリックします。

・装置書込画面が表示されます。

【装置書込画面 (基本モード)】



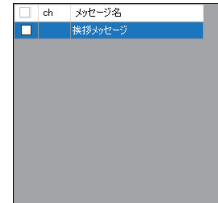
※ メッセージリスト書込時の注意事項です。

・挨拶メッセージを使用しない場合は、装置から挨拶メッセージが削除されます。
 ・全メッセージ選択した場合、装置のメッセージを全て削除します。その後、データ入力ソフトで作成したメッセージを書き込みます。
 ・個別にメッセージ選択した場合、選択されたメッセージのみ、装置に書き込みます。(上書きします)

メッセージリスト

※ 外部音源モードの場合は、挨拶メッセージのみ表示されます。

【外部音源モードの場合】



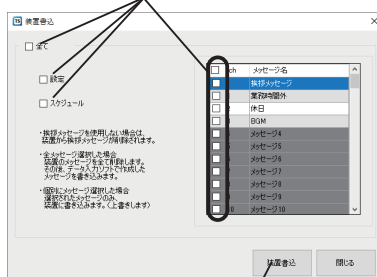
[装置書込] ボタン

[閉じる] ボタン

③ 保存するデータのチェックボックスにチェックを付けて [装置書込] ボタンをクリックします。

・メッセージリストにおいて、登録されていないメッセージにチェックを付けることはできません。但し、全選択指定時はチェックが付きま。

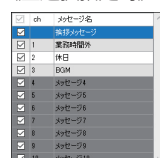
チェックを付けます。



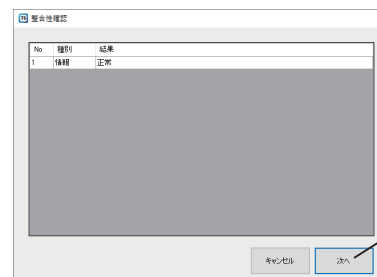
クリックします。

・整合性確認画面が表示されます。

《全選択指定時》



④ 出力される内容を確認して [次へ] ボタンをクリックします。



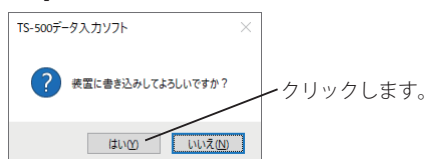
クリックします。

・書込確認メッセージが表示されます。

ワンポイント

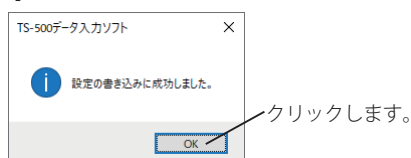
- 整合性確認画面において、種別に「警告」が含まれている場合は、[次へ] ボタンはクリックできません。内容を確認してデータを修正してください。詳細については、「整合性確認について」(105 ページ)を参照してください。

⑤ [はい] ボタンをクリックします。



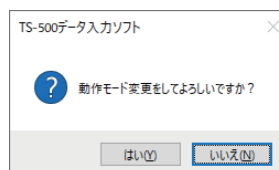
- 本体装置にデータの書き込みが開始されます。
- データの書き込み完了後にメッセージが表示されます。

⑥ [OK] ボタンをクリックします。



ワンポイント

- 動作モードが異なる装置用データを本体装置に書き込む場合は、以下の確認メッセージが表示されます。



操作を続ける場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。

- 動作モードを変更すると、集計データなどの本体装置のデータは初期化されます。

6-3. ファイル保存

編集中の各種データや TS-500 本体装置から読み込んだ登録情報などを、制御用パソコンや事前に割り当てたネットワークドライブなどに保存します。

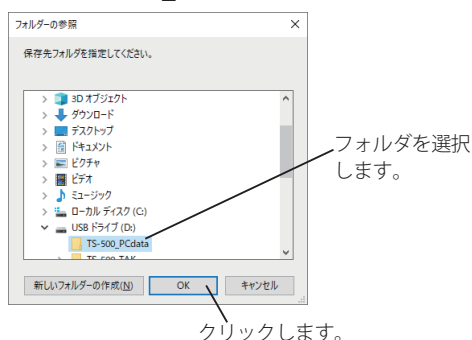
① [ファイル保存] ボタンをクリックします。



- フォルダの参照画面が表示されます。

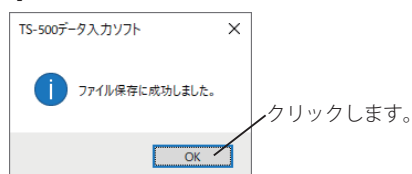
② フォルダの参照画面で保存するフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックします。

(例) D: ¥ TS-500_PCdata



- 保存完了画面が表示されます。

③ [OK] ボタンをクリックします。



次回からは、[ファイル保存] ボタンをクリックすると、このフォルダ (例: TS-500_PCdata) が表示されます。

STOP お願い

- エクスプローラーなどで、データを保存したフォルダ内の各種ファイルを移動したり削除しないでください。

STOP お願い

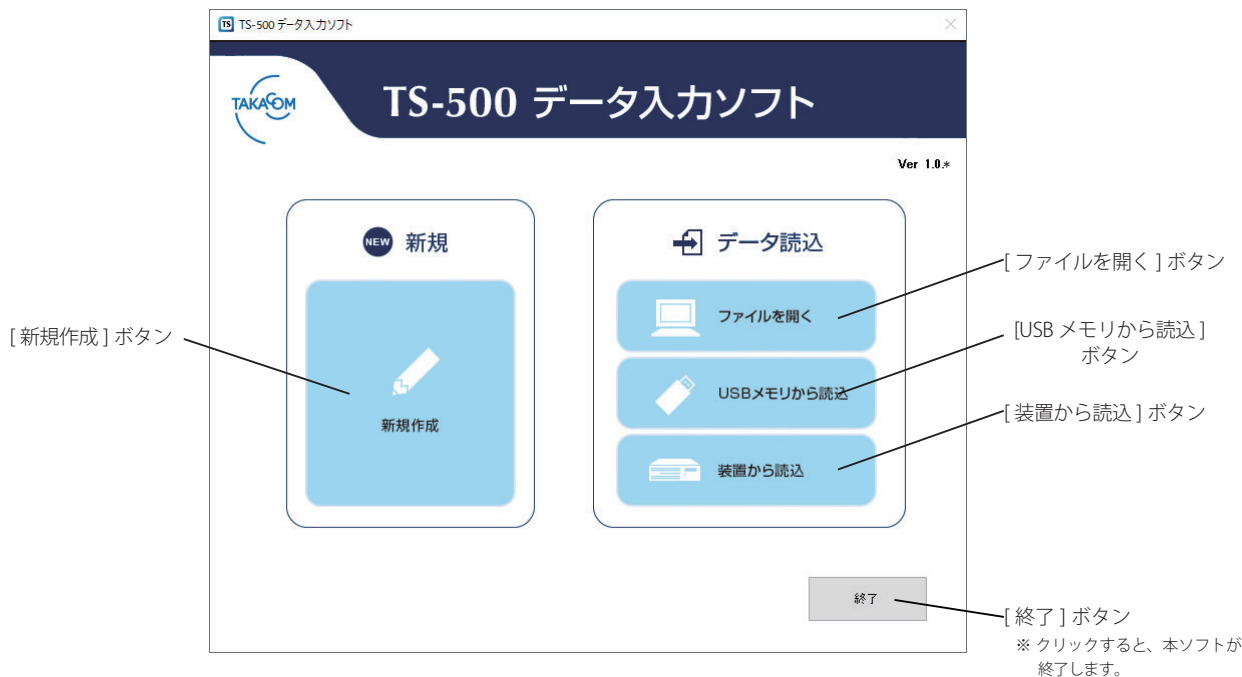
- データの保存場所に、「C ドライブ」直下や「Program Files」などのシステムフォルダを指定しないでください。

データを読み込む

制御用パソコンのハードディスクやUSBメモリなどに保存したデータを読み込みます。また、ネットワークを經由して本体装置のデータを直接読み込みます。

データの読み込みは、初期画面の「ファイルを開く」「USBメモリから読み込み」「装置から読み込み」ボタンで行います。

【初期画面】

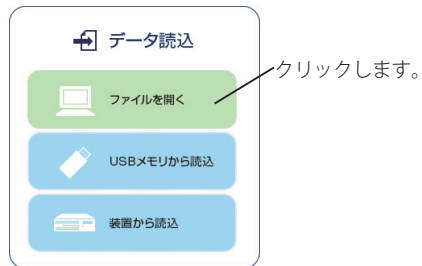


※ クリックすると、本ソフトが終了します。

1. ファイルから読み込む

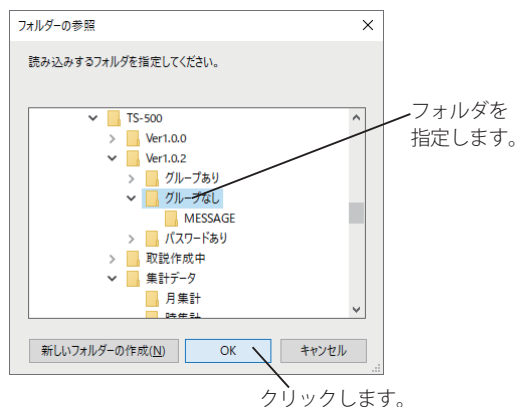
制御用パソコンのハードディスクなどに保存したデータを読み込みます。

- ① 初期画面の「ファイルを開く」ボタンをクリックします。



・フォルダーの参照画面が表示されます。

- ② データが保存してあるフォルダを指定して、[OK] ボタンをクリックします。



・メイン画面が表示されます。

【メイン画面】

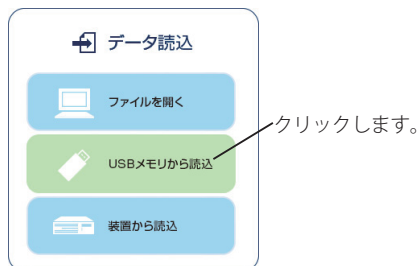


- ③ 以降は「データを編集する」(86 ページ) を参照してデータの編集を行ってください。

2. USB メモリから読み込む

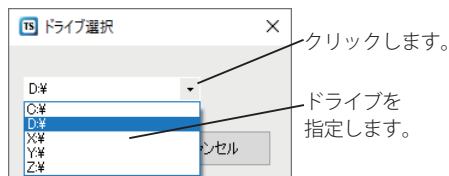
USB メモリなどに保存したデータを読み込みます。

- ① 初期画面の [USB メモリから読み込む] ボタンをクリックします。

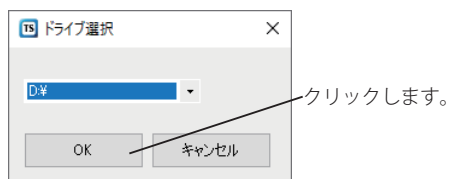


- ・ドライブ選択画面が表示されます。

- ② [▼] をクリックして表示される一覧から、USB メモリを接続したドライブを指定します。

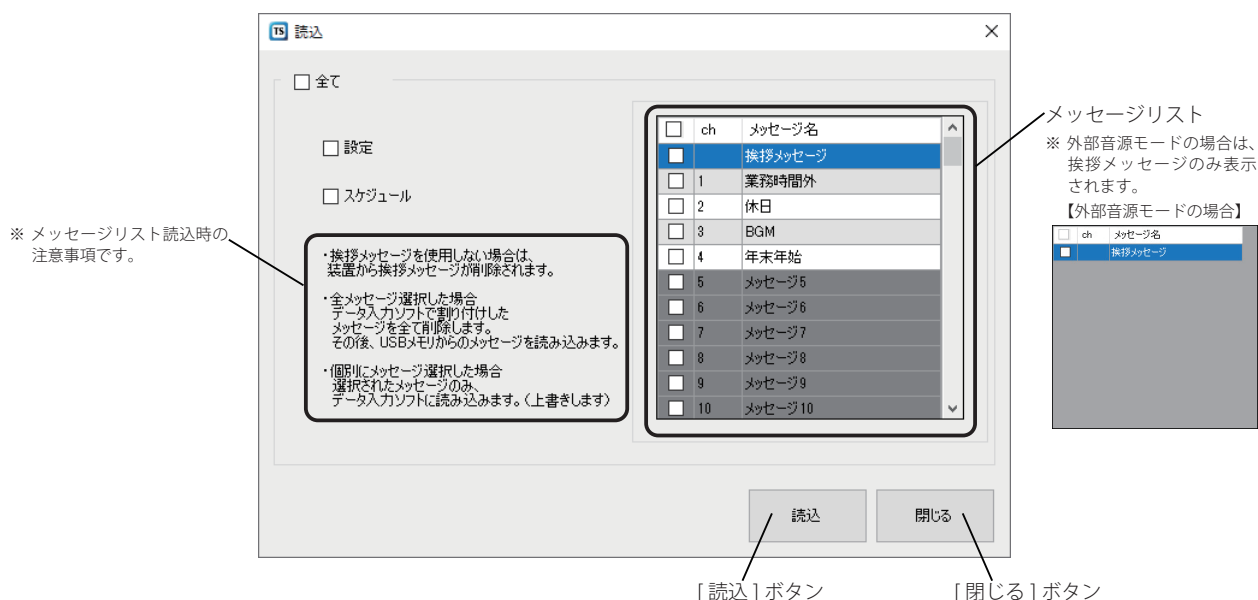


- ③ [OK] ボタンをクリックします。



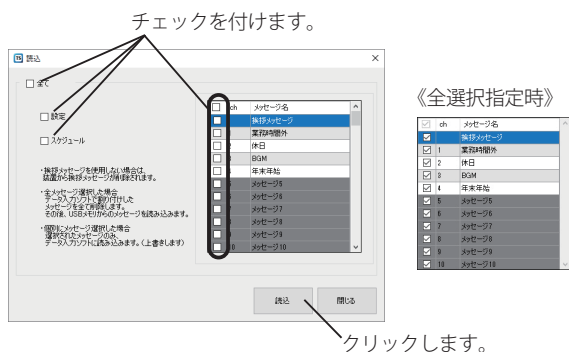
- ・読み込み画面が表示されます。

【読み込み画面（基本モード）】



- ④ 読み込むデータのチェックボックスにチェックを付けて [読み込み] ボタンをクリックします。

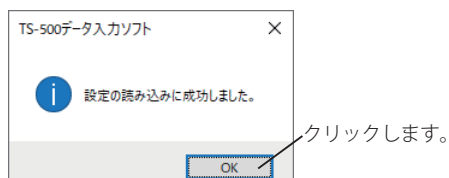
- ・メッセージリストにおいて、登録されていないメッセージにチェックを付けることはできません。但し、全選択指定時はチェックが付きません。



- ・読み込み完了メッセージが表示されます。

- ⑤ [OK] ボタンをクリックします。

- ※ 動作モードが異なる一部のデータを USB メモリから読み込むことはできません。動作モードが異なるデータを読み込む場合は、すべてのデータを読み込んでください。



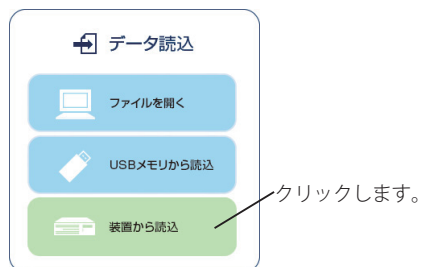
- ・メイン画面が表示されます。

- ⑥ 以降は「データを編集する」(86 ページ) を参照してデータの編集を行ってください。

3. 本体装置から読み込む

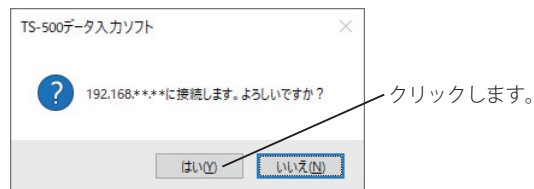
本体装置のデータをネットワークを経由して直接読み込みます。

① 初期画面の [装置から読込] ボタンをクリックします。



・接続確認メッセージが表示されます。

② 本体装置の IP アドレスとネットワークを確認して [はい] ボタンをクリックします。

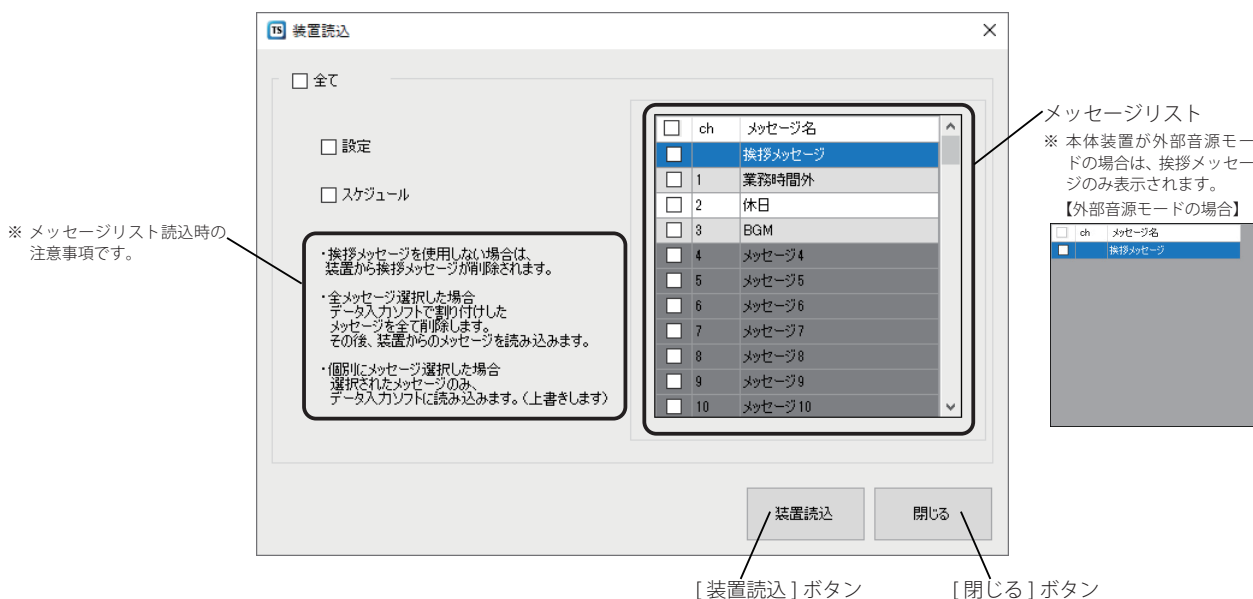


・装置読込画面が表示されます。

ワンポイント

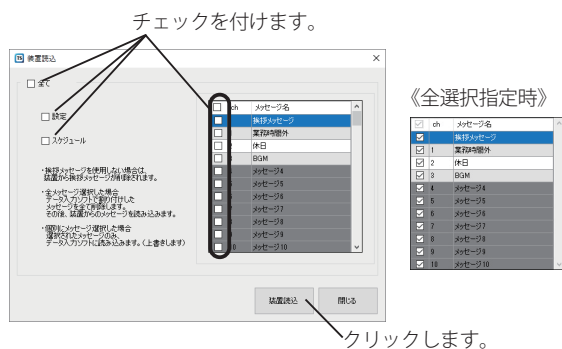
- IP アドレスを修正する場合は、接続確認メッセージで [いいえ] ボタンをクリックして、初期画面の [新規作成] ボタンから実施してください。

【装置読込画面（基本モード）】



③ 読み込むデータのチェックボックスにチェックを付けて [装置読込] ボタンをクリックします。

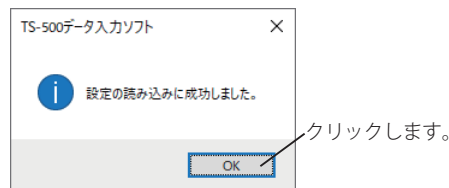
- ・メッセージリストにおいて、登録されていないメッセージにチェックを付けることはできません。但し、全選択指定時はチェックが付きま。



・読込完了メッセージが表示されます。

④ [OK] ボタンをクリックします。

- ※ 動作モードが異なる一部のデータを本体装置から読み込むことはできません。動作モードが異なるデータを読み込む場合は、すべてのデータを読み込んでください。



・メイン画面が表示されます。

⑤ 以降は「データを編集する」(86 ページ) を参照してデータの編集を行ってください。

メモ

データを編集する

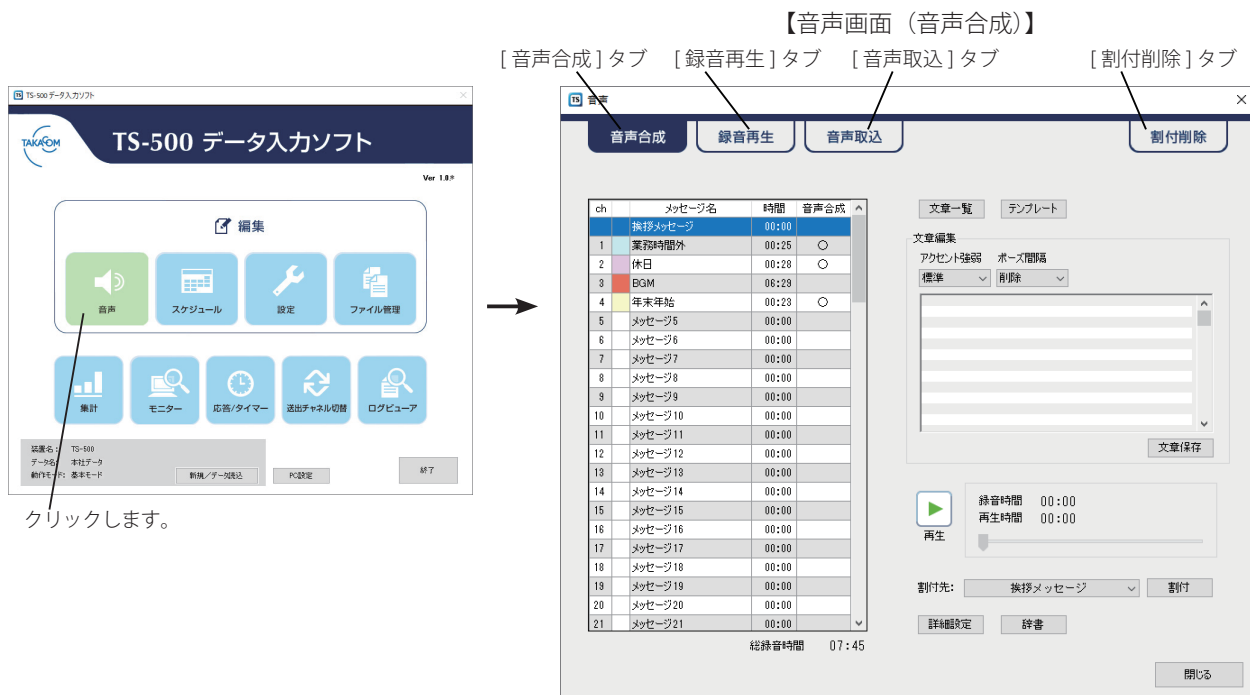
1. メッセージを編集する

挨拶メッセージや案内メッセージなどを編集します。

メッセージの編集は、音声画面の「音声合成」「録音再生」「音声取込」「割付削除」タブで行います。

■ 音声画面の呼び出し

メイン画面の「音声」ボタンをクリックします。



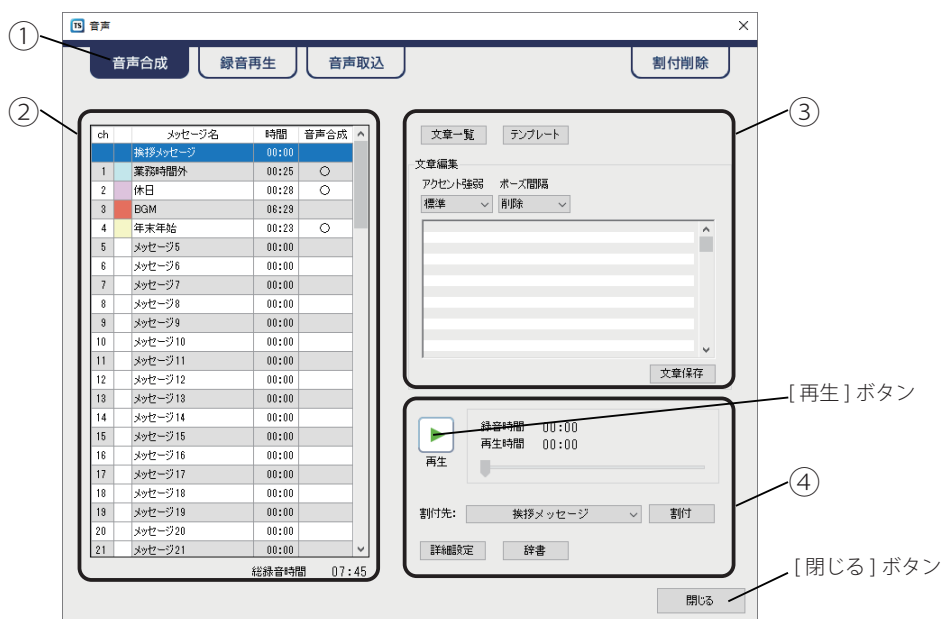
ワンポイント

- チャンネルに割り当てた各種メッセージを再生する場合は、音声画面（録音再生）の「再生」ボタンで再生できます。詳細は「録音再生手順③6」（89ページ）を参照してください。

■ 音声合成

テキストファイルなどから読み込んだ文章や、キーボードから入力した文章を音声メッセージに変換します。

【音声画面（音声合成）】



① [音声合成] タブをクリックします。

※ メイン画面から最初に開いたときは音声画面（音声合成）になっています。

② チャンネルを選択します。

1) チャンネルリストから編集対象のチャンネルを選択します。

ch	メッセージ名	時間	音声合成
	挨拶メッセージ	00:00	
1	業務時間外	00:00	
2	休日	00:00	
3	メッセージ3	00:00	
4	メッセージ4	00:00	
5	メッセージ5	00:00	

クリックします。

※ 外部音源モードの場合は、挨拶メッセージのみ選択できます。

・選択チャンネルが反転されます。

2) [メッセージ名] 入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。

・最大 10 文字まで入力できます。

ch	メッセージ名	時間	音声合成
	挨拶メッセージ	00:00	
1	業務時間外	00:00	
2	休日	00:00	
3	メッセージ3	00:00	
4	メッセージ4	00:00	
5	メッセージ5	00:00	

「メッセージ名」入力欄

・メッセージ名は割付後でも変更できます。

※ 挨拶メッセージのメッセージ名は変更できません。

ワンポイント

- すでに音声合成により割り付けているチャンネルを選択した場合、文章入力欄には割り付けられているメッセージが表示されます。

ch	メッセージ名	時間	音声合成
	挨拶メッセージ	00:00	
1	業務時間外	00:00	
2	休日	00:00	
3	メッセージ3	00:00	
4	メッセージ4	00:00	
5	メッセージ5	00:00	
6	メッセージ6	00:00	
7	メッセージ7	00:00	
8	メッセージ8	00:00	
9	メッセージ9	00:00	
10	メッセージ10	00:00	
11	メッセージ11	00:00	
12	メッセージ12	00:00	

チャンネル選択時に、音声合成によるメッセージが割り付けられている場合は、その内容を表示します。

ワンポイント

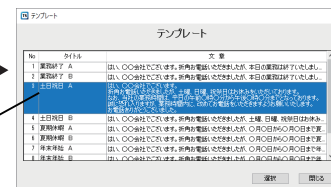
- [テンプレート] ボタンをクリックすると、文章例が表示されるため、該当の文章例を選択した後に、内容をアレンジすることができます。

クリックします。

文章一覧

テンプレート

クリックして
選択します。

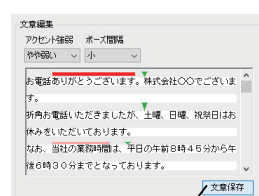


- テンプレートや文章一覧から文章を選択した場合、すでに入力されているメッセージは消去されます。

- 編集された文章を保持しておくことができます。[文章保存] ボタンをクリックして表示される文書保存画面で、タイトルを入力してください。

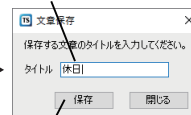
・文章は最大 100 件保存できます。

・タイトルは最大 10 文字まで入力できます。



クリックします。

タイトルを
入力します。



クリックします。

また保存された文章は、[文章一覧] ボタンをクリックして表示される一覧画面から確認できます。

クリックします。

文章一覧

テンプレート

③ メッセージを作成します。

1) 文章入力欄に音声合成で読み上げたい文章を入力します。

文章一覧 テンプレート

文章編集

アクセント強調 ポーズ間隔

標準 削除

はい、株式会社〇〇でございます。
折角お電話いただきましたが、本日の業務は終了いたしました。
当社の業務時間は、平日の午前8時45分から午後6時30分までとなっております。
誠に恐れ入りますが、業務時間内に、改めてお電話をい

文章保存

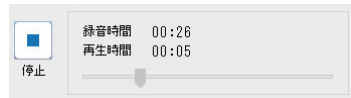
文章を入力します。
また、音声合成により作成されたメッセージが登録されているチャンネルを選択した場合、登録されている内容が記述されます。

- ・テキストファイルからのコピーペーストができます。このとき半角文字は全角文字に変換されます。
- ・割り付けられている音声の文章や、保存した文章から編集することができます。
- ・特殊文字を除く全角文字で最大 2500 文字まで入力できます。

データを編集する

④ メッセージを再生・割付します。

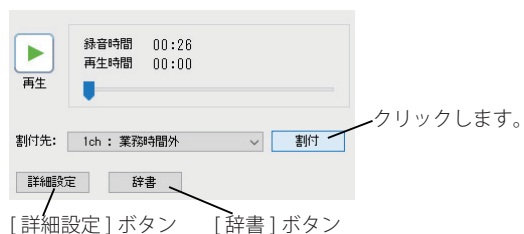
- 1) [再生] ボタンをクリックして、メッセージを再生します。
 - ・音声合成されたメッセージが再生されます。
 - ・文章を範囲選択すると、選択されている文章のみ再生します。
 - ・再生中は [再生] ボタンが [停止] ボタンに変わります。



アクセントの強弱や文字列の間のポーズ時間の調節をする場合は、「アクセント強弱やポーズ間隔の調節」(73 ページ) を参照してください。

※作成したメッセージは必ず再生して確認してください。このとき音声合成機能の仕様により、意図した再生にならないことがありますが、あらかじめご了承ください。

- 2) [割付] ボタンをクリックして、メッセージに合成された音声を割り付けます。



※[割付] ボタンをクリックしないで操作タブで画面を切り替えたり、[戻る] ボタンをクリックした場合などは、合成されたメッセージは破棄されます。

- ・メッセージ色が表示されます。（初期色：水色）このメッセージ色はスケジュールの日課パターンを設定した場合に日課パターン一覧に反映されます。日課パターン一覧については、92 ページを参照してください。
- ・チャンネルリストの「音声合成」表示欄に「○」が表示されます。



⑤ [閉じる] ボタンをクリックします。

- ・メイン画面が表示されます。
- ・各種タブに応じて、画面を切り替えることができます。
 - 【録音再生】タブ：音声画面（録音再生）
 - 【音声取込】タブ：音声画面（音声取込）
 - 【割付削除】タブ：音声画面（割付削除）

ご注意

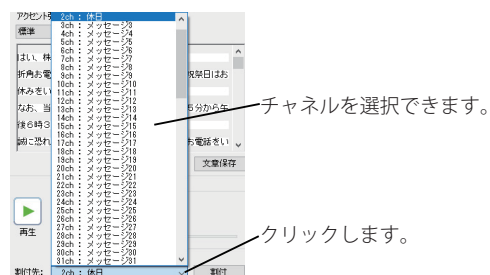
- [再生] ボタンをクリックして再生される音声は、文章入力欄に入力された文章の音声合成により変換された音声です。すでに割り付けられているメッセージを再生する場合は、「録音再生」(89 ページ) を参照してください。



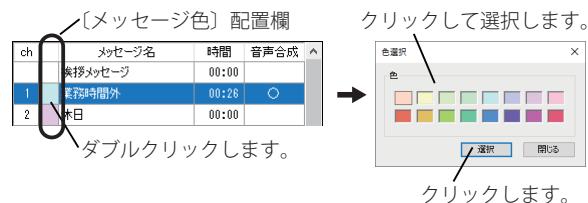
[再生] ボタンにより再生される音声は、文章入力欄の文章を音声合成により変換された音声です。すでに割り付けられているメッセージが再生されるわけではありません。

ワンポイント

- [詳細設定] ボタンをクリックすると、文章を読み上げる速度や声の大きさなどが変更できます。「音声合成詳細設定」(73 ページ) を参照してください。
- [辞書] ボタンをクリックすると、単語の読み方などをあらかじめ登録しておくことができます。「辞書登録」(74 ページ) を参照してください。
- 手順④.2)において、割り付けるチャンネルを変更することができます。割付先の [v] をクリックして表示される一覧から、チャンネルを選択してください。



- メッセージ色は変更できます。チャンネルリストのメッセージ色をダブルクリックして表示される色選択画面から指定してください。



- ・挨拶メッセージのメッセージ色は対象外です。

■ 録音再生

割り付けられているメッセージを再生したり、録音デバイスからの再生音を録音してチャンネルに割り付けます。



① [録音再生] タブをクリックします。

② チャンネルを選択します。

1) チャンネルリストから編集対象のチャンネルを選択します。

ch	メッセージ名	時間	音声合成
	挨拶メッセージ	00:00	
1	業務時間外	00:26	○
2	休日	00:31	○
3	メッセージ3	00:00	
4	メッセージ4	00:00	
5	メッセージ5	00:00	

クリックします。

・選択チャンネルが反転されます。

2) [メッセージ名] 入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。

・最大 10 文字まで入力できます。

ch	メッセージ名	時間	音声合成
	挨拶メッセージ	00:00	
1	業務時間外	00:26	○
2	休日	00:29	○
3	BGM	00:00	
4	メッセージ4	00:00	
5	メッセージ5	00:00	

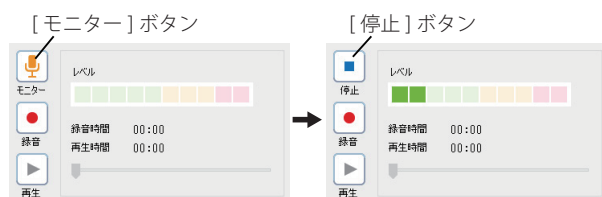
[メッセージ名] 入力欄

・メッセージ名は録音後でも変更できます。

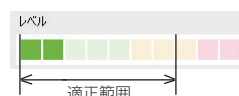
※ 挨拶メッセージのメッセージ名は変更できません。

③ メッセージを録音します。

1) 録音デバイスからの再生音を入力して、[モニター] ボタンをクリックします。



2) 録音レベルが適正範囲となるように、音源のボリュームを調節します。



3) [停止] ボタンをクリックします。

・[停止] ボタンが[モニター] ボタンに変わります。

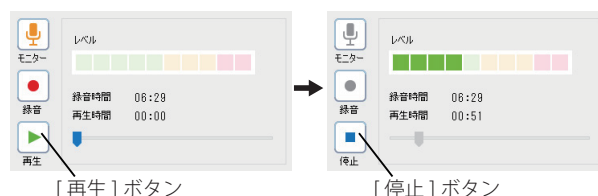
4) 再度録音デバイスから再生音を入力して、[録音] ボタンをクリックします。



5) 録音を終了する場合は、[停止] ボタンをクリックします。

・録音が終了します。

6) 録音されたメッセージを確認する場合は、[再生] ボタンをクリックします。



④ [閉じる] ボタンをクリックします。

・メイン画面が表示されます。

・各種タブに応じて、画面を切り替えることができます。

[音声合成] タブ: 音声画面 (音声合成)

[音声取込] タブ: 音声画面 (音声取込)

[割付削除] タブ: 音声画面 (割付削除)

■ 音声取込

パソコンや USB メモリから wave ファイルを読み込んでチャンネルに割り付けます。

【音声画面（音声取込）】



① [音声取込] タブをクリックします。

② チャンネルを選択します。

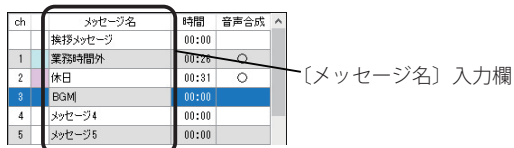
1) チャンネルリストから編集対象のチャンネルを選択します。



・選択チャンネルが反転されます。

2) [メッセージ名] 入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。

・最大 10 文字まで入力できます。

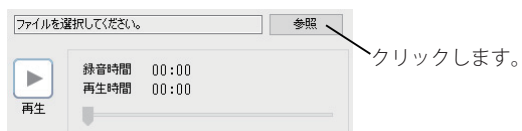


・メッセージ名は割付後でも変更できます。

※ 挨拶メッセージのメッセージ名は変更できません。

③ 取り込むファイルを選択します。

1) [参照] ボタンをクリックします。



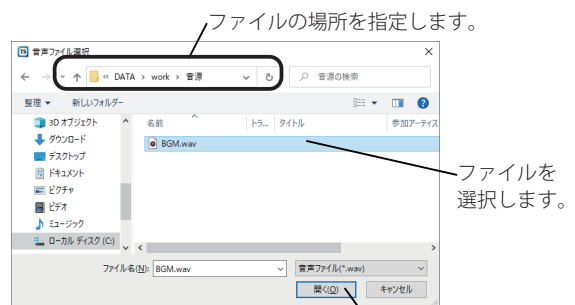
・音声ファイル選択画面が表示されます。

ワンポイント

● 本ソフトで取込可能な音声ファイルのファイル形式は以下になります。

No.	規格名	仕様
1	リニア PCM	44.1kHz/16bit ステレオ、モノラル
2	μ-law	8kHz/8bit モノラル

2) ファイルの場所とファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。



クリックします。

3) [再生] ボタンをクリックして音声を確認します。



・音声が再生されます。

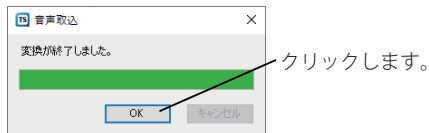
・[再生] ボタンが [停止] ボタンに変わります。

4) [割付] ボタンをクリックします。



- ・ファイル形式の変換後に変換終了メッセージが表示されます。

5) [OK] ボタンをクリックします。



- ・選択チャンネルにファイルが割り付きます。

④ [閉じる] ボタンをクリックします。

- ・メイン画面が表示されます。
- ・各種タブに応じて、画面を切り替えることができます。
[音声合成] タブ: 音声画面 (音声合成)
[録音再生] タブ: 音声画面 (録音再生)
[割付削除] タブ: 音声画面 (割付削除)

■ 割付削除

各チャンネルに割り付いているメッセージを削除します。

【音声画面 (割付削除)】



① [割付削除] タブをクリックします。

② チャンネルリストから削除対象のチャンネルを選択します。



- ・選択チャンネルが反転されます。
- ※ Ctrl キーを押しながら複数のメッセージが選択できます。

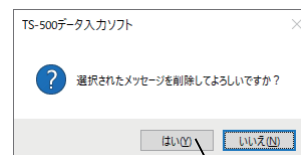
③ メッセージを削除します。

1) [再生] ボタンをクリックして、メッセージの内容を確認したあとで、[削除] ボタンをクリックします。



- ・削除確認メッセージが表示されます。

2) [はい] ボタンをクリックします。



- ・メッセージの割付が削除されます。

④ [閉じる] ボタンをクリックします。

- ・メイン画面が表示されます。
- ・各種タブに応じて、画面を切り替えることができます。
[音声合成] タブ: 音声画面 (音声合成)
[録音再生] タブ: 音声画面 (録音再生)
[音声取込] タブ: 音声画面 (音声取込)

2. スケジュールを編集する

タイマー運用時に応答する日課パターンと、その日課パターンを日付などを指定して自動的に切り替えて運用するための年間スケジュールを作成します。

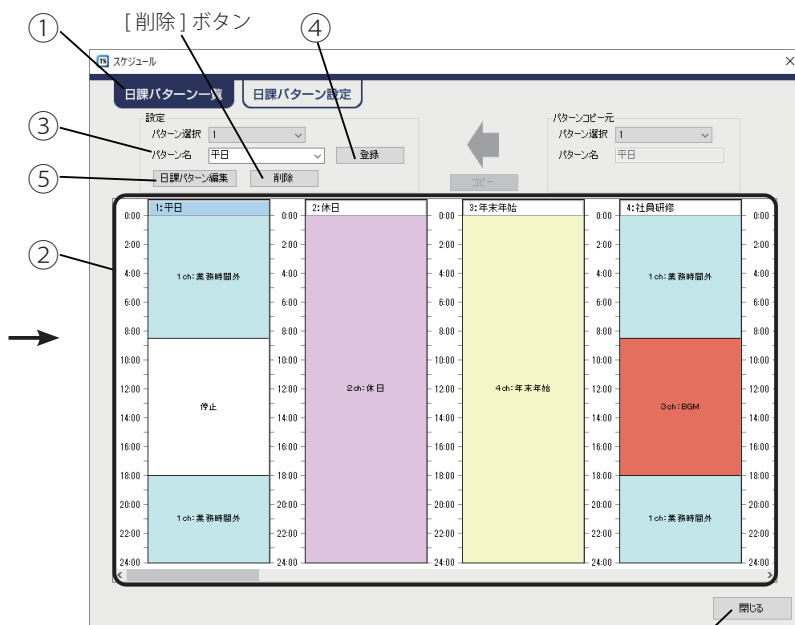
■ スケジュール画面の呼び出し

メイン画面の「スケジュール」ボタンをクリックします。



クリックします。

【スケジュール画面（日課パターン一覧）】



【閉じる】ボタン

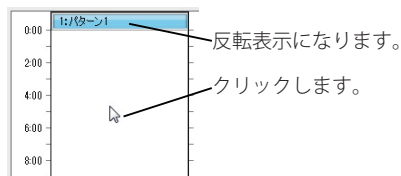
■ 日課パターン一覧

タイマー運用時に応答する日課パターンを作成します。日課パターンは最大 20 パターン作成できます。

① 「日課パターン一覧」タブをクリックします。

※メイン画面から最初に開いたときはスケジュール（日課パターン一覧）画面になっています。

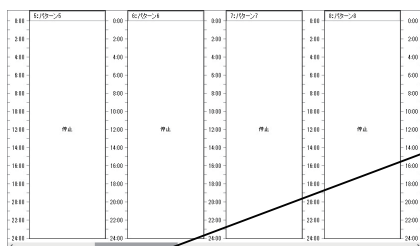
② 日課パターンリストにおいて、設定対象となるパターンをクリックして選択します。



反転表示になります。

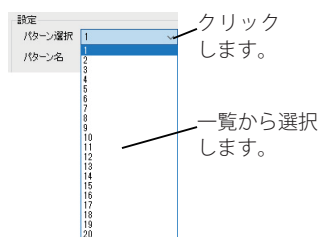
クリックします。

- ・パターン名が反転表示になります。
- ・日課パターンリストのスクロールバーをスクロールして、未表示のパターンが確認できます。



左右にスクロールして、未表示のパターンが選択できます。

- ・パターン選択の「[v]」をクリックして表示されるパターン一覧から選択できます。

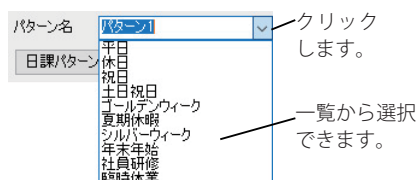


クリックします。

一覧から選択します。

③ キーボードからパターン名を入力します。

- ・パターン名の「[v]」をクリックして表示されるパターン名一覧から選択できます。



クリックします。

一覧から選択できます。

④ 「登録」ボタンをクリックします。

- ・パターン名が登録されます。
- ※「登録」ボタンをクリックするまで、編集中的内容は登録されません。

⑤ 「日課パターン編集」ボタンをクリックします。

- ・日課パターン編集画面が表示されます。
- 次ページを参照してください。

⑥ 別の日課パターンを設定する場合は、手順②～⑤を繰り返します。

⑦ [閉じる] ボタンをクリックします。

・メイン画面が表示されます。



ワンポイント

● 手順④で[削除] ボタンをクリックすると、日課パターンが削除されます。

※ 削除確認画面で[はい] ボタンをクリックします。

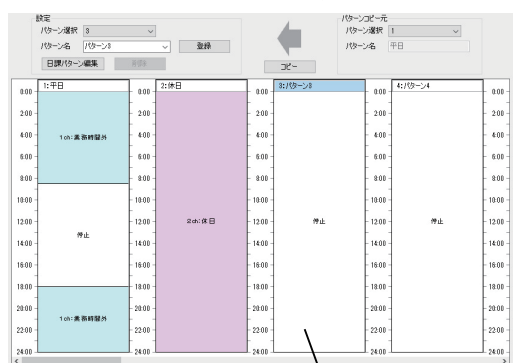
日課パターンをコピーする

すでに作成してある日課パターンをコピーして、類似の日課パターンを作成することができます。

(例) パターン 2 をパターン 3 にコピーする

【方法 1】

1. コピー先の日課パターンを選択します。



クリックして選択します。

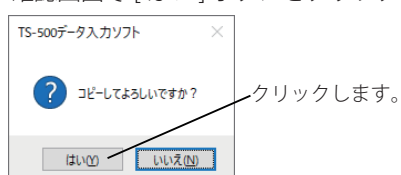
2. パターンコピー元のパターン選択の[v]をクリックして表示される一覧から、コピー元のパターンを選択して、[コピー] ボタンをクリックします。

クリックして選択します。

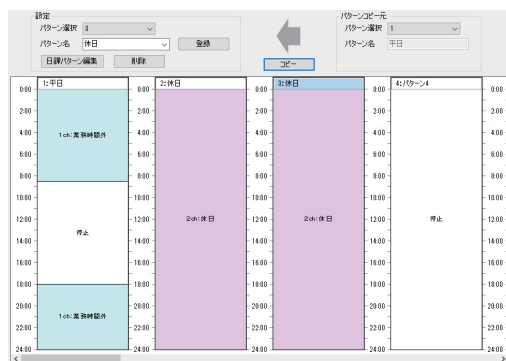


クリックします。

3. 確認画面で[はい] ボタンをクリックします。



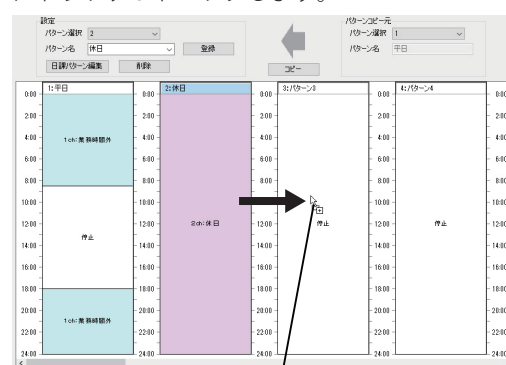
・コピー元の内容がコピー先に反映されます。



4. 前ページの手順③以降を実施します。

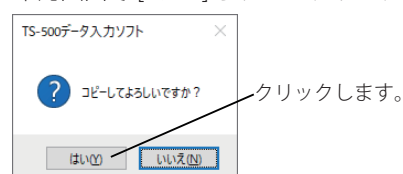
【方法 2】

1. コピー元の日課パターンをコピー先の日課パターンにドラッグ&ドロップします。

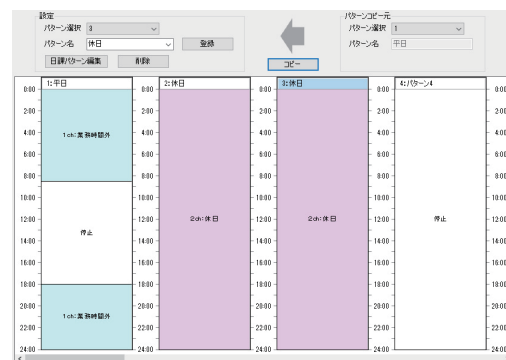


ドラッグ&ドロップします。

2. 確認画面で[はい] ボタンをクリックします。



・コピー元の内容がコピー先に反映されます。

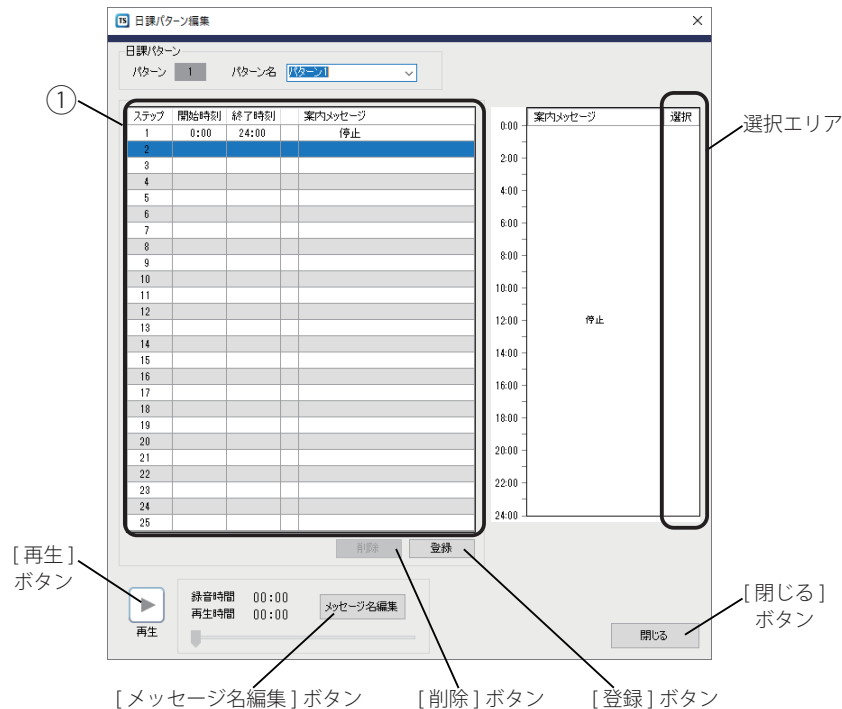


3. 前ページの手順③以降を実施します。

■ 日課パターン編集

日課パターンごとの動作ステップを作成します。0:00 から 24:00 までで最大 25 ステップの設定ができます。

【日課パターン編集画面】



① 動作ステップの開始時刻、終了時刻、案内メッセージを設定します。

1) 開始時刻、終了時刻をクリックして、キーボードから時刻を設定します。

ステップ	開始時刻	終了時刻	案内メッセージ
1	0:00	24:00	停止
2	18:00	24:00	
3			
4			
5			

クリックして時刻を入力します。

・時間と分の間のコロン (:) は省略できます。

2) 案内メッセージ欄の [▼] をクリックして表示される一覧から、使用するチャンネルを選択します。

ステップ	開始時刻	終了時刻	案内メッセージ
1	0:00	24:00	停止
2	18:00	24:00	
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			

クリックします。

ステップに使用するチャンネルを選択します。

※ 外部音源モードの場合、チャンネルは選択できません。

案内メッセージ
停止
外部音源
外部音源

② [登録] ボタンをクリックします。

ステップ	開始時刻	終了時刻	案内メッセージ
1	0:00	24:00	停止
2	18:00	24:00	1ch: メッセージ1
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

クリックします。

・ステップリストに登録されます。

ステップ	開始時刻	終了時刻	案内メッセージ
1	0:00	18:00	停止
2	18:00	24:00	1ch: メッセージ1
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

③ 別のステップを設定する場合は、手順①、②を繰り返します。

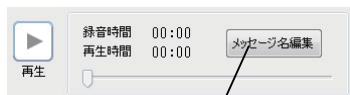
④ [閉じる] ボタンをクリックします。

・日課パターン一覧画面が表示されます。

メッセージ名を編集する

動作モードが基本モードの場合、日課パターン編集画面からメッセージ名が編集できます。

1. [メッセージ名編集] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・メッセージ名編集画面が表示されます。

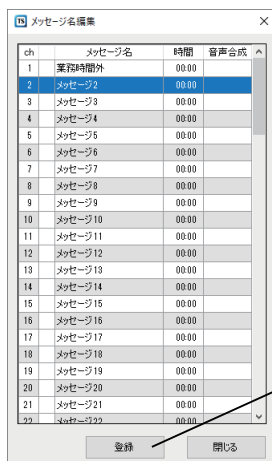
2. [メッセージ名] 入力欄をダブルクリックしてメッセージ名を入力します。

- ・最大 10 文字まで入力できます。



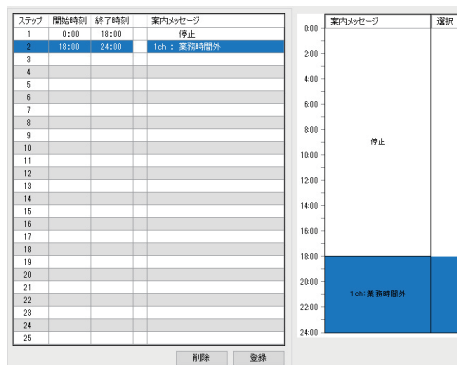
「メッセージ名」入力欄

3. [登録] ボタンをクリックします。



クリック
します。

- ・ステップリストに反映されます。



※ [登録] ボタンをクリックするまで、編集中的の内容は登録されません。

動作ステップを削除する

動作ステップを削除する場合は、削除する動作ステップを選択して、[削除] ボタンをクリックします。

ステップ	開始時刻	終了時刻	案内メッセージ
1	0:00	0:30	1ch: 業務時間外
2	0:30	18:00	3ch: 昼間
3	18:00	24:00	1ch: 業務時間外
4			

削除する動作ステップを選択します。



クリックします。

※ 削除確認画面で「はい」
ボタンをクリックします。

ワンポイント

- 開始時間と終了時間は、選択エリアの開始位置を指定し、終了位置までドラッグして設定できます。

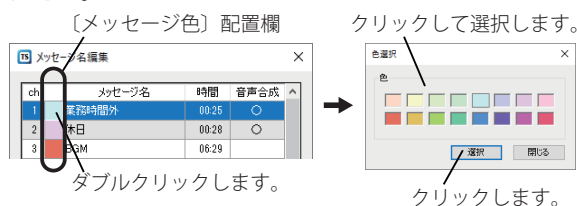


ステップリスト

- ドラッグにより設定できる時間は 10 分単位です。10 分未満のステップは、ステップリストから設定してください。
- 開始ステップの開始時刻は 0:00 で、最終ステップの終了時刻は 24:00 となります。
- 動作モードが基本モードの場合で、選択したメッセージに音源が登録されている場合は、メッセージを再生して録音内容が確認できます。手順①(2) でメッセージを選択したあとで、[再生] ボタンをクリックします。



- メッセージ名編集画面において、メッセージ色の変更ができます。画面の「メッセージ色」配置欄をダブルクリックして、表示される色選択画面から指定してください。



- ・挨拶メッセージのメッセージ色は対象外です。

■ 日課パターン設定

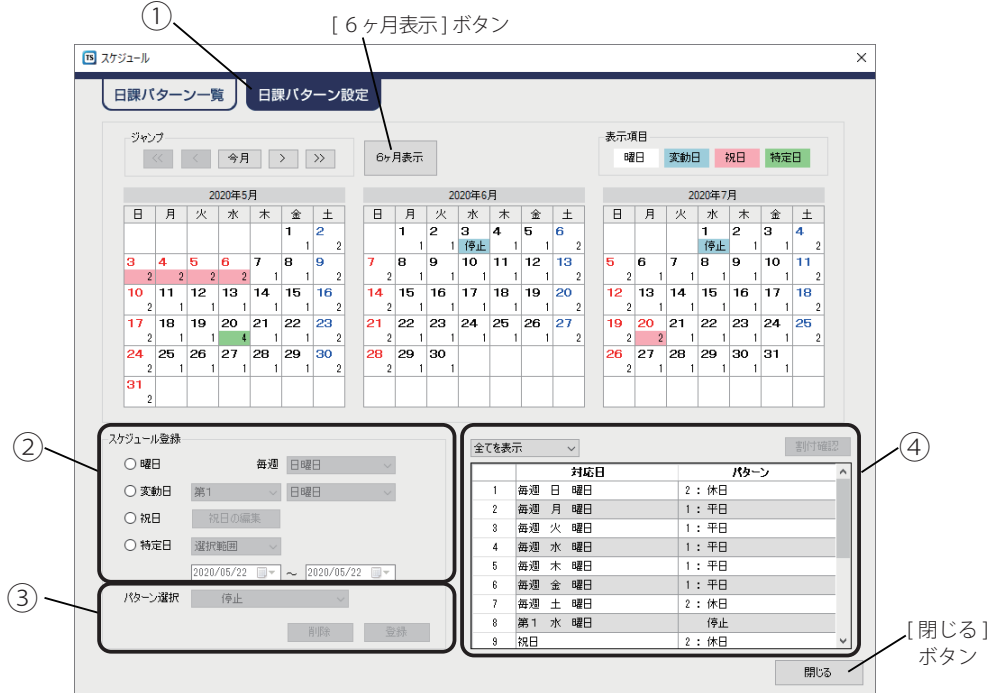
タイマー運用において、日付などを指定して自動的に切り替えて運用するための年間スケジュールを作成します。
スケジュールには、「曜日」、「変動日」、「祝日」、「特定日」の4種類があり、各スケジュールが同じ日に重なった場合の優先順位は「特定日（範囲選択）」が最も高く、以下「特定日（毎年）」、「特定日（毎月）」、「祝日」、「変動日」、「曜日」の順です。
また、登録した年間タイマーの有効期間は、登録した年を含め最大15年です。

（例1）2020/6/20に登録した場合 ⇒ 有効期限：2035/ 5/31（有効期間：14年と346日）

（例2）2021/1/1に登録した場合 ⇒ 有効期限：2035/12/31（有効期間：15年）

そのため、**有効期間内に本体装置に年間タイマーを再登録してください。**

【スケジュール一覧画面（グループなし）】



① [日課パターン設定] タブをクリックします。

② 登録するスケジュールのオプションボタンをクリックして選択します。

- ・特定日の場合は、「選択範囲」「毎年」「毎月」から選択できます。
- ・特定日の「選択範囲」は連続して最大1か月の期間で設定できます。

オプションボタンをクリックします。



・特定日はカレンダーから設定できます。



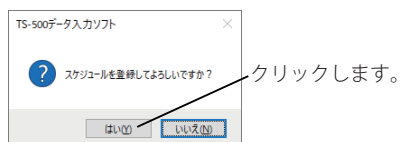
③ パターンを登録します。

1) [v]をクリックして適用するパターンを選択して、[登録]ボタンをクリックします。



・確認画面が表示されます。

2) [はい] ボタンをクリックします。



④ 登録した対応日とパターンを確認します。

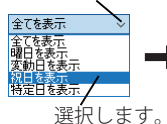
全てを表示

	対応日	パターン
1	毎週 日 曜日	2：休日
2	毎週 月 曜日	1：平日
3	毎週 火 曜日	1：平日
4	毎週 水 曜日	1：平日
5	毎週 木 曜日	1：平日
6	毎週 金 曜日	1：平日
7	毎週 土 曜日	2：休日
8	祝日	3：休日

登録内容を確認します。

- 表示される内容を絞り込むことができます。

クリックします。



選択します。

祝日を表示

	対応日	パターン
1	祝日	3：休日

⑤ 別の日課パターンを登録する場合は、手順②～④を繰り返し実施します。

⑥ [閉じる] ボタンをクリックします。

- メイン画面が表示されます。

日課パターンを確認する

登録されている日課パターンを確認する場合は、確認する日課パターンを選択して、[割付確認] ボタンをクリックします。

確認する日課パターンを選択します。

[割付確認] ボタン

全てを表示

	対応日	パターン
1	毎週 日 曜日	2：休日
2	毎週 月 曜日	1：平日
3	毎週 火 曜日	1：平日
4	毎週 水 曜日	1：平日
5	毎週 木 曜日	1：平日
6	毎週 金 曜日	1：平日
7	毎週 土 曜日	2：休日
8	第1 水 曜日	停止
9	祝日	2：休日

※ 割付確認画面が表示されます。

割付確認

スケジュール 毎週月曜日 パターン 1：平日

	日付	曜日	パターン	備考
1	2020/7/6	月	1：平日	毎週月曜日
2	2020/7/13	月	1：平日	毎週月曜日
3	2020/7/20	月	2：休日	海の日
4	2020/7/27	月	1：平日	毎週月曜日
5	2020/8/3	月	1：平日	毎週月曜日
6	2020/8/10	月	1：平日	毎週月曜日
7	2020/8/17	月	1：平日	毎週月曜日
8	2020/8/24	月	1：平日	毎週月曜日
9	2020/8/31	月	1：平日	毎週月曜日
10	2020/9/7	月	1：平日	毎週月曜日
11	2020/9/14	月	1：平日	毎週月曜日
12	2020/9/21	月	2：休日	敬老の日
13	2020/9/28	月	1：平日	毎週月曜日
14	2020/10/5	月	1：平日	毎週月曜日
15	2020/10/12	月	2：休日	スポーツの日
16	2020/10/19	月	1：平日	毎週月曜日
17	2020/10/26	月	1：平日	毎週月曜日
18	2020/11/2	月	1：平日	毎週月曜日
19	2020/11/9	月	1：平日	毎週月曜日
20	2020/11/16	月	1：平日	毎週月曜日
21	2020/11/23	月	2：休日	勤労感謝の日

表示項目 曜日 出勤日 祝日 特定日

※タイトル行をクリックすると、その項目で並び替えができます。

並び替え解除 閉じる

● 割付確認画面の各表示項目をクリックすると、その項目で並べ替え（ソート）を行います。

タイトルをクリックすると、その表示項目で並べ替え（ソート）ができます。

割付確認

スケジュール 毎週月曜日 パターン 1：平日

	日付	曜日	パターン	備考
1	2035/6/25	月	1：平日	毎週月曜日
2	2035/6/18	月	1：平日	毎週月曜日
3	2035/6/11	月	1：平日	毎週月曜日
4	2035/6/4	月	1：平日	毎週月曜日
5	2035/5/28	月	1：平日	毎週月曜日
6	2035/5/21	月	1：平日	毎週月曜日
7	2035/5/14	月	1：平日	毎週月曜日
8	2035/5/7	月	1：平日	毎週月曜日
9	2035/4/30	月	2：休日	振替休日
10	2035/4/23	月	1：平日	毎週月曜日
11	2035/4/16	月	1：平日	毎週月曜日
12	2035/4/9	月	1：平日	毎週月曜日
13	2035/4/2	月	1：平日	毎週月曜日
14	2035/3/26	月	1：平日	毎週月曜日
15	2035/3/19	月	1：平日	毎週月曜日
16	2035/3/12	月	1：平日	毎週月曜日
17	2035/3/5	月	1：平日	毎週月曜日
18	2035/2/26	月	1：平日	毎週月曜日
19	2035/2/19	月	1：平日	毎週月曜日
20	2035/2/12	月	2：休日	振替休日
21	2035/2/5	月	1：平日	毎週月曜日

表示項目 曜日 出勤日 祝日 特定日

※タイトル行をクリックすると、その項目で並び替えができます。

並び替え解除 閉じる

並び替え（ソート）を解除するときにクリックします。

日課パターンを削除する

登録されている日課パターンを削除する場合は、削除する日課パターンを選択して、[削除] ボタンをクリックします。

クリックします。 削除する日課パターンを選択します。

※ 削除確認画面で [はい] ボタンをクリックします。

ワンポイント

- [6ヶ月表示] ボタンをクリックすると、6ヶ月間のカレンダーが表示されます。[閉じる] ボタンをクリックすると画面が消えます。

- スケジュールが登録されているカレンダーの日にちやパターンをダブルクリックすると日課パターン編集画面が表示されます。

ダブルクリックすると、
日課パターン編集画面が
表示されます。

- 特定日で登録したスケジュールは、時間が経過してもデータとして保持されます。また特定日のパターンで使用していたメッセージを削除した場合、スケジュールデータを装置書込みできない場合があります。

祝日の編集

祝日が増えたり、日付が変更になったときなどに祝日を編集します。

- ① [祝日] オプションをクリックして、[祝日の編集] ボタンをクリックします。

クリックします。 クリックします。

[削除] ボタン

[登録] ボタン

- ・ 祝日の編集画面が表示されます。

- ② 祝日を追加・変更して、[登録] ボタンをクリックします。

- ・ 祝日の編集画面が更新されます。
- ・ 祝日を削除する場合は、[削除] ボタンをクリックして表示される削除確認画面で、[はい] ボタンをクリックします。

- ③ [閉じる] ボタンをクリックします。

[工場出荷時に戻す]
ボタン

[初期値として登録]
ボタン

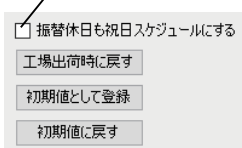
[初期値に戻す]
ボタン

クリックします。

ワンポイント

- 特定の祝日（春分の日、秋分の日、国民の休日）は、削除すると再登録できません。
- 編集した内容を破棄して、工場出荷時の内容に戻す場合は、[工場出荷時に戻す] ボタンをクリックしてください。
- 編集した内容を初期値として登録する場合は、[初期値として登録] ボタンをクリックしてください。
- 編集した内容を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す] ボタンをクリックしてください。
- 振替休日を祝日スケジュールで運用しない場合は、「振替休日を祝日スケジュールにする」のチェックを外してください。

クリックしてチェックを外します。



3. 装置情報や回線情報を編集する

■ 設定画面の呼び出し

メイン画面の「設定」ボタンをクリックします。



クリックします。

【設定画面（初期設定）】



〔登録〕ボタン

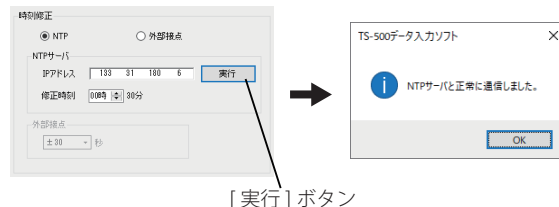
〔閉じる〕ボタン

■ 基本情報

- ① [初期設定] タブをクリックします。
※ メイン画面から最初に開いたときは設定画面（初期設定）になっています。
- ② 回線保留時間を入力します。
・初期値：30 分、設定範囲：1～360 分（1分刻み）、無制限
- ③ 応答解除したときに、メッセージの区切りで回線を開放するかどうかの強制切断の有無を設定します。
※ 外部音源モードの場合は対象外です。
・初期値：しない
- ④ メッセージを最大何回送出するかの送出回数を設定します。
※ 外部音源モードの場合は対象外です。
・初期値：1 回、設定範囲：1～9 回、無制限
- ⑤ 挨拶メッセージを使用するかどうかを設定します。
・初期値：使用しない
- ⑥ 本装置への総着信件数や全回線話中時間などの集計データの収集有無を設定します。
・初期値：しない（時集計）／する（日集計・週集計・月集計）
- ⑦ 着信データの上書きの有無を設定します。
・初期値：する
- ⑧ 本体装置の時刻修正の方法を設定します。
・初期値：外部接続
【外部接続の場合】
修正時刻範囲を設定してください。
・初期値：± 30 秒、設定範囲：± 30 秒、± 10 秒

【NTP の場合】

- 1) IP アドレスを設定してください。
・初期値：空白
 - 2) 修正時刻を設定してください。
・初期値：00 時 30 分
・設定範囲：00 時～23 時（毎時 30 分固定）
- ※ NTP の場合、[実行] ボタンをクリックすると、有効な NTP サーバの判断ができます。



〔実行〕ボタン

ワンポイント

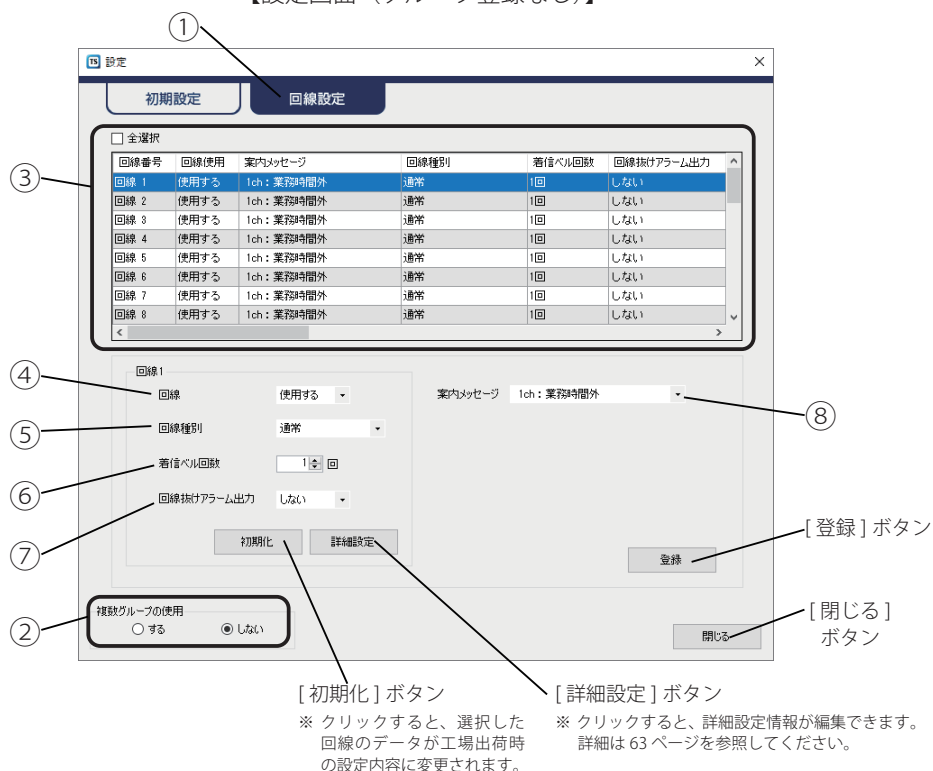
- NTP サーバの有効判断は、本体装置を經由して行います。本体装置とネットワーク接続されているか確認してください。また有効な NTP サーバと判断した場合は、その時点で時刻修正を実施します。

- ⑨ アラーム状態になったときに SNMP トラップ出力の有無が設定できます。トラップ出力する場合、「送信先 IP アドレス」、「トラップポート番号」（初期値：162）、「SNMP コミュニティ名」（初期値：public）を設定してください。
・初期値：しない
- ⑩ [登録] ボタンをクリックします。
※ [登録] ボタンをクリックするまで、編集集中の内容は登録されません。
- ⑪ [閉じる] ボタンをクリックします。
・メイン画面が表示されます。

■ 回線情報

● 基本モード（グループ登録なし）

【設定画面（グループ登録なし）】



ワンポイント

- 回線リストのスクロールバーをスクロールして、詳細設定情報が確認できます。

回線番号	ファイル	話中音周波数出力方法	話中音利用伝送路	話中音検出周波数	リバーブ検出	話中音検出
回線 1	1秒間隔	400	400Hz	する	する	する
回線 2	1秒間隔	400	400Hz	する	する	する
回線 3	1秒間隔	400	400Hz	する	する	する
回線 4	1秒間隔	400	400Hz	する	する	する
回線 5	1秒間隔	400	400Hz	する	する	する
回線 6	1秒間隔	400	400Hz	する	する	する
回線 7	1秒間隔	400	400Hz	する	する	する
回線 8	1秒間隔	400	400Hz	する	する	する

左右にスクロールして、詳細設定情報が確認できます。

ワンポイント

- 編集中の回線情報を登録する前に、詳細設定情報を登録すると、編集中の回線情報の内容は破棄されます。詳細設定情報を編集する前に、必ず [登録] ボタンをクリックしてください。

● 基本モード（グループ登録あり）

【設定画面（グループ登録あり）】

① 設定

② 複数グループの使用 ☒ する ☐ しない

③ 回線設定

④ 回線1

⑤ 回線

⑥ 着信ベル回数

⑦ 回線抜けアラーム出力

⑧ グループ番号

⑨ グループ名

⑩ 案内メッセージ

⑪ 登録

[初期化] ボタン
※ クリックすると、選択した回線のデータが工場出荷時の設定内容に変更されます。

[詳細設定] ボタン
※ クリックすると、詳細設定情報が編集できます。詳細は 63 ページを参照してください。

[登録] ボタン

[回線グループ確認] ボタン

[閉じる] ボタン

① [回線設定] タブをクリックします。

② 複数グループの使用におけるオプションボタンは“する”を選択します。

③ 回線リストにおいて、設定対象となる回線を選択します。

- ・Ctrl キーを押しながら複数の回線を選択することができます。
- ・対象回線が反転表示になります。
- ・「全選択」のチェックボックスにチェックがあると、32 回線すべてが反転表示になります。

チェックを付ける

回線番号	回線使用	グループ番号:グループ名	案内メッセージ	回線種別	着信
回線 1	使用する	1: 総務部	10ch: 案内メッセージ1	通常	1回
回線 2	使用する	2: コールセンター	20ch: 案内メッセージ2	通常	1回
回線 3	使用する	3: 営業部	30ch: 案内メッセージ3	通常	1回
回線 4	使用する			通常	1回
回線 5	使用する			通常	1回
回線 6	使用する			通常	1回
回線 7	使用する			通常	1回
回線 8	使用する			通常	1回

⑧ 対象の回線が所属するグループ番号を設定します。

・初期値: 1、設定範囲: 1 ~ 10

⑨ グループ番号に対するグループ名を設定します。

・初期値: グループ xx (xx: グループ番号)

⑩ 回線に送出する案内メッセージを設定します。

・初期値: 1ch、設定範囲: 1 ~ 99ch (基本モード)

⑪ [登録] ボタンをクリックします。

※ [登録] ボタンをクリックするまで、編集中の内容は登録されません。

⑫ 別の回線を設定する場合は、手順③~⑪を繰り返します。

⑬ [閉じる] ボタンをクリックします。

・メイン画面が表示されます。

ワンポイント

● 回線リストのスクロールバーをスクロールして、詳細設定情報が確認できます。

回線番号	グループ	回線使用	グループ番号:グループ名	案内メッセージ	回線種別	着信
回線 1	1	使用する	1: 総務部	10ch: 案内メッセージ1	通常	1回
回線 2	2	使用する	2: コールセンター	20ch: 案内メッセージ2	通常	1回
回線 3	3	使用する	3: 営業部	30ch: 案内メッセージ3	通常	1回
回線 4	4	使用する			通常	1回
回線 5	5	使用する			通常	1回
回線 6	6	使用する			通常	1回
回線 7	7	使用する			通常	1回
回線 8	8	使用する			通常	1回

左右にスクロールして、詳細設定情報が確認できます。

④ 対象の回線を使用するかどうかを設定します。

・初期値: 使用する

⑤ 対象の回線の種別を設定します。

・初期値: 通常
・設定範囲: 通常 / ナンバーディスプレイ / テレドーム / トーク

⑥ 回線に応答する着信ベルの回数を設定します。

・初期値: 1 回、設定範囲: 1 ~ 9 回

⑦ 回線抜けアラーム出力をするかどうかを設定します。

・初期値: しない

ワンポイント

● [回線グループ確認] ボタンをクリックすると、グループに設定されている回線番号が確認できます。

グループ番号	グループ名	回線数	案内メッセージ	回線番号	グループ番号
1	総務部	10	10ch: 案内メッセージ1	1	1
2	コールセンター	20	20ch: 案内メッセージ2	2	2
3	営業部	30	30ch: 案内メッセージ3	3	3
4	グループ4	0	40ch: 案内メッセージ4	4	1
5	グループ5	0	50ch: 案内メッセージ5	5	1
6	グループ6	0	60ch: 案内メッセージ6	6	1
7	グループ7	0	70ch: 案内メッセージ7	7	1
8	グループ8	0	80ch: 案内メッセージ8	8	1
9	グループ9	0	90ch: 案内メッセージ9	9	1
10	グループ10	0	100ch: 案内メッセージ10	10	1

クリックします。

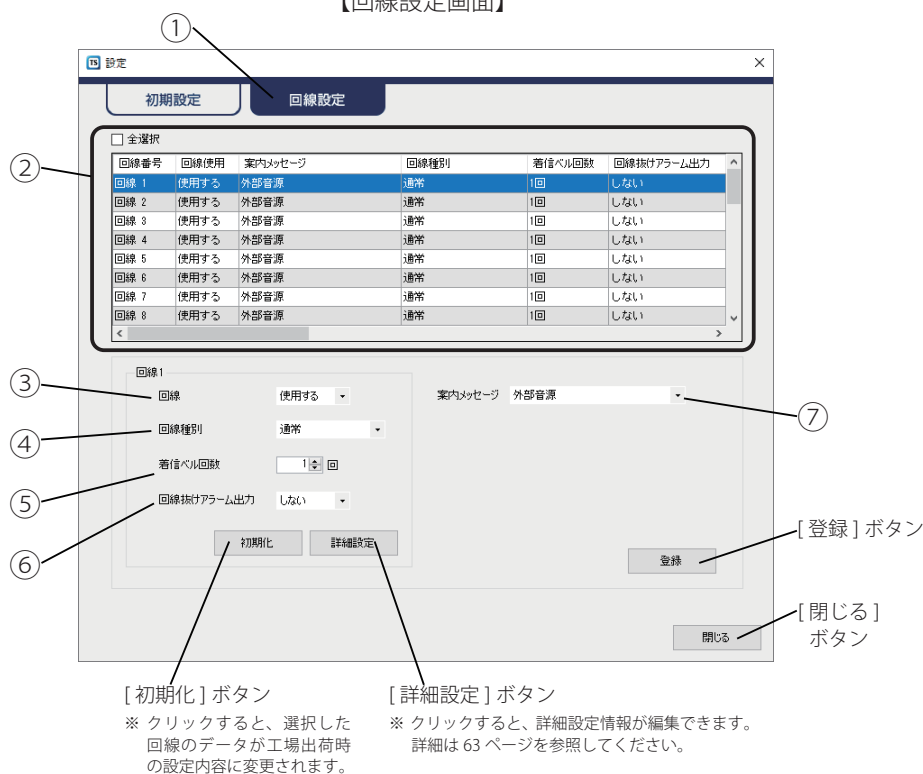
設定されている回線番号が反転します。
※ 未使用回線は、グループ番号が「0」で表示されます。

回線数が「0」のグループは未使用のグループです。

● 編集中の回線情報を登録する前に、詳細設定情報を登録すると、編集中の回線情報の内容は破棄されます。詳細設定情報を編集する前に、必ず [登録] ボタンをクリックしてください。

● 外部音源モード

【回線設定画面】



① [回線設定] タブをクリックします。

② 回線リストにおいて、設定対象となる回線を選択します。

- ・Ctrl キーを押しながら複数の回線を選択することができます。
- ・対象回線が反転表示になります。
- ・「全選択」のチェックボックスにチェックがあると、32 回線すべてが反転表示になります。

チェックを付けると 32 回線が対象になります。

回線番号	回線使用	案内メッセージ	回線種別	着信ベル回線	回線抜けアラーム出力
回線 1	使用する	外部音源	通常	1回	しない
回線 2	使用する	外部音源	通常	1回	しない
回線 3	使用する	外部音源	通常	1回	しない
回線 4	使用する	外部音源	通常	1回	しない
回線 5	使用する	外部音源	通常	1回	しない
回線 6	使用する	外部音源	通常	1回	しない
回線 7	使用する	外部音源	通常	1回	しない
回線 8	使用する	外部音源	通常	1回	しない

⑥ 回線抜けアラーム出力をするかどうかを設定します。

・初期値：しない

⑦ 回線に送出する案内メッセージを設定します。

・初期値：外部音源（固定）

⑧ [登録] ボタンをクリックします。

※ [登録] ボタンをクリックするまで、編集中の内容は登録されません。

⑨ 別の回線を設定する場合は、手順②～⑧を繰り返します。

⑩ [閉じる] ボタンをクリックします。

・メイン画面が表示されます。

ワンポイント

- 回線リストのスクロールバーをスクロールして、詳細設定情報が確認できます。

回線番号	タイプ	話中音源出力方法	話中音源出力周波数	話中音源出力周波数	リバーブ出力	話中音源出力
回線 1	1秒間隔	400	400Hz	する	する	
回線 2	1秒間隔	400	400Hz	する	する	
回線 3	1秒間隔	400	400Hz	する	する	
回線 4	1秒間隔	400	400Hz	する	する	
回線 5	1秒間隔	400	400Hz	する	する	
回線 6	1秒間隔	400	400Hz	する	する	
回線 7	1秒間隔	400	400Hz	する	する	
回線 8	1秒間隔	400	400Hz	する	する	

左右にスクロールして、詳細設定情報が確認できます。

ワンポイント

- 編集中の回線情報を登録する前に、詳細設定情報を登録すると、編集中の回線情報の内容は破棄されます。詳細設定情報を編集する前に、必ず [登録] ボタンをクリックしてください。

③ 対象の回線を使用するかどうかを設定します。

・初期値：使用する

④ 対象の回線の種別を設定します。

・初期値：通常
・設定範囲：通常／ナンバーディスプレイ／テレドーム／トーク

⑤ 回線に応答する着信ベルの回数を設定します。

・初期値：1 回、設定範囲：1 ～ 9 回

4. ファイルを保存する

作成した応答メッセージや年間タイマーなどのデータを、USB メモリや本体装置に書き込みます。また、制御用パソコンのハードディスクなどにも保存できます。ファイルの保存は、ファイル管理画面の [USB メモリ書き込み] [装置書き込み] [ファイル保存] ボタンで行います。

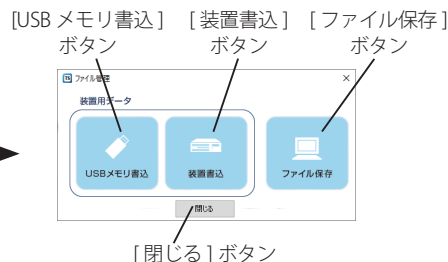
■ ファイル管理画面の呼び出し

メイン画面の [ファイル管理] ボタンをクリックします。



クリックします。

【ファイル管理画面】



4-1. 装置情報を書き込む

■ USB メモリに書き込む

作成したデータを、添付の USB メモリなどに書き込みます。

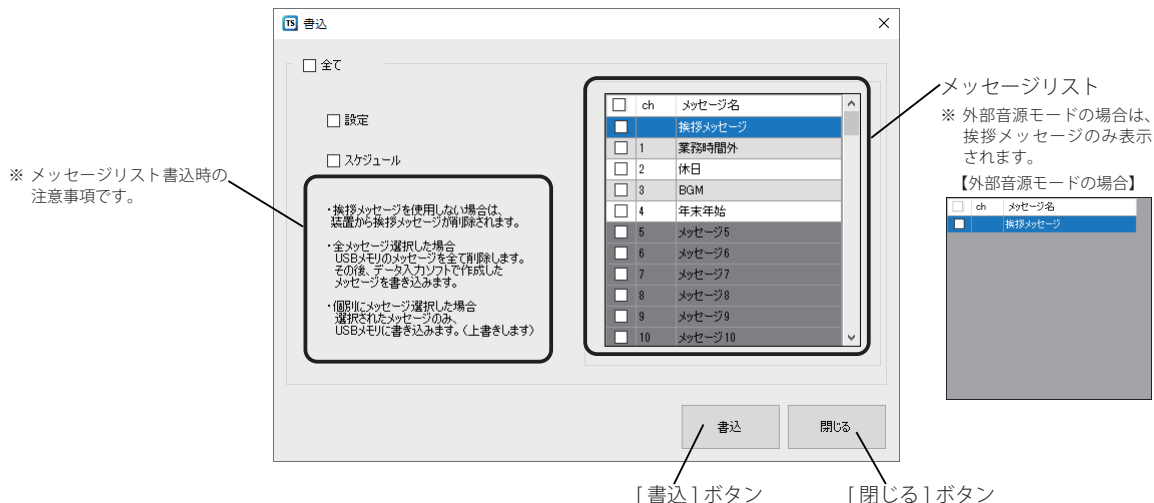
- ① 制御用パソコンの USB コネクタに USB メモリを接続します。
- ② ファイル管理画面の [USB メモリ書き込み] ボタンをクリックします。



クリックします。

・ 書込画面が表示されます。

【書込画面 (基本モード)】



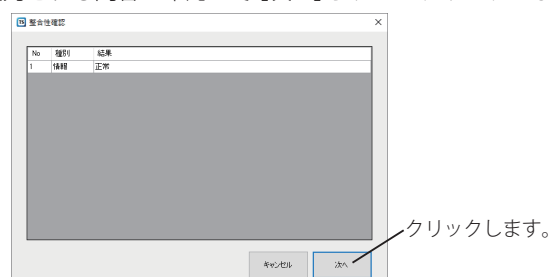
- ③ 保存するデータのチェックボックスにチェックを付けて [書込] ボタンをクリックします。

- メッセージリストにおいて、登録されていないメッセージにチェックを付けることはできません。但し、全選択指定時はチェックが付きま。



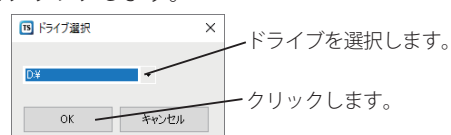
- 整合性確認画面が表示されます。

- ④ 出力される内容を確認して [次へ] ボタンをクリックします。



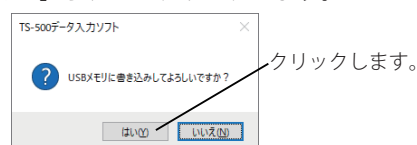
- ドライブ選択画面が表示されます。

- ⑤ USB メモリをセットしたドライブを選択して [OK] ボタンをクリックします。



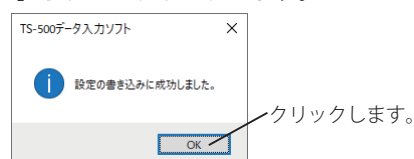
- 書込確認メッセージが表示されます。

- ⑥ [はい] ボタンをクリックします。



- USB メモリにデータの書き込みが開始されます。
- データの書き込み完了後にメッセージが表示されます。

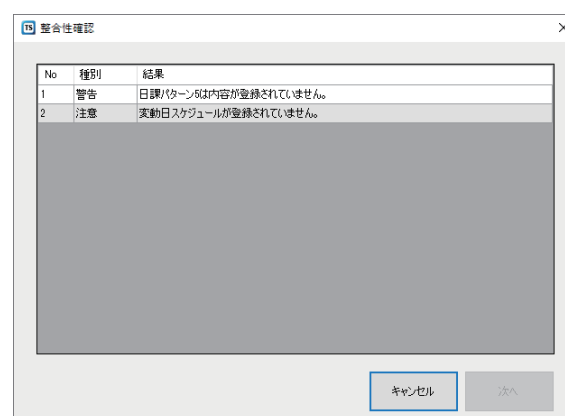
- ⑦ [OK] ボタンをクリックします。



整合性確認について

作成したデータの整合性をチェックして判定結果が一覧として表示されます。

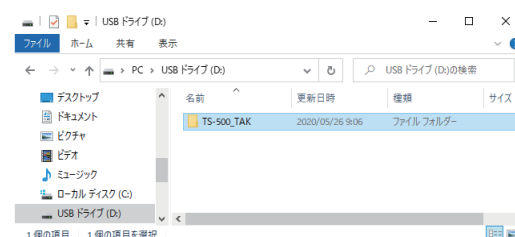
判定種別には次の2種類があります。



- 警告: この表示があるときは、警告内容が解決するまで処理を継続することができません。
[キャンセル] ボタンで処理を中断して、データを確認・修正してください。
- 注意: 運用上に問題がないか確認してください。問題がない場合は、「次へ」ボタンをクリックすると、処理を継続します。

ワンポイント

- IP アドレスとポート番号は USB メモリには書き込まれません。
- USB メモリには「TS-500_TAK」フォルダ配下に装置用データが保存されます。このフォルダ名は変更しないでください。



STOP お願い

- 動作モードの異なる装置用データを USB メモリに保存する場合は、USB メモリの「TS-500_TAK」フォルダを削除した後で保存してください。

データを編集する

■ 本体装置に書き込む

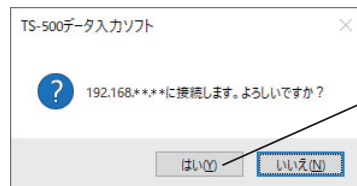
作成したデータを、ネットワーク上に接続された TS-500 本体装置に直接書き込みます。あらかじめ、TS-500 本体装置の登録情報の設定が必要です。「第 1 章 装置編 本体装置の設定 2. ネットワークの設定」(20 ページ) を参照してください。

- ① ファイル管理画面の [装置書込] ボタンをクリックします。 ② [はい] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・接続確認画面が表示されます。



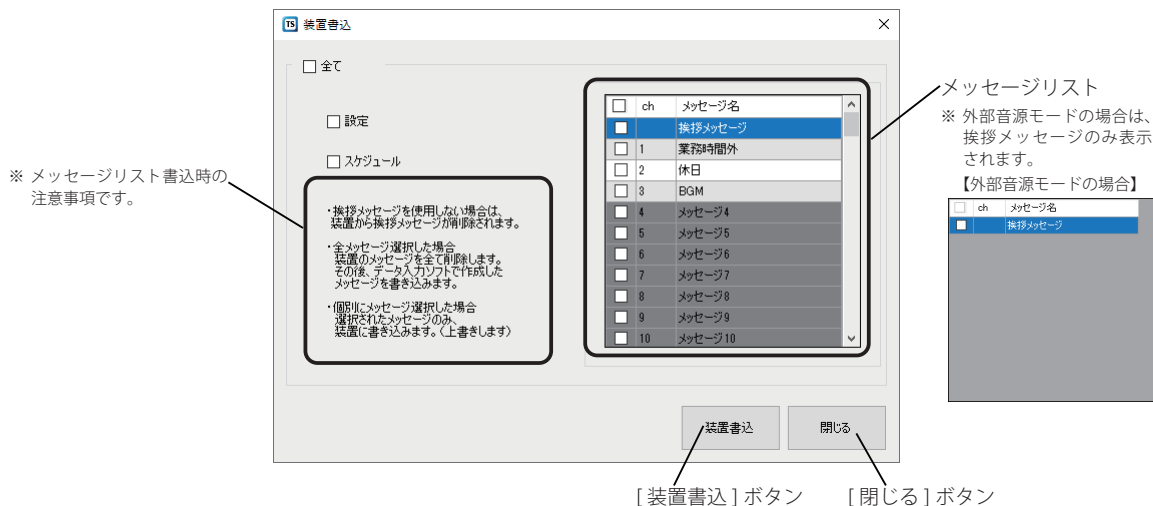
クリックします。

- ・書込画面が表示されます。

ワンポイント

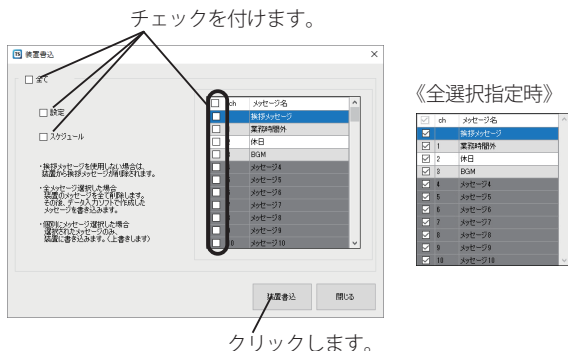
- 接続先を変更する場合は、[いいえ] ボタンをクリックして、ファイル管理画面を閉じた後、メイン画面の [PC 設定] ボタンから IP アドレスを変更してください。詳細については 124 ページを参照してください。

【装置書込画面 (基本モード)】



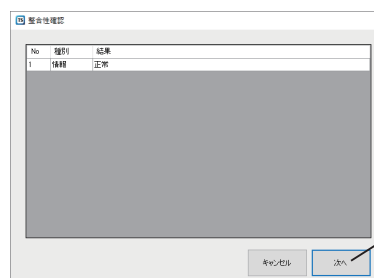
- ③ 保存するデータのチェックボックスにチェックを付けて [装置書込] ボタンをクリックします。

- ・メッセージリストにおいて、登録されていないメッセージにチェックを付けることはできません。但し、全選択指定時はチェックが付きます。



- ・整合性確認画面が表示されます。

- ④ 出力される内容を確認して [次へ] ボタンをクリックします。

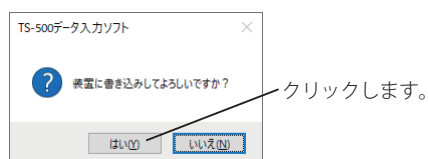


- ・書込確認メッセージが表示されます。

ワンポイント

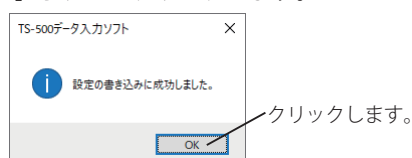
- 整合性確認画面において、種別に「警告」が含まれている場合は、[次へ] ボタンはクリックできません。内容を確認してデータを修正してください。詳細については、「整合性確認について」(105 ページ) を参照してください。

⑤ [はい] ボタンをクリックします。



- ・本体装置にデータの書き込みが開始されます。
- ・データの書き込み完了後にメッセージが表示されます。

⑥ [OK] ボタンをクリックします。



ワンポイント

- IP アドレスとポート番号は本体装置には書き込まれません。

4-2. パソコンに保存する

編集中の各種データや TS-500 本体装置から読み込んだ登録情報などを、制御用パソコンや事前に割り当てたネットワークドライブなどに保存します。

① ファイル管理画面の [ファイル保存] ボタンをクリックします。



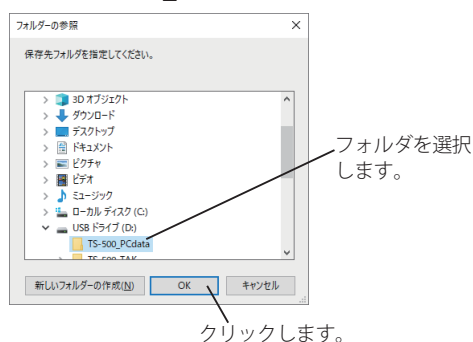
- ・フォルダーの参照画面が表示されます。

STOP お願い

- データの保存場所に、「C ドライブ」直下や「Program Files」などのシステムフォルダを指定しないでください。

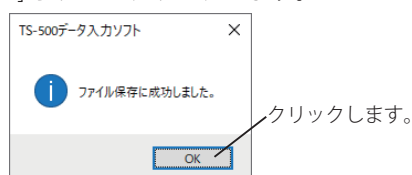
② 保存するフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックします。

(例) D: ¥ TS-500_PCdata



- ・保存完了画面が表示されます。

③ [OK] ボタンをクリックします。



- ・ファイル管理画面に戻ります。

次回からは、[ファイル保存] ボタンをクリックすると、このフォルダ (例: TS-500_PCdata) が表示されます。

データを集計する

本体装置でカウントした着信件数を、着信応答データとして集計し、Excel ファイルにて確認できます。

USB メモリまたはネットワーク経由で本体装置から制御用パソコンに読み込まれた着信応答データは、Excel ファイルに変換されて指定されたフォルダに保存されます。

本体装置でのデータ集計は、「初期設定 - 集計設定」の時集計・日集計・週集計・月集計の設定（集計する／しない）で、集計するとした項目について行われます。ここで作成されたデータファイルを制御用パソコンに読み込んで集計します。

■ 集計画面の呼び出し

メイン画面の「集計」ボタンをクリックします。



ワンポイント

- 集計の区切りをまたいだ通話の通話時間は、それぞれでカウントされます。このとき通話回数は通話の開始でカウントされるため、集計結果には「通話時間 xx 分、通話回数 0」となる場合があります。



STOP お願い

- 集計された Excel ファイルを編集する場合は、集計ファイルの保存先とは違うフォルダにコピーしてから行ってください。集計されたデータを Excel ファイルに保存する際に、既に Excel ファイルが存在する場合は、既存の Excel ファイルに追記して保存します。このため、Excel ファイルが編集されると正しく集計されない場合があります。
- 回線設定などの設定データを変更した場合は、集計データの保存先を変更するか、既存の集計データを消去してください。

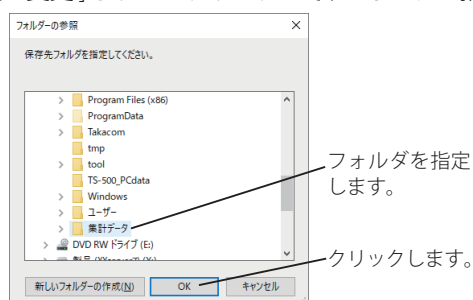
1. USB メモリから集計

① 本体装置から USB メモリに集計データを出力します。詳細は 36 ページを参照してください。

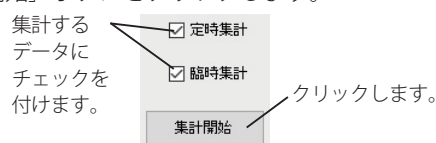
② 集計画面の「USB から集計」タブをクリックします。
※ メイン画面が最初に開いたときは集計画面（USB から集計）になっています。



③ 集計ファイルの保存先フォルダを変更する場合は、「保存先の変更」ボタンをクリックして、フォルダを指定します。

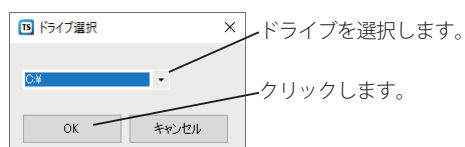


④ 集計データのチェックボックスにチェックを付けて「集計開始」ボタンをクリックします。



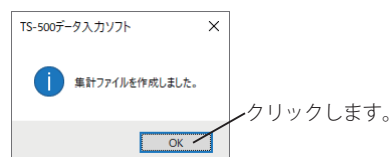
・ドライブ選択画面が表示されます。

⑤ USB メモリをセットしたドライブを選択して [OK] ボタンをクリックします。



- ・USB メモリからデータの読み込みが開始されます。
- ・データの読み込み完了後にメッセージが表示されます。

⑥ [OK] ボタンをクリックします。



・集計画面（USB から集計）に戻ります。

⑦ [閉じる] ボタンをクリックします。

ワンポイント

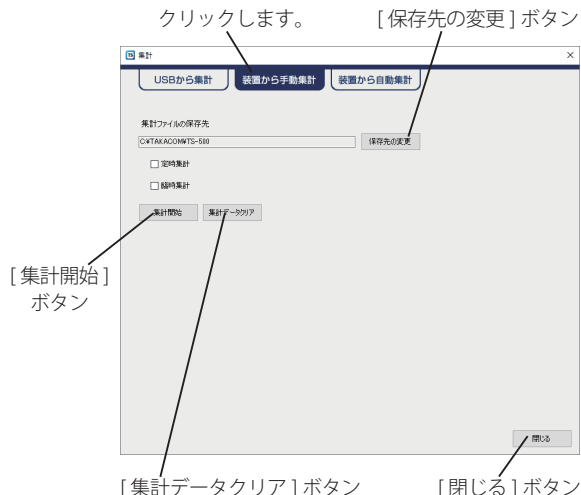
- USB メモリから集計するデータの保存場所を変更すると、装置から手動集計するデータの保存場所も変更されます。

STOP お願い

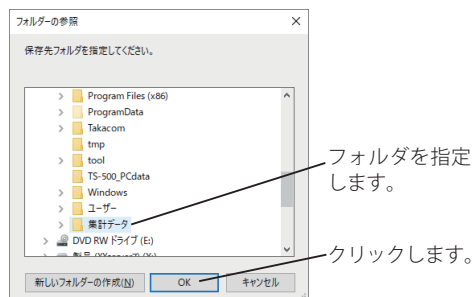
- データの保存場所に、「C ドライブ」直下や「Program Files」などのシステムフォルダを指定しないでください。

2. 装置から手動集計

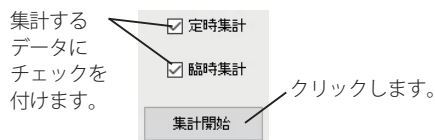
- ① 集計画面の「装置から手動集計」タブをクリックします。



- ② 集計ファイルの保存先フォルダを変更する場合は、「保存先の変更」ボタンをクリックして、フォルダを指定します。

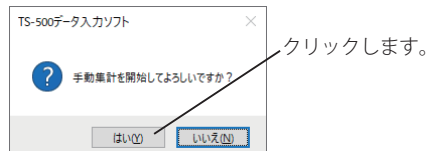


- ③ 集計データのチェックボックスにチェックを付けて「集計開始」ボタンをクリックします。



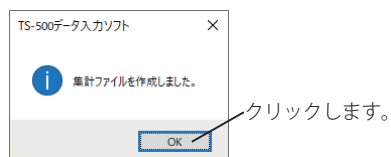
- ・集計開始確認画面が表示されます。

- ④ 「はい」ボタンをクリックします。



- ・本体装置からデータの読み込みが開始されます。
- ・データの読み込み完了後にメッセージが表示されます。

- ⑤ 「OK」ボタンをクリックします。



- ・集計画面（装置から手動集計）に戻ります。

- ⑥ 「閉じる」ボタンをクリックします。

ワンポイント

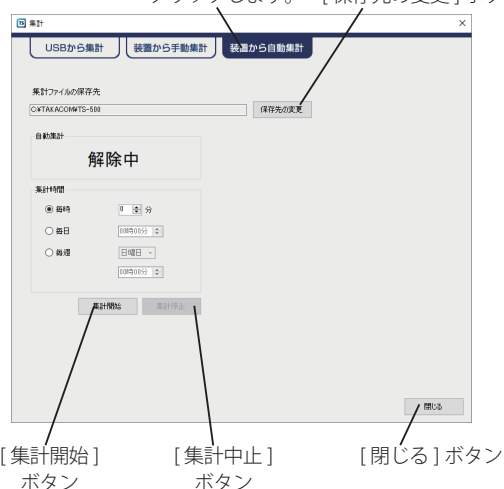
- 「集計データクリア」ボタンは、本体装置の集計データをクリアするボタンです。集計したエクセルデータは、クリア後の本体の集計データで上書きされます。クリア前のエクセルファイルを退避しておくことをお勧めします。
- 装置から手動集計するデータの保存場所を変更すると、USBメモリから集計するデータの保存場所も変更されます。

STOP お願い

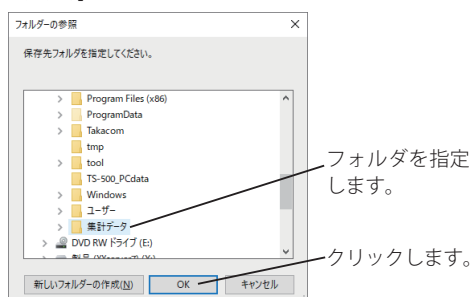
- データの保存場所に、「Cドライブ」直下や「Program Files」などのシステムフォルダを指定しないでください。

3. 装置から自動集計

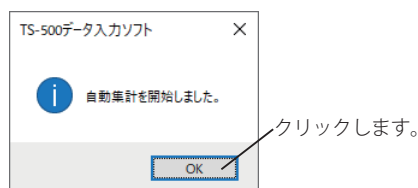
- ① 集計画面の「装置から自動集計」タブをクリックします。
クリックします。 [保存先の変更] ボタン



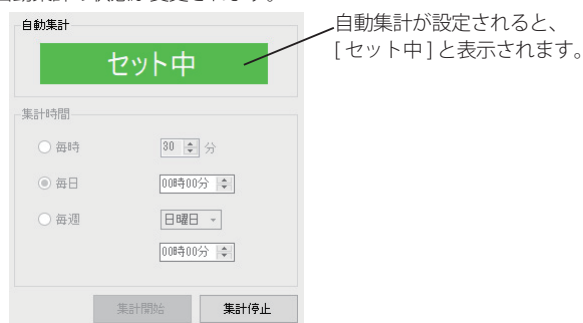
- ② 集計ファイルの保存先フォルダを変更する場合は、[保存先の変更] ボタンをクリックして、フォルダを指定します。



- ④ [OK] ボタンをクリックします。



- ・自動集計の状態が変更されます。



- ⑤ [閉じる] ボタンをクリックします。

STOP お願い

- データの保存場所に、「C ドライブ」直下や「Program Files」などのシステムフォルダを指定しないでください。

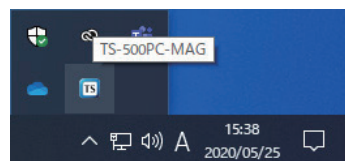
- ③ 集計する時間の種類と時刻を設定して、[集計開始] ボタンをクリックします。



- ・集計開始メッセージが表示されます。

ワンポイント

- 自動集計管理ソフトを常駐解除している時に、装置から自動集計する設定とした場合は、タスクバーに自動集計管理ソフトが常駐します。この自動集計管理ソフトを終了すると自動集計できません。



STOP お願い

- 本ソフトが起動されている場合、自動集計中は以下の画面が出力されます。



このとき本ソフトを終了しないでください。自動集計中に本ソフトを終了すると自動集計されません。

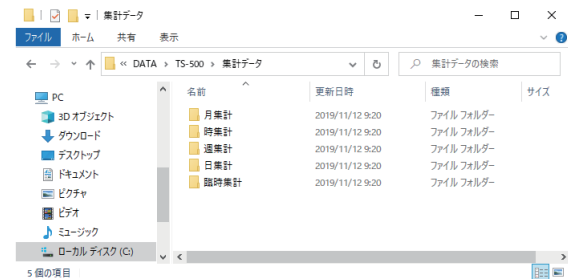
- 自動集計のセット中で本ソフトが起動されていない場合、自動集計開始時刻の1分前から自動集計中は、本ソフトが起動できません。入力ソフトを起動する場合は、数分（2分程度）待ってから起動してください。

4. 集計ファイルの出力例

集計ファイルは、指定された保存先フォルダに、時集計・日集計・週集計・月集計および臨時集計ごとにフォルダが作成されて、保存されます。

(格納フォルダの例)

「C:\¥DATA¥TS-500¥集計データ」



■ 出力例

● 基本モード (複数グループなし)

集計ファイルは、全回線シートに保存され、「全回線話中時間」・「全回線話中回数」・「総着信件数」・「回線 1」・「回線 2」・～「回線 32」の情報が出力されています。また、使用していない回線の値は「0」が出力されています。

【日集計】

「全回線」シート

年	月	日	全回線話中時間	全回線話中回数	総着信件数	回線1	回線2	回線3	回線4	回線5
2016年	03月	10日(木)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	11日(金)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	12日(土)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	13日(日)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	14日(月)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	15日(火)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	16日(水)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	17日(木)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	18日(金)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	19日(土)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	20日(日)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	21日(月)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	22日(火)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	23日(水)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	24日(木)	1分24秒	4	4	4	0	0	0	0
2016年	03月	25日(金)	9分38秒	4	4	3	1	0	0	0
2016年	03月	26日(土)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	27日(日)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	03月	28日(月)	1分55秒	3	3	0	3	0	0	0
2016年	03月	29日(火)	24秒	1	1	0	1	0	0	0
2016年	03月	30日(水)	24秒	2	2	1	1	0	0	0
2016年	03月	31日(木)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	04月	01日(金)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	04月	02日(土)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	04月	03日(日)	7分29秒	16	15	14	1	0	0	0
2016年	04月	04日(月)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	04月	05日(火)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	04月	06日(水)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	04月	07日(木)	0秒	0	0	0	0	0	0	0
2016年	04月	08日(金)	0秒	0	0	0	0	0	0	0

● 基本モード (複数グループあり)

集計ファイルは、11シート(全回線で1シート、グループごとに10シート)に保存され、シートごとに「全回線話中時間」・「全回線話中回数」・「総着信件数」・「回線 1」・「回線 2」・～「回線 32」の情報が出力されています。複数のグループを使用していない場合は全回線シートのみに数値が出力され、使用していないグループや回線の値は「0」が出力されています。

【週集計】

「グループ 1」シート

年	月	日	全回線話中時間	全回線話中回数	総着信件数	回線1	回線2	回線3	回線4	回線5
2016年	03月	21日(月)～03月27日(日)	10分42秒	8	8	7	1	0	0	0
2016年	03月	28日(月)～04月03日(日)	2分49秒	6	6	1	5	0	0	0
2016年	04月	04日(月)～04月10日(日)	0秒	0	0	0	0	0	0	0

● 外部音源モード

集計ファイルは、全回線シートに保存され、「全回線話中時間」・「全回線話中回数」・「総着信件数」・「回線 1」・「回線 2」・～「回線 32」の情報が出力されています。また、使用していない回線の値は「0」が出力されています。

【月集計】

年	月	全回線話中時間	全回線話中回数	総着信件数	回線1	回線2	回線3	回線4	回線5	回線6
2016年	04月	6秒	1	63	13	23	12	15	0	0
2016年	05月	20秒	4	74	21	25	17	11	0	0
2016年	06月	16秒	3	75	24	13	15	23	0	0

ワンポイント

- 出力された集計情報については以下となります。
 - 全回線話中時間：
全使用回線（注）が同時に応答していた時間。
 - 全回線話中回数：
全使用回線（注）が同時に応答していた回数。
 - 総着信件数：
全回線や各グループにおける使用回線の着信回数。
(注) 回線状態が「回線抜けエラー」の回線は含まれません。回線状態については 114 ページを参照してください。

メモ

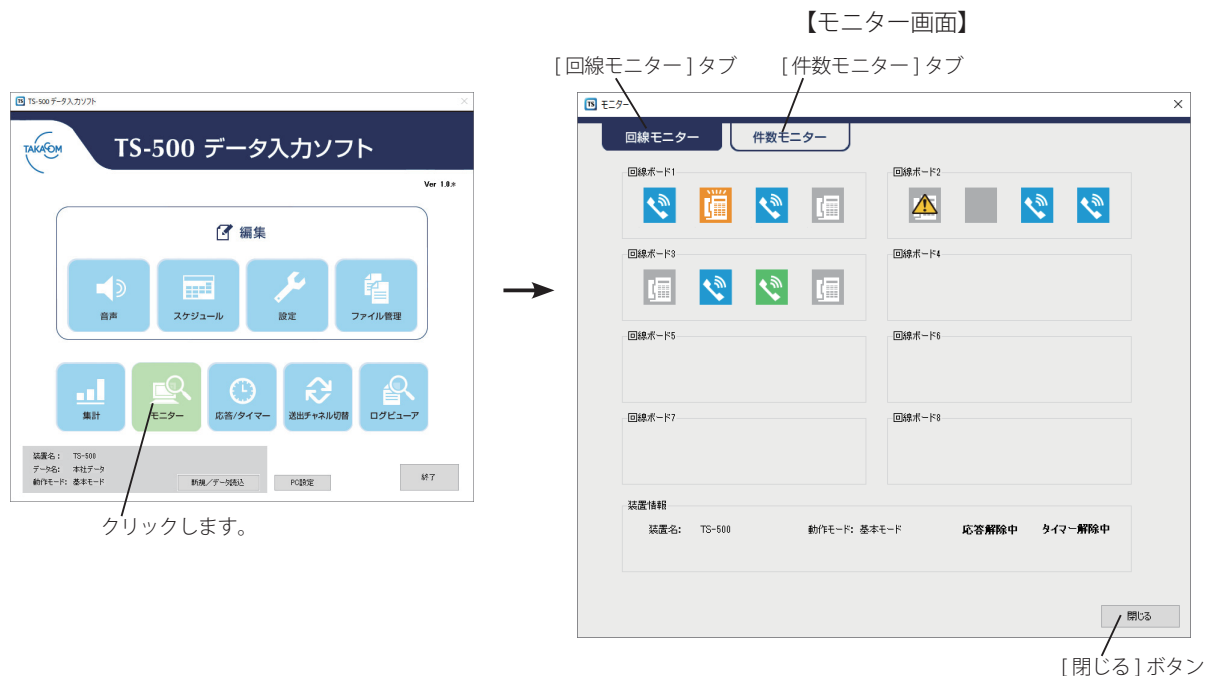
本体装置をモニターする

本体装置とパソコンがネットワーク接続されているときは、パソコンから本体装置の着信状況などがモニターできます。あらかじめ、本体装置とパソコンにネットワーク（IP アドレス等）の設定が必要です。

「第1章 装置編 本体装置の設定」（19 ページ）、および「第2章 データ編 装置情報・セキュリティ」（124 ページ）を参照してください。

■ モニター画面の呼び出し

メイン画面の「モニター」ボタンをクリックします。

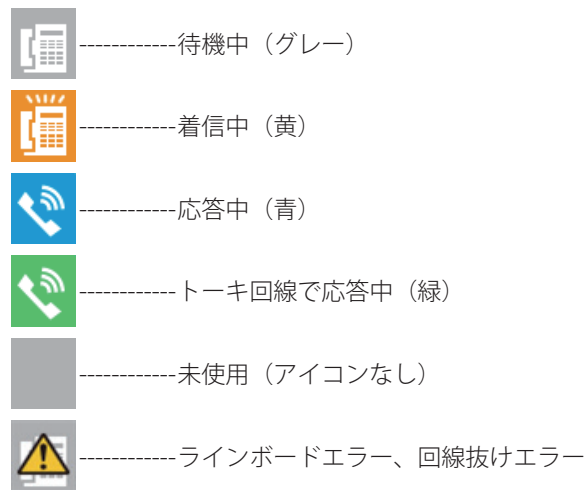


1. 回線モニター

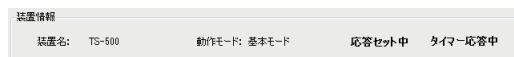
- ① モニター画面の「回線モニター」タブをクリックします。
 - ・回線モニター画面が表示されます。
- ※ メイン画面から最初に開いたときは回線モニター画面になっています。



- ② 各回線の状態をアイコンで確認できます。



- ③ 装置名や動作モード、応答動作、運用方法が確認できます。



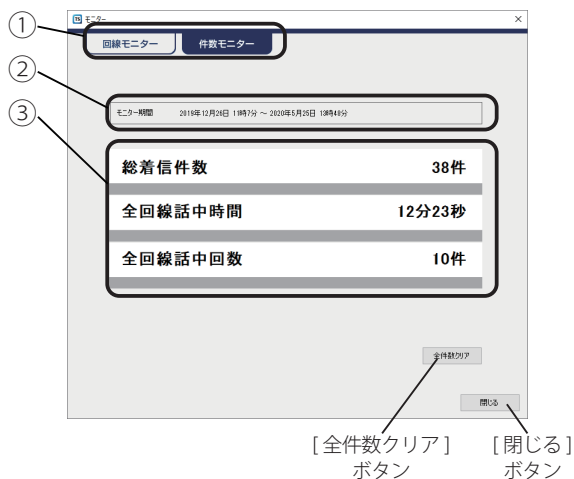
- ④ 「閉じる」ボタンをクリックします。
 - ・メイン画面に戻ります。

2. 件数モニター

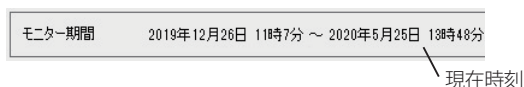
■ グループ登録がない場合

- ① モニター画面の「件数モニター」タブをクリックします。
・件数モニター画面が表示されます。

【件数モニター画面（グループ登録なし）】



- ② 前回「全件数クリア」ボタンをクリックした日時から、現在時刻までをモニター期間として確認できます。
・「全件数クリア」ボタンを一度もクリックしていない場合は、初回の電源投入年月日時刻が表示されます。
・現在時刻は本体装置から収集した時刻です。



- ③ 集計件数などを表示します。

A	総着信件数	33件
B	全回線話中時間	12分23秒
C	全回線話中回数	10件

- A：総着信件数
全回線の着信回数。
B：全回線話中時間
全使用回線（注）が同時に応答していた時間。
C：全回線話中回数
全使用回線（注）が同時に応答していた回数。
（注）回線状態が「回線抜けエラー」の回線は含みません。

- ④ 「閉じる」ボタンをクリックします。
・メイン画面に戻ります。

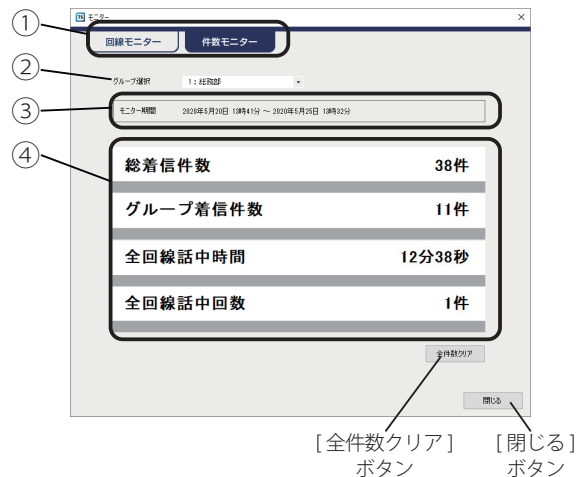
ワンポイント

- 「全件数クリア」ボタンをクリックすると、本体装置に保存されている件数モニター情報をすべてクリアします。

■ グループ登録がある場合

- ① モニター画面の「件数モニター」タブをクリックします。
・件数モニター画面が表示されます。

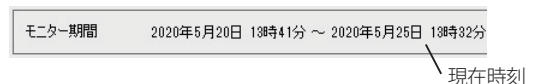
【件数モニター画面（グループ登録あり）】



- ② モニターするグループを「▼」をクリックして選択します。
・登録済みのグループが表示されます。



- ③ 前回「全件数クリア」ボタンをクリックした日時から、現在時刻までをモニター期間として確認できます。
・「全件数クリア」ボタンを一度もクリックしていない場合は、初回の電源投入年月日時刻が表示されます。
・現在時刻は本体装置から収集した時刻です。



- ④ 集計件数などを表示します。

A	総着信件数	38件
B	グループ着信件数	11件
C	全回線話中時間	12分38秒
D	全回線話中回数	1件

- A：総着信件数
全回線の着信回数。
B：グループ着信件数
グループ選択で選択されたグループに含まれる回線の着信回数。
C：全回線話中時間
グループの全使用回線（注）が同時に応答していた時間。
D：全回線話中回数
グループの全使用回線（注）が同時に応答していた回数。
（注）回線状態が「回線抜けエラー」の回線は含みません。

- ⑤ 「閉じる」ボタンをクリックします。
・メイン画面に戻ります。



ワンポイント

- グループ着信件数で表示できる最大件数は、99999 件です。最大件数を超えた場合でも、集計データはカウントし続けます。
- 総着信件数で表示できる最大件数は、以下になります。
 - ・ グループ無しの場合：最大 99999 件
 - ・ グループ有りの場合：最大 999990 件最大件数を超えた場合でも、集計データはカウントし続けます。
- 複数グループを使用していて、最大件数を超えたグループがある場合は、正確な総着信件数が表示されません。
- 表示される着信件数は、最大件数に到達する前に定期的に[全件数クリア]ボタンをクリックすることをお勧めします。

応答／タイマー

本体装置の応答動作や運用方法を制御用パソコンから変更できます。

あらかじめ、本体装置と制御用パソコンにネットワーク（IP アドレス等）の設定が必要です。

「第1章 装置編 本体装置の設定」（19 ページ）、および「第2章 データ編 装置情報・セキュリティ」（124 ページ）を参照してください。

■ 応答／タイマー画面の呼び出し

メイン画面の「応答／タイマー」ボタンをクリックします。



クリックします。

【応答／タイマー画面】



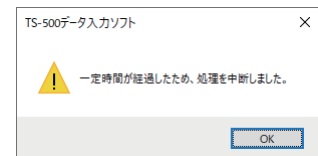
[繰上げ応答]
ボタン

[送信] ボタン

[閉じる] ボタン

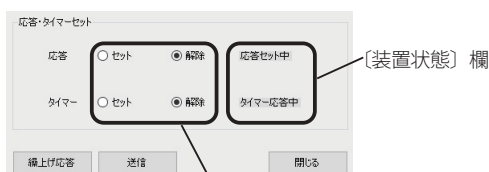
ワンポイント

- 応答／タイマー画面や繰上げ応答画面は 10 分間そのままにしていると、右のメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、応答／タイマー画面や繰上げ応答画面が閉じます。



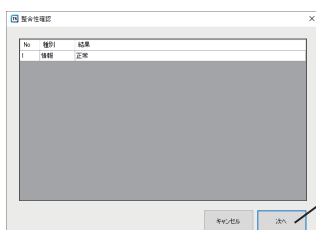
■ 応答動作や運用方法の切替

- ① 本体装置の状態を〔装置状態〕欄で確認します。
- ② オプションボタンをクリックして、セット／解除を指定します。



クリックして選択します。

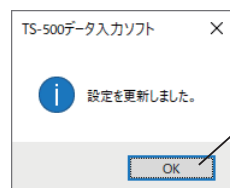
- ③ [送信] ボタンをクリックします。
 - ・ 整合性確認画面が表示されます。
- ④ 出力される内容を確認して [次へ] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・ 更新画面が表示されます。

- ⑤ [OK] ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・ 応答／タイマー画面に戻ります。

ワンポイント

- 整合性確認画面において、種別に「警告」が含まれている場合は、[次へ] ボタンはクリックできません。内容を確認してデータを修正してください。詳細については、「整合性確認について」（105 ページ）を参照してください。

■ 繰上げ応答をする場合

応答／タイマー画面の〔装置状態〕欄において、「応答セット中／タイマー応答中」の場合は、繰上げ応答ができます。繰上げ応答とは、例えば、午後5時から応答になるように登録されているとき、午後3時に「繰上げ応答」の操作をすると、その時点から午後5時の内容で応答を開始します。会社などで業務終了案内でお使いのとき、臨時休業などで早めに応答させたいときにお使いになれます。

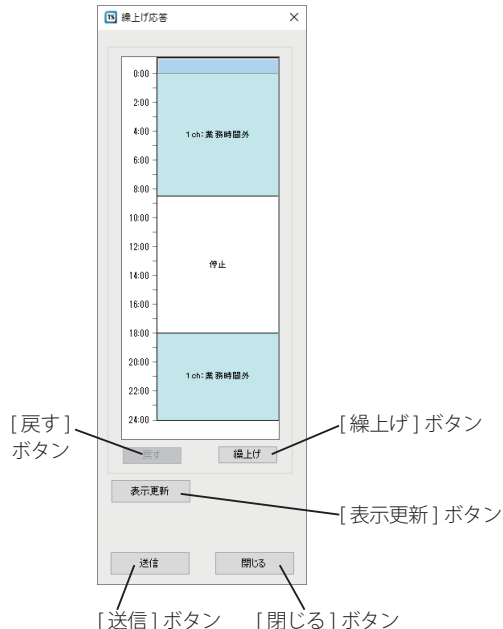
● グループ登録がない場合

① [繰上げ応答] ボタンをクリックします。



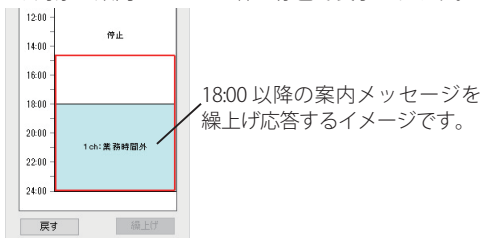
クリックします。

・ 繰上げ応答画面が表示されます。



② [繰上げ] ボタンをクリックします。

・ 繰上げ対象の案内メッセージ枠が赤色で表示されます。

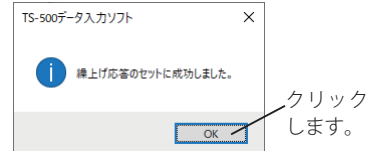


- ・ [表示更新] ボタンをクリックすると、本体装置の現在の日課パターンを読み込み、表示を更新します。
- ・ [戻る] ボタンをクリックすると繰上げ応答がキャンセルできます。

③ [送信] ボタンをクリックします。

- ※ [送信] ボタンをクリックした後では、繰上げ応答画面から繰上げ応答のキャンセルはできません。応答／タイマー画面から、応答を解除してください。
- ・ 更新完了メッセージが表示されます。

④ [OK] ボタンをクリックします。

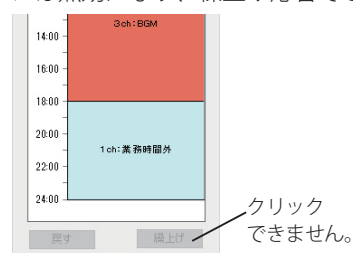


⑤ 繰上げ応答画面において、[閉じる] ボタンをクリックします。

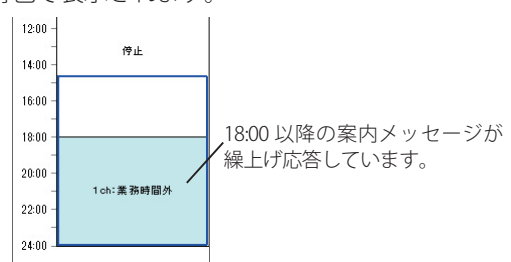
・ 応答／タイマー画面に戻ります。

ワンポイント

- メッセージが割り当てられている時間帯は、[繰上げ] ボタンは無効になり、繰上げ応答できません。



- 繰上げ応答実行後は、繰上げ対象の案内メッセージ枠が青色で表示されます。



● グループ登録がある場合

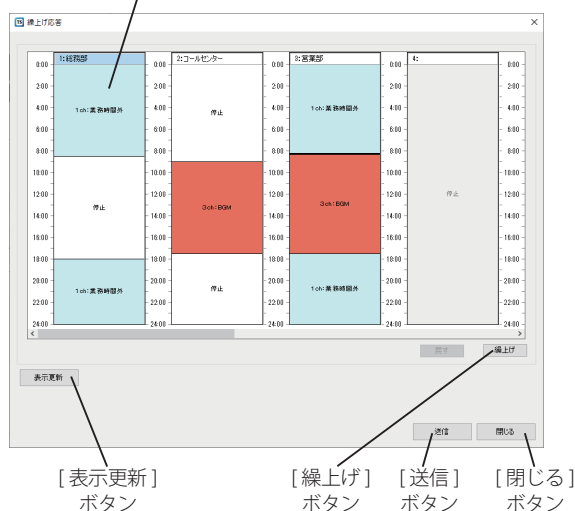
① [繰上げ応答] ボタンをクリックします。



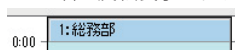
クリックします。

- ・ 繰上げ応答画面が表示されます。

② 繰上げ応答したいグループを選択します。
対象グループをクリックします。

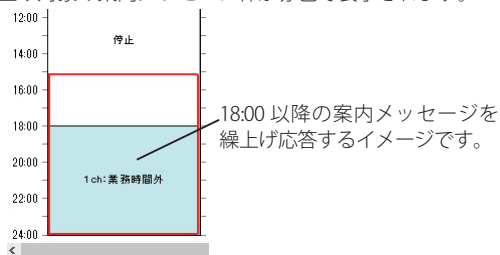


- ・ グループ名が反転表示されます。



③ [繰上げ] ボタンをクリックします。

- ・ 繰上げ対象の案内メッセージ枠が赤色で表示されます。

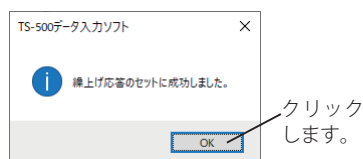


- ・ [表示更新] ボタンをクリックすると、本体装置の現在の日課パターンを読み込み、表示を更新します。
- ・ [戻す] ボタンをクリックすると繰上げ応答がキャンセルできます。

④ [送信] ボタンをクリックします。

- ・ 更新完了メッセージが表示されます。

⑤ [OK] ボタンをクリックします。

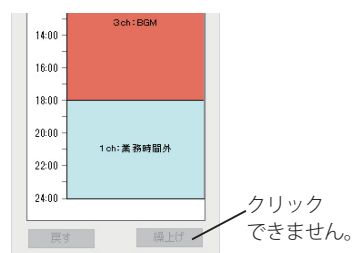


⑥ 繰上げ応答画面において、[閉じる] ボタンをクリックします。

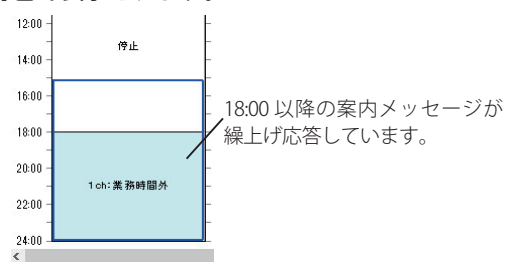
- ・ 応答／タイマー画面に戻ります。

ワンポイント

- メッセージが割り当てられている時間帯は、[繰上げ] ボタンは無効になり、繰上げ応答できません。



- 繰上げ応答実行後は、繰上げ対象の案内メッセージ枠が青色で表示されます。



送出チャンネル切替

本体装置でマニュアル運用されている送出チャンネルを、ネットワーク接続されている制御用パソコンから別のチャンネルに切り替えることができます。あらかじめ、本体装置と制御用パソコンにネットワーク（IP アドレス等）の設定が必要です。
「第1章 装置編 本体装置の設定」（19 ページ）、および「第2章 データ編 装置情報・セキュリティ」（124 ページ）を参照してください。

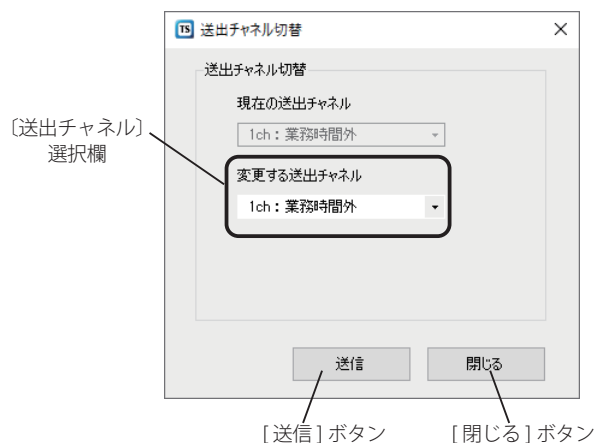
■ 送出チャンネル切替画面の呼び出し

メイン画面の「送出チャンネル切替」ボタンをクリックします。

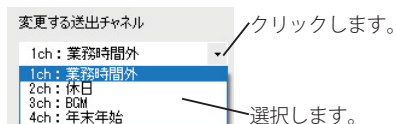


■ グループ登録がない場合

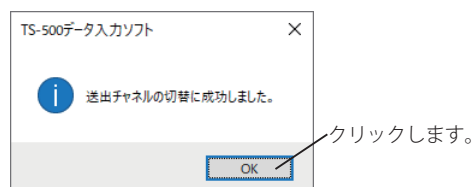
【送出チャンネル切替画面】



- ① [送出チャンネル] 選択欄の [▼] をクリックして表示される一覧から変更するチャンネルを選択します。
- ③ [OK] ボタンをクリックします。



・登録済みのチャンネルが表示されます。

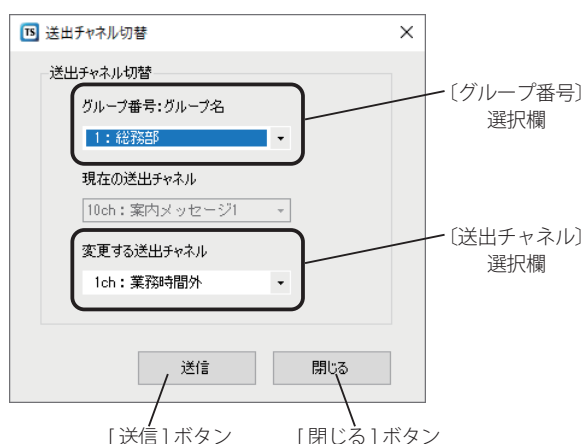


・メイン画面に戻ります。

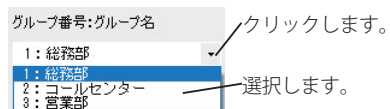
- ② [送信] ボタンをクリックします。
- ・チャンネルの切替が成功すると、確認メッセージが表示されます。

■ グループ登録がある場合

【送出チャンネル切替画面】

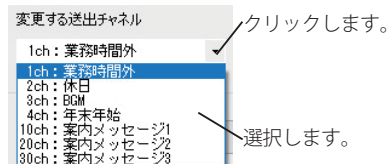


- ① [グループ番号] 選択欄の [▼] をクリックして表示される一覧から変更対象のグループ番号を選択します。



- 登録済みのグループ番号が表示されます。

- ② [送出チャンネル] 選択欄の [▼] をクリックして表示される一覧から変更するチャンネルを選択します。

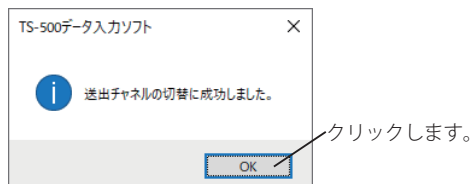


- 登録済みのチャンネルが表示されます。

- ③ [送信] ボタンをクリックします。

- チャンネルの切替が成功すると、確認メッセージが表示されます。

- ④ [OK] ボタンをクリックします。



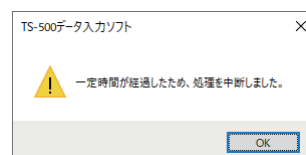
- メイン画面に戻ります。

ご注意

- 運用方法がマニュアル運用の時は、送出チャンネル切替により送信したチャンネルに変更されます。
- 運用方法がタイマー運用の時は、マニュアル運用に変更した時点で、送出したチャンネルに変更されます。(タイマー運用中は、送出したチャンネルに切り替わりません)

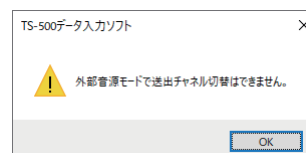
ワンポイント

- 送出チャンネル切替画面が 10 分以上表示された場合は、以下の画面が表示されて、本体装置との通信が切断されます。



[OK] ボタンをクリックして、再度メイン画面から送出チャンネル切替画面を表示してください。

- 本体装置が外部音源モードで運用中は、送出チャンネルの切替はできません。以下のメッセージで [OK] ボタンをクリックしてください。



ログビューア

本体装置の操作や動作の履歴（ログ）情報を確認することができます。本体装置から直接確認する方法と、USB メモリに保存して確認する方法があります。

本体装置から直接確認する方法は、あらかじめ本体装置と制御用パソコンにネットワーク（IP アドレス等）の設定が必要です。「第 1 章 装置編 本体装置の設定」（19 ページ）、および「第 2 章 データ編 装置情報・セキュリティ」（124 ページ）を参照してください。

USB メモリに保存して確認する方法は、「第 1 章 装置編 メンテナンス 1. 動作ログの出力」（38 ページ）を参照してください。

■ ログビューア画面の呼び出し

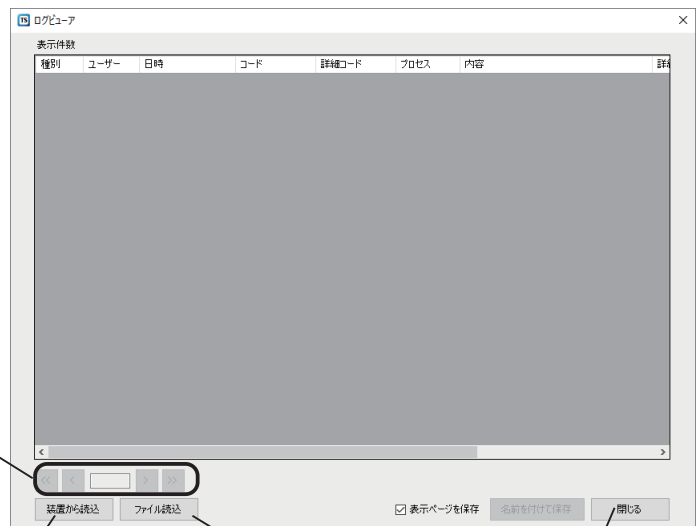
メイン画面の「ログビューア」ボタンをクリックします。



クリック
します。

「ページ操作」
ボタン

【ログビューア画面】



「装置から読込」ボタン

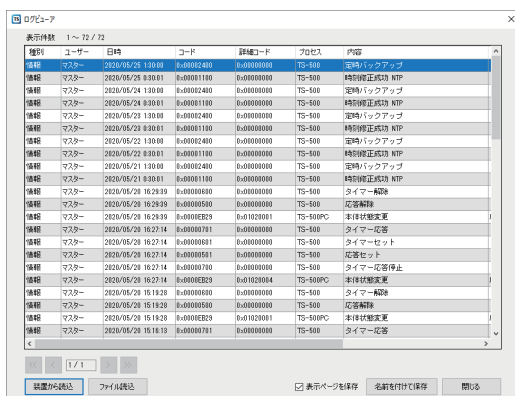
「ファイル読込」ボタン

「閉じる」ボタン

■ 装置からの読み込み

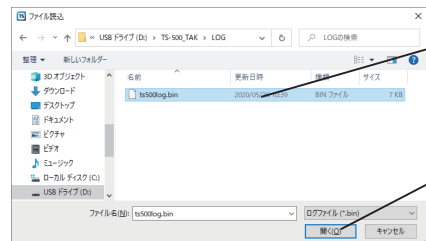
- ① 「装置から読込」ボタンをクリックします。
 - ・ ログ情報が表示されます。

【ログ情報の出力例】



■ ファイルからの読み込み

- ① 本体装置から USB メモリに動作ログを収集してください。
 - ・ 詳細は 38 ページを参照してください。
- ② USB メモリを制御用パソコンに接続します。
- ③ 「ファイル読込」ボタンをクリックします。
 - ・ ファイル読込画面が表示されます。
- ④ 動作ログの格納フォルダをダブルクリックして、動作ログファイル（ts500log.bin）を選択した後で、「開く」ボタンをクリックします。
 - ・ フォルダの例：「D:\¥TS-500_TAK¥LOG」
 - ・ 「D:」は USB メモリのドライブ名です。お使いになっているパソコンによって異なります。



選択します。

クリック
します。

- ・ ログ情報が表示されます。

■ ログファイルの保存

テキストエディタなどで参照できない本体装置の動作ログを、テキストエディタなどで参照できる形式に変換して、制御用パソコンのドライブや他のメディアに保存できます。

● ページ単位で保存する場合

- ① 保存したいページを [ページ操作] ボタンで表示します。



・ログ情報は1ページに1000件表示されます。

- ② 「表示ページを保存」にチェックを付けて、[名前を付けて保存] ボタンをクリックします。

チェックを付けます。

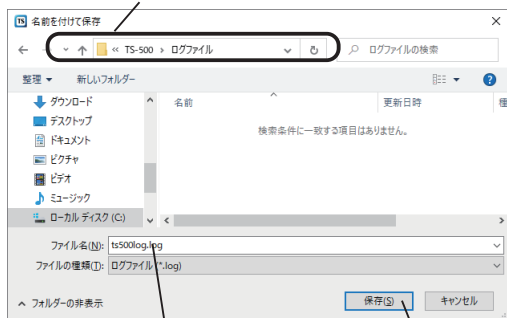


・「保存する場所」の選択画面が表示されます。

- ③ 保存する場所を選択して、ファイル名を付けます。

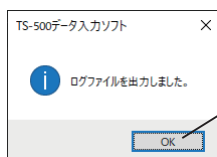
- ④ [保存] ボタンをクリックします。

保存する場所を選択します。



・保存が終了すると、案内画面が表示されます。

- ⑤ [OK] ボタンをクリックします。



・ログビューア画面に戻ります。

● すべてのログファイルを保存する場合

- ① 「表示ページを保存」のチェックを外して、[名前を付けて保存] ボタンをクリックします。

チェックを外します。

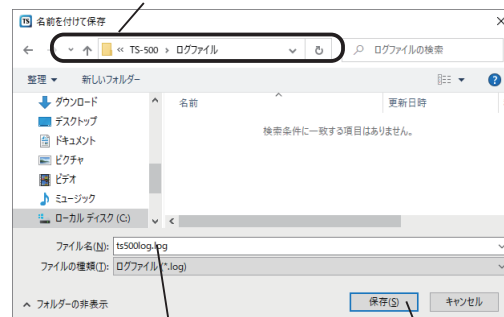


・「保存する場所」の選択画面が表示されます。

- ② 保存する場所を選択して、ファイル名を付けます。

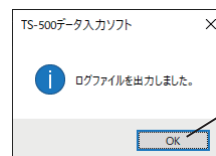
- ③ [保存] ボタンをクリックします。

保存する場所を選択します。



・保存が終了すると、案内画面が表示されます。

- ④ [OK] ボタンをクリックします。



・ログビューア画面に戻ります。

STOP お願い

- データの保存場所に、「C ドライブ」直下や「Program Files」などのシステムフォルダを指定しないでください。

● ログファイルの表示例

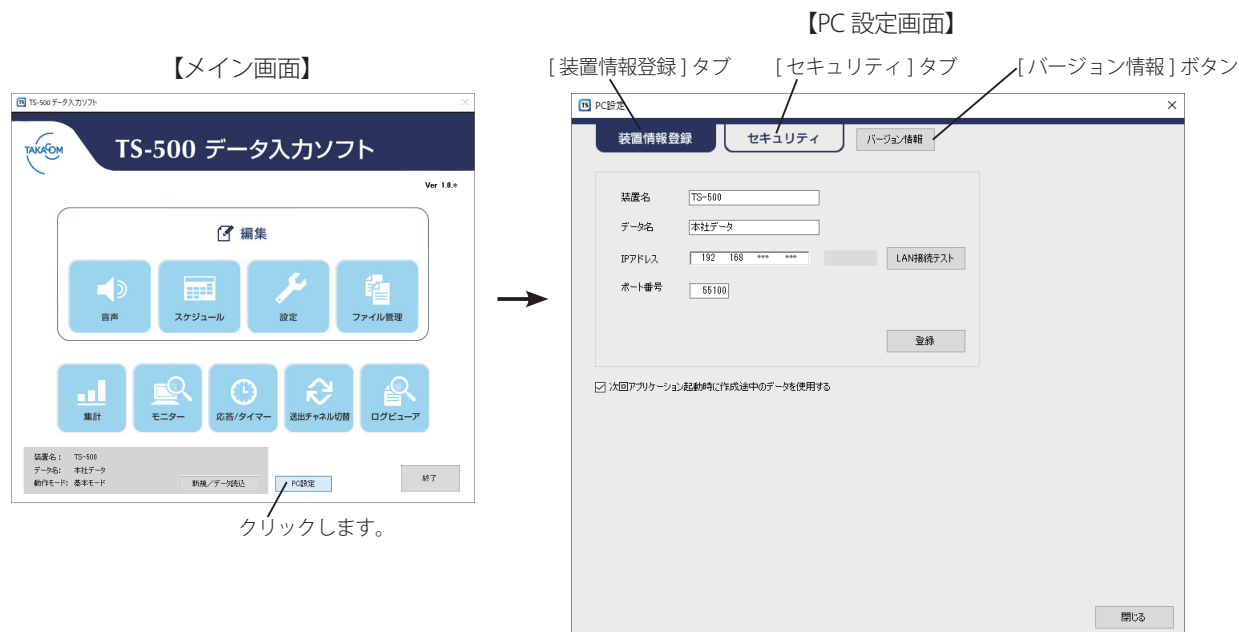
```
種別,ユーザー,日時,コード,詳細コード,プロセス,内容,詳細,端末
情報,マスター,2016/03/28 15:15:56,0x0000EB8D,0x0F000000,TS-500PC,送出チャンネル切替,007ch,192.168.11.65
情報,マスター,2016/03/28 14:21:30,0x00000600,0x00000000,TS-500,タイマー解除,,
情報,マスター,2016/03/28 14:17:21,0x00004EEA,0x01000001,TS-500PC,装置書込要求,終了,192.168.11.65
情報,マスター,2016/03/28 13:44:15,0x00000600,0x00000000,TS-500,タイマー解除,,
情報,マスター,2016/03/28 13:44:14,0x00000501,0x00000000,TS-500,応答セット,,
```

装置情報・セキュリティ

本体装置の装置情報が編集できます。また本ソフトで行う各操作を、パスワードで制限することができます。パスワードは、マスターと最大2ユーザーの3種類が設定できます。

■ PC 設定画面の呼び出し

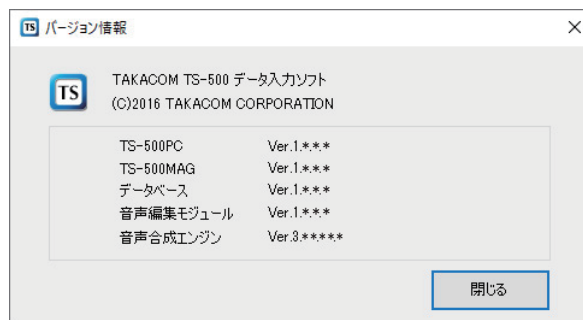
メイン画面の「PC 設定」ボタンをクリックします。



■ バージョン情報の表示

入力ソフトのバージョン情報を確認する場合、メイン画面の「バージョン情報」ボタンをクリックします。

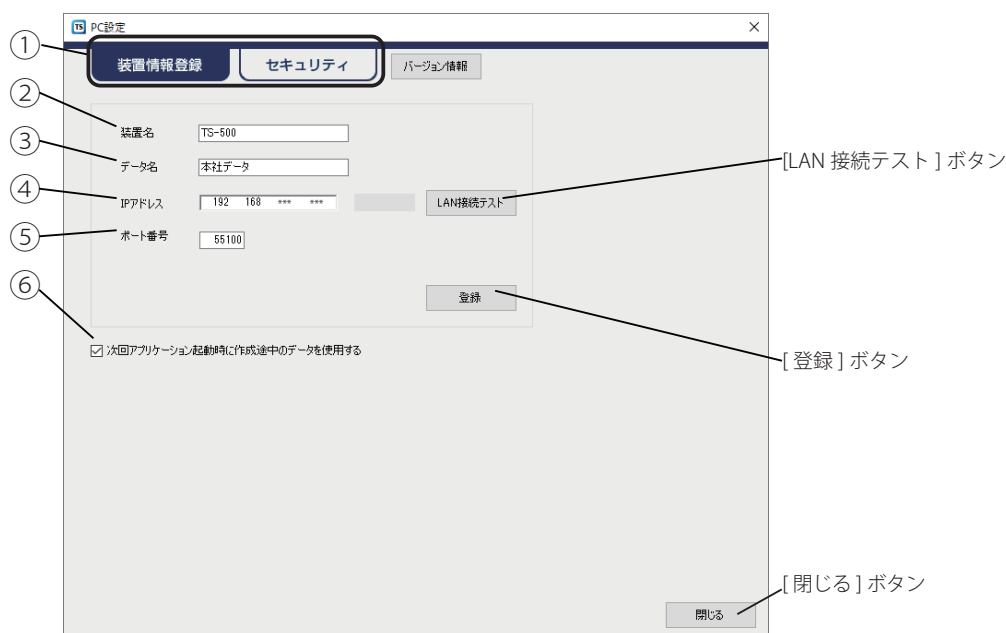
《バージョン情報表示例》



ワンポイント

- 本体装置のバージョンは「第1章 装置編 メンテナンス 2. バージョンの表示」(38ページ)にて確認できます。

1. 装置情報登録



- ① PC 設定画面の「装置情報登録」タブをクリックします。
- ・装置情報登録画面が表示されます。
 - ※ メイン画面から最初に開いたときは装置情報登録画面になっています。

- ② 装置名を入力します。最大 10 文字まで入力できます。
- ※ 装置名は設定データと本体装置の対応を表すもので、本体装置では表示されません。
 - ・初期値：TS-500

- ③ データ名を入力します。最大 10 文字まで入力できます。
- ※ データ名は作成した設定データを区別するもので、本体装置では表示されません。
 - ・初期値：空白

- ④ 接続先の本体装置の IP アドレスを入力します。[LAN 接続テスト] ボタンをクリックして、正しい IP アドレスが入力されているかの判断ができます。

【本体装置と接続できる場合】

IPアドレス	192 168 *** **	成功	LAN接続テスト
--------	----------------	----	----------

【本体装置と接続できない場合】

IPアドレス	192 168 *** **	失敗	LAN接続テスト
--------	----------------	----	----------

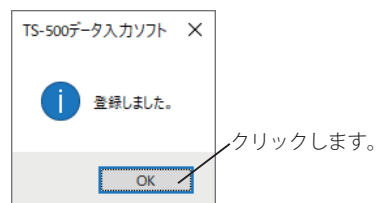
※ 本体装置の IP アドレスは本ソフトからは設定できません。

- ・初期値：192.168.0.100

- ⑤ 接続先の本体装置のポート番号を入力します。
- ※ 本体装置のポート番号は本ソフトからは設定できません。
 - ・初期値：55100、設定範囲：1024 ～ 65535
- ⑥ 次回以降に本ソフトを起動したときに、表示される画面が選択できます。
- ・チェックあり：メイン画面が表示されます。
 - ・チェックなし：初期画面が表示されます。

- ⑦ [登録] ボタンをクリックします。
- ・登録が終わると完了画面が表示されます。

- ⑧ [OK] ボタンをクリックします。



- ・PC 設定画面に戻ります。

- ⑨ [閉じる] ボタンをクリックします。
- ・メイン画面が表示されます。

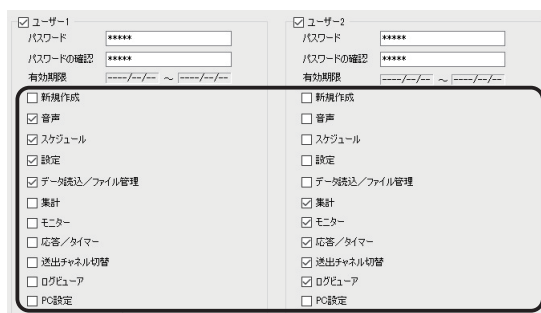
ワンポイント

- IP アドレスとポート番号は USB メモリや本体装置には書き込まれません。
- 装置情報は Windows ログオンユーザーごとに保持することができます。

2. セキュリティ



- ① PC 設定画面の「セキュリティ」タブをクリックします。
・セキュリティ画面が表示されます。
- ② パスワード機能を使用する場合は、クリックしてチェックを付けます。
・必要な項目が編集できるようになります。
- ③ 「マスター」情報設定欄において、有効期限やパスワードを設定します。
- ④ 「ユーザー 1」情報設定欄および、「ユーザー 2」情報設定欄においてパスワードを設定し、許可する項目にチェックを付けます。

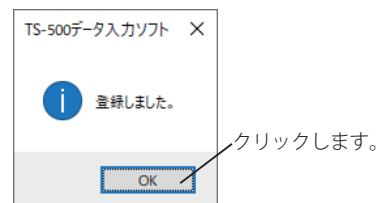


許可する操作にチェックを付けます。

※「新規作成」を許可する場合は、「音声」「スケジュール」「設定」および「PC 設定」も合わせて許可されます。

- ⑤ 「登録」ボタンをクリックします。
※「登録」ボタンをクリックするまで、編集中の内容は登録されません。
・登録が終わると完了画面が表示されます。

- ⑥ [OK] ボタンをクリックします。

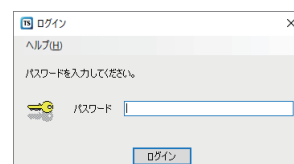


・PC 設定画面に戻ります。

- ⑦ 「閉じる」ボタンをクリックします。
・メイン画面が表示されます。

ワンポイント

- パスワードは、半角英数字、大文字小文字で 20 文字まで入力できます。(全角文字や特殊文字、記号、環境依存文字は使用できません)
- パスワードの有効期限は、マスターとユーザーで共通となります。
- パスワード機能を使用する場合は、本ソフト起動時に以下のログイン画面が表示されます。



パソコンのマイク入力端子にマイクなどを接続して音源からの音声を録音する際に、Windows のサウンド機能を使用することで、入力する音源の音量が変更できます。

(Windows 10 の操作例)

- ① メッセージ編集画面（録音再生）（75 ページ）や音声画面（録音再生）（89 ページ）における [録音デバイス設定] ボタンをクリックします。

- Windows のサウンド画面が表示されます。



クリックします。

- ② 録音対象のデバイスを選択してダブルクリックします。

※ **必ずデバイスを接続してください。**

- デバイスのプロパティ画面が表示されます。



ダブルクリックします。

- ③ [レベル] タブをクリックして表示される画面において、スライダーをドラッグして音量を調整します。

- ④ 各種の画面で [OK] ボタンをクリックします。



クリックします。

ドラッグします。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に、次のことをお調べください。

本体装置

現 象	点検項目	対 策	関連ページ
IP アドレスが変更できない。	応答にセットされていませんか？	応答を解除してください。	20,40
本体装置が操作できない。	入力ソフトから遠隔操作中ではありませんか？	遠隔操作を終了させるか遠隔操作が終了するまでお待ちください。	18
動作モードが変更できない。	【モード へんこう デキマセ】と表示される。	応答を解除してください。	22,40
録音ができない。	【オケンソフツバクシテカ サイ】と表示される。	マイクや外部音源が接続されていません。接続してください。	28
	【ヨリヨリガ アリマセ】と表示される。	録音時間一杯に録音されています。不要なメッセージなどを消去してください。	31,33,34
USB メモリのデータが読み込めない。 USB メモリに書き込めない。 USB メモリを認識しない。	セキュリティ機能が付いている USB メモリではありませんか？	USB メモリは添付品を使用するか、セキュリティ機能のない USB メモリを使用してください。	6,48
アラームが突然鳴り出す。	【スケジュール カンガイ デス】と表示される。	スケジュールデータを再登録してください。	68,96

TS-500 データ入力ソフト

現 象	点検項目	対 策	関連ページ
入力ソフトが起動しない。	パソコンの動作環境は合っていますか？	OS やメモリ容量などを確認してください。	48
	自動集計時刻が近くないですか？	数分後に再度起動してください。	111
入力ソフトがアンインストールできない	自動集計管理ソフトがタスクバーに常駐していませんか？	自動集計管理ソフトを終了してから入力ソフトをアンインストールしてください。	51
メイン画面や初期画面に使用できないアイコンがある。	セキュリティ機能により操作制限されていませんか？	管理責任者に連絡して、アイコンの操作権限の見直しをお願いしてください。	126
動作モードを変更したい。	データの編集では変更できません。	希望の動作モードでデータを新規に作成してください。	57
本体装置と接続できない。	IP アドレスは正しいですか？	入力ソフトで IP アドレスを修正して登録してください。	125
	本体装置の IP アドレスは登録されていますか？	本体装置で IP アドレスを登録してください。	20,125
	本体装置で操作中ではないですか？	本体操作が終了するまでお待ちください。	—
音声合成で作成したメッセージが意図したイメージで再生されない。	音声合成詳細設定や辞書登録を実施する前に、音声合成によるメッセージを作成していませんか？	音声合成詳細設定や辞書登録を実施した後で、音声合成によるメッセージを作成してください。	73,74
応答／タイマー画面で、[繰上げ応答] ボタンが有効にならない。	装置状態が応答セット中かつタイマー応答中ですか？	応答セット中かつタイマー応答中の状態にしてください。	117

主な仕様

項 目		仕 様	備 考
電話回線（注１）	収容回線数	最大 32 回線	
	回線種別	通常回線 ナンバーディスプレイ回線（注２） テレドーム回線 トーキ音源回線	
	接続端子	スクリューレス端子	
	グループ分け	最大 10 グループ	基本モードのみ
ディスプレイ	サイズ	24 文字（半角）× 2 行	バックライト付き LCD
	表示文字	カナ、数字、記号、アルファベット	
音声録音	作成方法	音声合成、マイク録音、音声ファイル取込	
	録音方式	μ -law 8bit 8kHz	
	録音時間	360 分	全チャンネル合計
音声入力	マイク入力端子	600 Ω 不平衡、-50dBv	3.5mm モノラルミニジャック
	テーブ入力端子	10k Ω 不平衡、0dBv	3.5mm モノラルミニジャック
音声出力	再生装置	内蔵スピーカ	
	イヤホン端子	インピーダンス 32 Ω	3.5mm モノラルミニジャック
制御入力	応答制御端子	無電圧メーク入力、500ms 以上 接点容量：DC10V,10mA 以上、1k Ω 以下	スクリューレス端子
	時刻修正端子	無電圧メーク入力、200ms 以上 接点容量：DC10V,10mA 以上、1k Ω 以下	スクリューレス端子 修正方法：± 10 秒 / ± 30 秒
制御出力	応答出力端子	無電圧メーク出力 接点容量：DC30V,500mA 以下	スクリューレス端子
	アラーム端子	無電圧メーク出力 接点容量：DC30V,500mA 以下	スクリューレス端子
データ登録	パソコン	TS-500 データ入力ソフト（添付品）	対応 OS：Windows 11/10
	記憶媒体	USB フラッシュメモリ	対応規格：USB2.0 及び USB1.1
メッセージ	基本モード	挨拶用：1ch、案内用：最大 99ch	
	外部音源モード	挨拶用：1ch	
プログラムタイマー	1 日パターン	最大 20 種類	グループ毎
	登録ステップ数	最大 25 ステップ	パターン毎
	曜日スケジュール	日～土の曜日指定 / 月～金の期間指定 / 月～土の期間指定	
	変動日スケジュール	第 1 ～第 5 の曜日指定	
	祝日スケジュール	国民の祝日、国民の休日、振替休日、予備日 8 日	春分の日、秋分の日自動計算 ハッピーマンデー対応
	特定日スケジュール	範囲指定、毎年、毎月	範囲指定：最大 1 か月間
データ集計	集計期間	時間計、日計、週計、月計、臨時計	
	集計区分	全回線（基本モード、外部音源モード）、 グループ毎（基本モード）	
集計出力	集計項目	着信件数集計、全回線話中回数、全回線話中時間	制御用パソコンにて出力
ネットワーク	通信プロトコル	TCP/IP	
	インターフェース	10BASE-T / 100BASE-TX	コネクタ形状：RJ-45
時計精度		月差 ± 5 秒	25℃、通電時
環境条件	動作時	温度条件：5 ～ 40℃ 湿度条件：20 ～ 85%	結露のないこと
	保管時	温度条件：-10℃ ～ 50℃ 湿度条件：20 ～ 85%	結露のないこと
VCCI		クラス A	
RoHS 指令		適合	
電源	電源	AC100V ± 10V、50/60Hz	
	消費電力	最大 90W	
	停電保証	年月日・時刻は約 7 年	
外観	外形寸法	429mm（幅）× 294mm（奥行）× 150mm（高さ）	ゴム足含む
	質量	約 9 kg	本体（ラインボード 8 枚実装時）

注 1 本装置はアナログ回線（アナログ一般公衆回線）に対応しています。ひかり回線をご使用の場合は、アナログ回線に変換してお使いください。

注 2 本装置には、先方の電話番号を表示する機能はありません。ナンバーディスプレイ機能付きの電話機などとともにお使いください。

保証とアフターサービス

- 本書は、下記記載の保証条件で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターへお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、発信・通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

型名 / 保証期間	サービスホン TS-500 / お買い上げから 1 年間		
お買い上げ日	年	月	日
保 証 書 お 客 様	お名前		
	ご住所	〒	
	電話番号		
販 売 店	名前		
	住所	〒	
	電話番号		

保証条件

- 1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無償修理いたします。
- 2 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。
なお、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客様のご負担となります。
- 3 保証期間内であっても、次の場合は有償修理となります。
 - ① 保証書の提示がない場合
 - ② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
 - ③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
 - ④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
 - ⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
 - ⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
 - ⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
 - ⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
 - ⑨ 消耗品を交換した場合
- 4 この保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 5 この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 6 ご贈答品、ご転居後の修理については、最寄りの当社修理センターにご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

- お電話から
お客様相談センター

 **0570-03-8811**

受付時間：月～金 9：00～17：30
(土・日曜日、祝日、当社指定休日除く)

- ホームページから

当社ホームページ「お問い合わせ」のフォームに
必要事項をご記入のうえ、ご送信ください。

<https://www.takacom.co.jp>

タカコム サポート

修理に関するご相談

- お買い上げの販売店様または
当社「修理センター」へお問い合わせください。

当社へのお問い合わせ先はホームページ「修理センター」をご覧ください。

<https://www.takacom.co.jp>

タカコム 修理センター

株式会社 **タカコム**

本社・工場 / 〒 509-5202 岐阜県土岐市下石町西山 304-709